

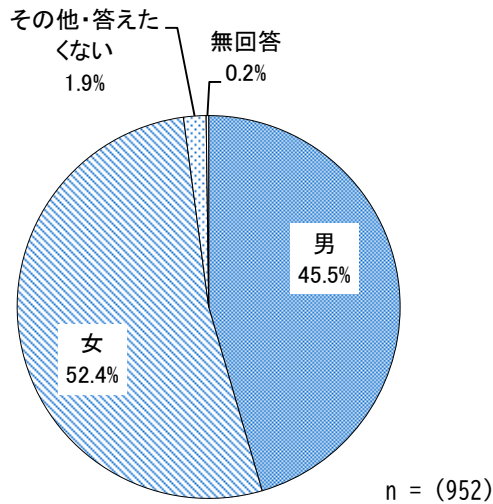
第 5 章 こどもの生活状況調査
(中学 2 年生、中学 2 年生保護者)
結果詳細

こどもの生活状況調査（中学2年生、中学2年生保護者）結果詳細

1 属性について

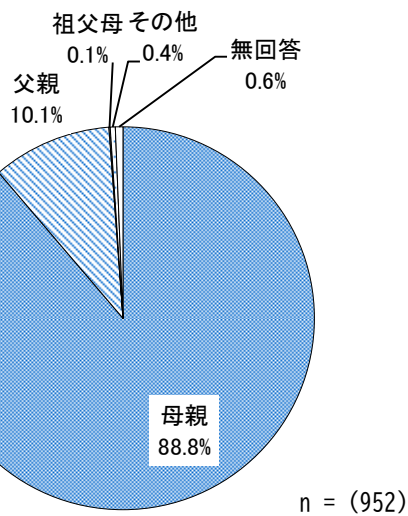
（1）性別【中学2年生調査】

Q：あなたの性別を教えてください。（○は1つ）



（2）子どもとの続柄【中学2年生保護者調査】

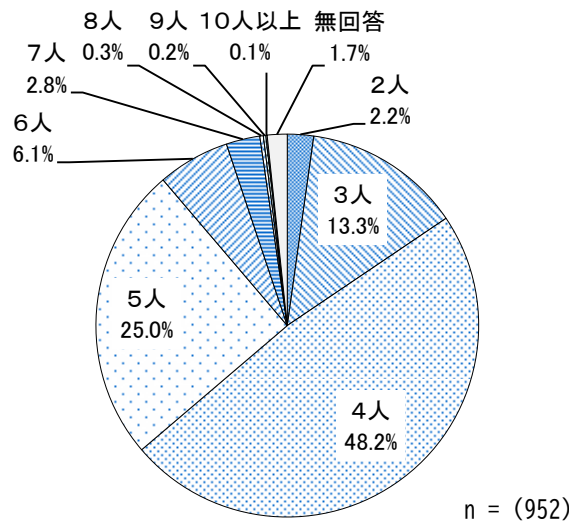
Q：お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（○は1つ）



（3）同居家族【中学2年生保護者調査】

Q：お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

■同居家族の合計人数

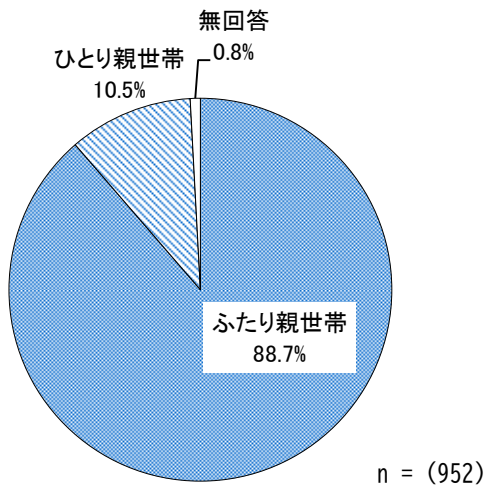


■続柄別構成員の人数

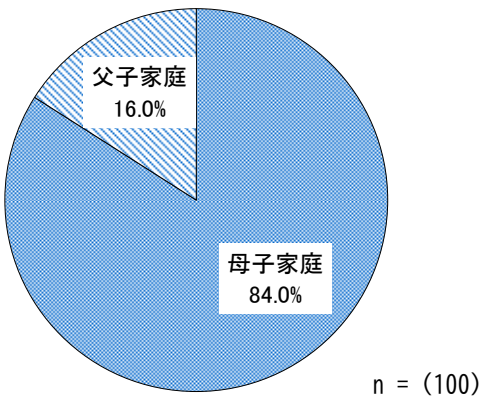
	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
祖母	82.6%	11.1%	3.9%			2.4%
祖父	86.2%	8.0%	2.2%			3.6%
母親	1.8%	97.5%				0.7%
父親	8.7%	90.3%				0.9%
姉・兄	35.0%	37.7%	10.2%	1.5%	0.5%	15.1%
妹・弟	33.3%	36.7%	9.9%	0.7%	0.3%	19.1%
その他	48.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%	50.3%

同居家族の人数、構成から、「ふたり親世帯」、「ひとり親世帯」の割合を推計で算出しました。また、「ひとり親世帯」のうちの「母子家庭」と「父子家庭」の割合も算出しています。

■ふたり親、ひとり親世帯別



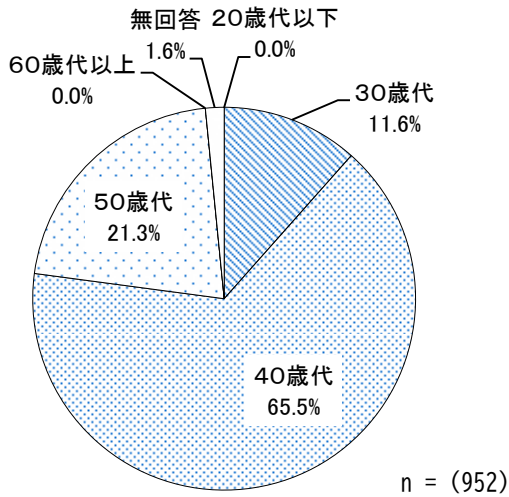
■ひとり親世帯の内訳



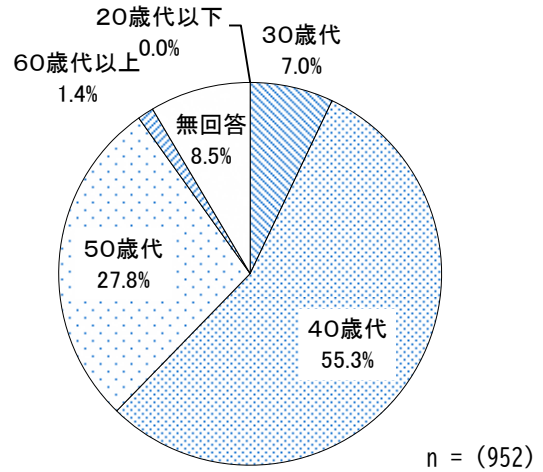
（4）保護者の年齢【中学2年生保護者調査】

Q：お子さんの保護者の現在の年齢についてお答えください。

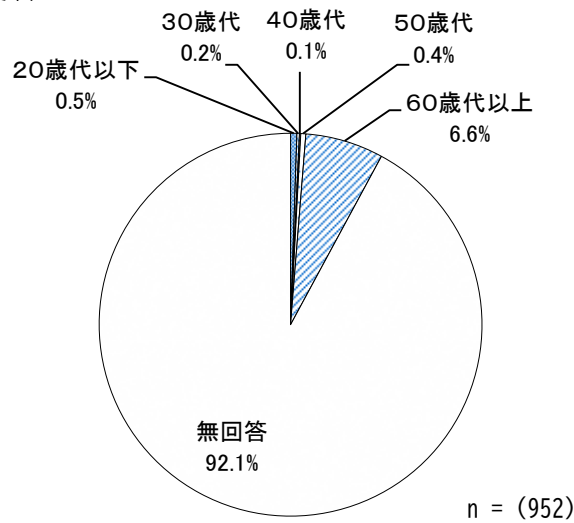
■母親



■父親

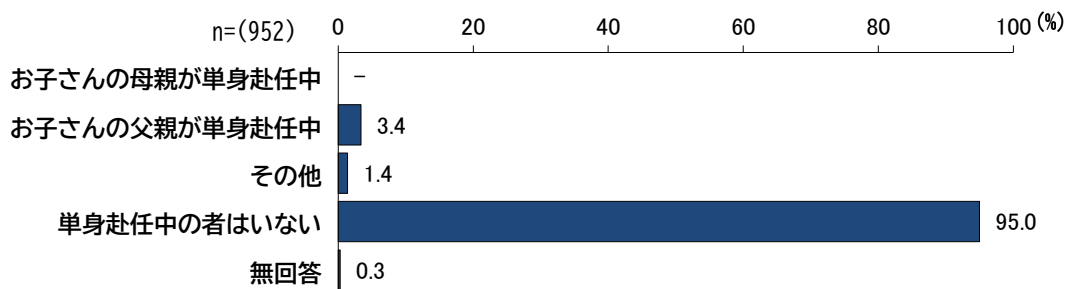


■母親・父親にかわる保護者



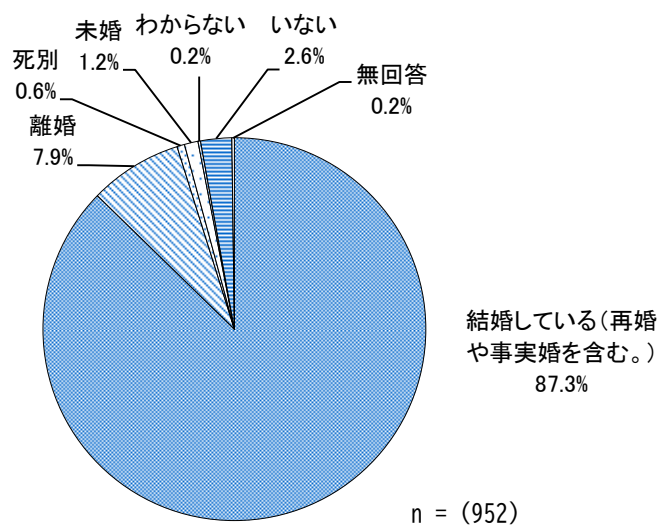
（5）単身赴任中の家族の有無【中学2年生保護者調査】

Q：お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）



（6）親の婚姻状況【中学2年生保護者調査】

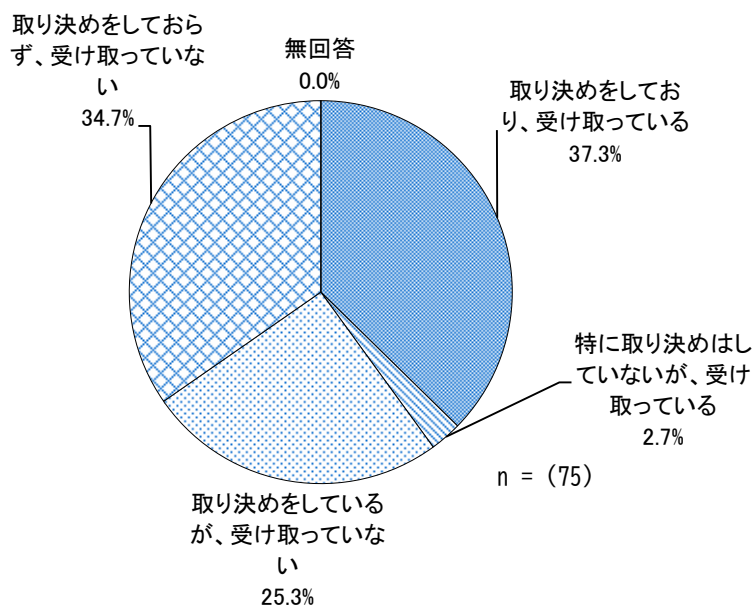
Q：お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（○は1つ）



（7）離婚相手との養育費の取り決め【中学2年生保護者調査】

※婚姻状況で「2.離婚」を選んだ方のみ回答

Q：離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（○は1つ）

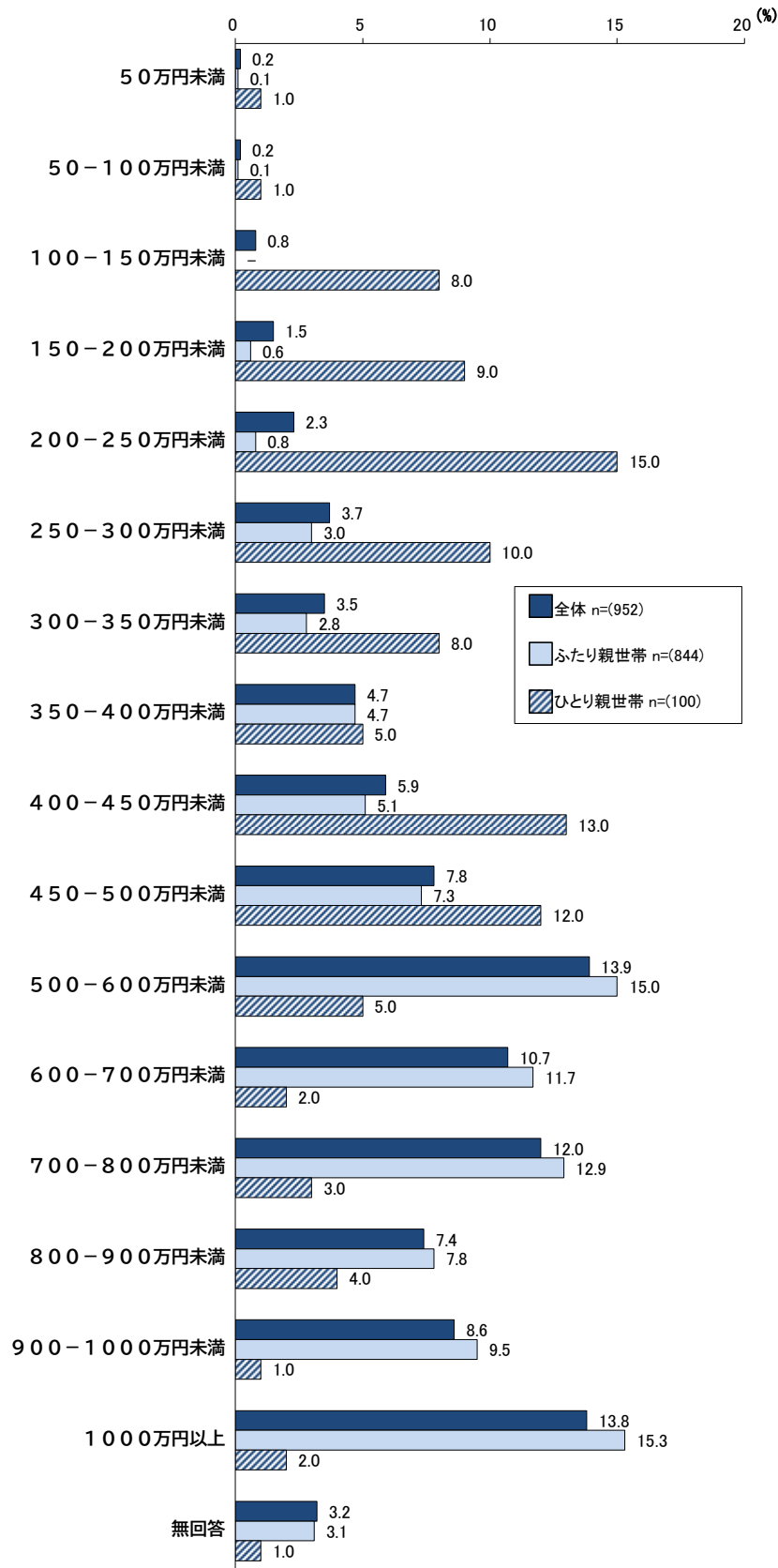


（8）世帯全体の年間収入【中学2年生保護者調査】

Q：世帯全体のおおその年間収入(税込)はいくらですか。（○は1つ）

※2023年（令和5年）の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。



世帯の年間収入の水準について、「子供と同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行いました。

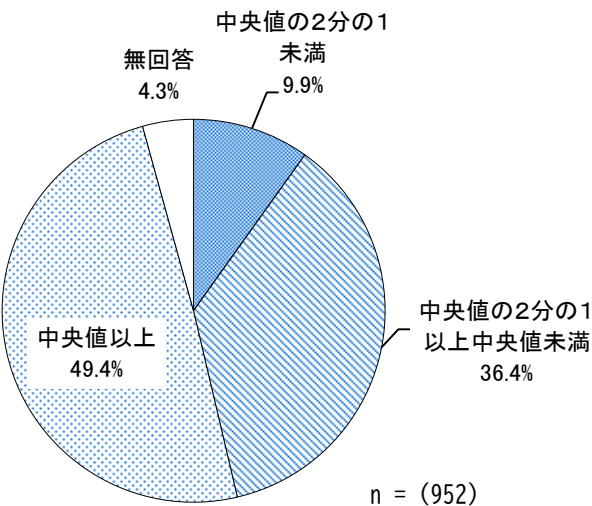
- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする。（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする。）
- 上記の値を、保護者票問2で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す※。
- 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

※生活水準を考えた場合、世帯人員が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があるため、世帯人員の違いを調整するにあたって「同居家族の人数の平方根」を用いている。

【例】年収800万円の4人世帯と、年収200万円の1人世帯では、どちらも1人当たりの年収は200万円となるが、両者の生活水準が同じ程度とは言えない。光熱水費等の世帯人員共通の生活コストは、世帯人員が多くなるにつれて割安になる傾向がある。

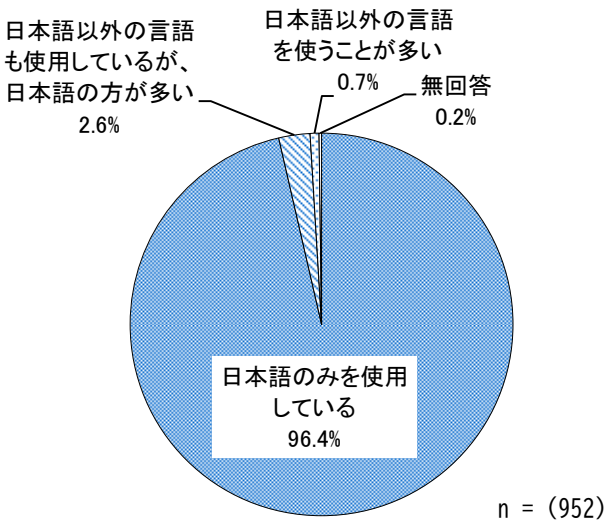
分類の結果、等価世帯収入の水準が「中央値以上」に該当するのは49.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは36.4%、「中央値の2分の1未満」に該当するのは9.9%でした。

等価世帯収入の中央値	325 万円
中央値の2分の1	162.5 万円



（9）日本語以外の言語の使用【中学2年生保護者調査】

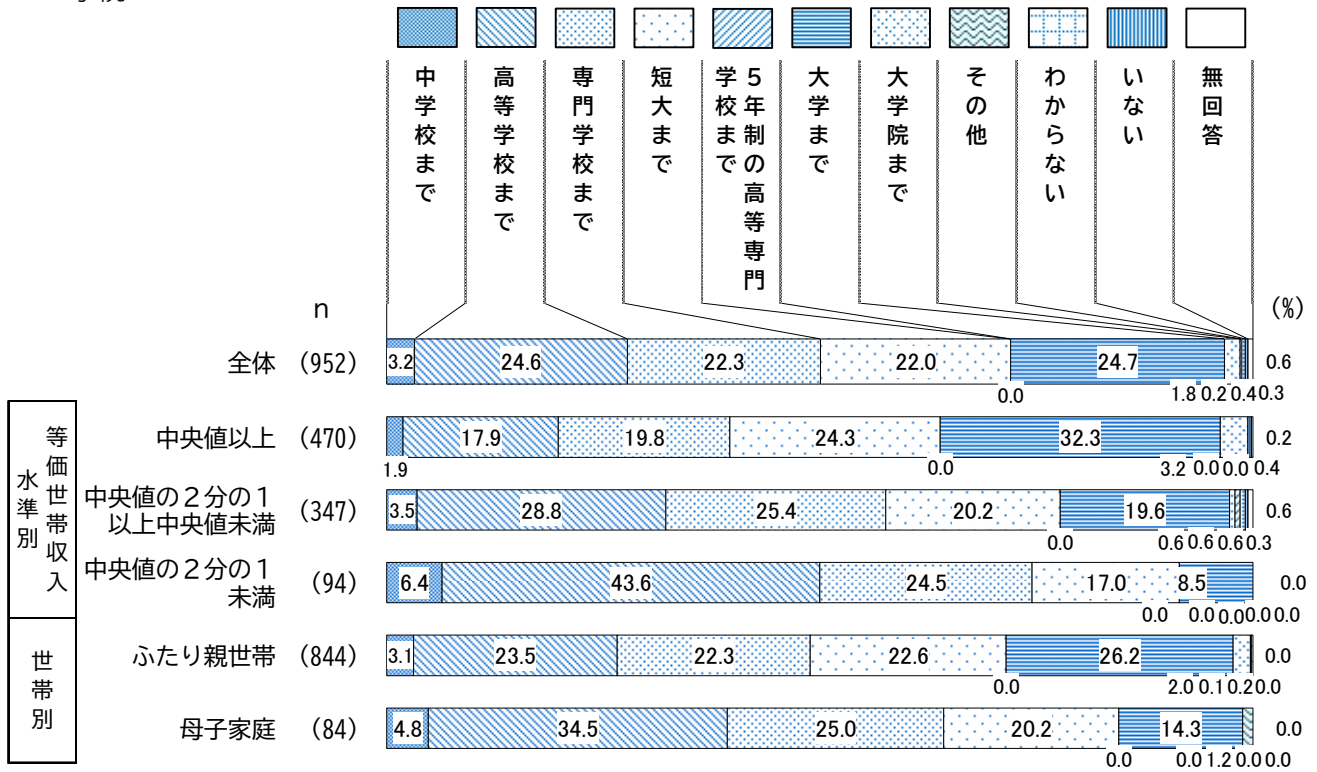
Q：ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（○は1つ）



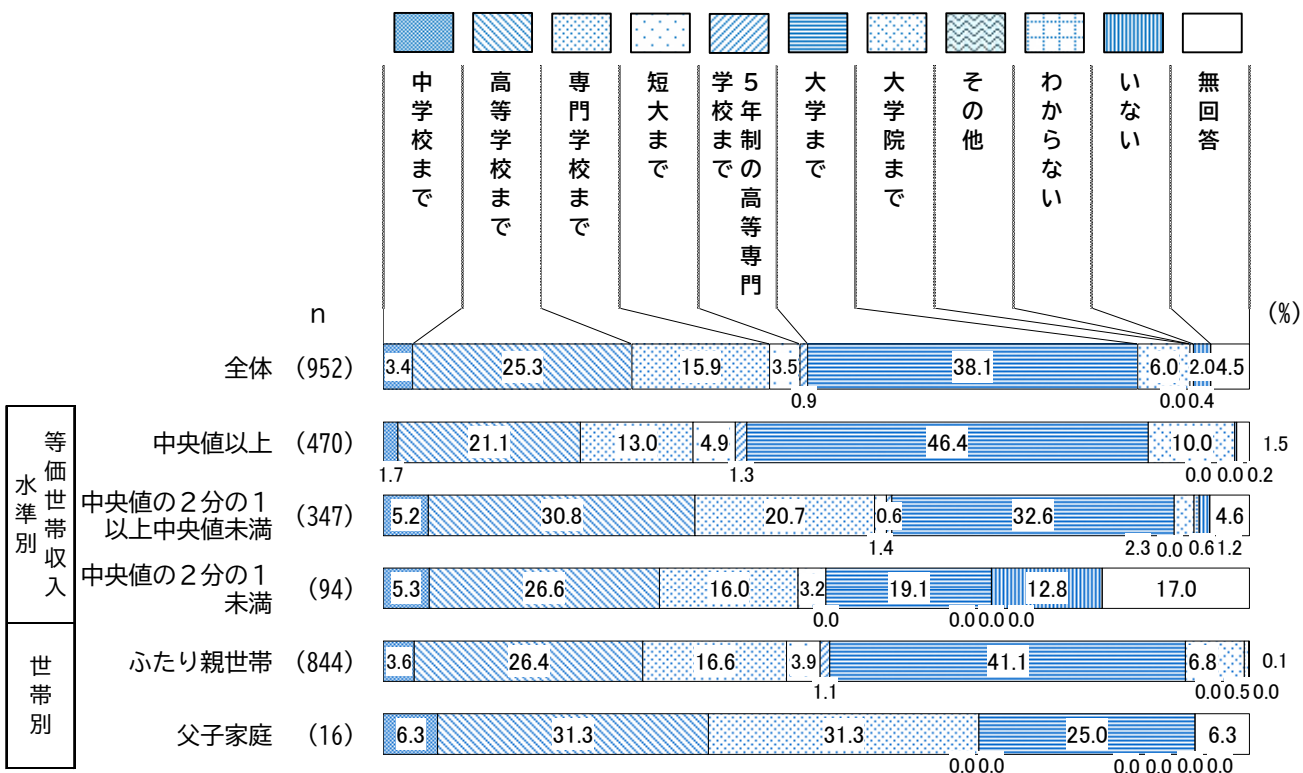
(10) 保護者の最終学歴【中学2年生保護者調査】

Q：お子さんの保護者の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。

■母親



■父親



2 就労状況について

（1）保護者の就労状況【中学2年生保護者調査】

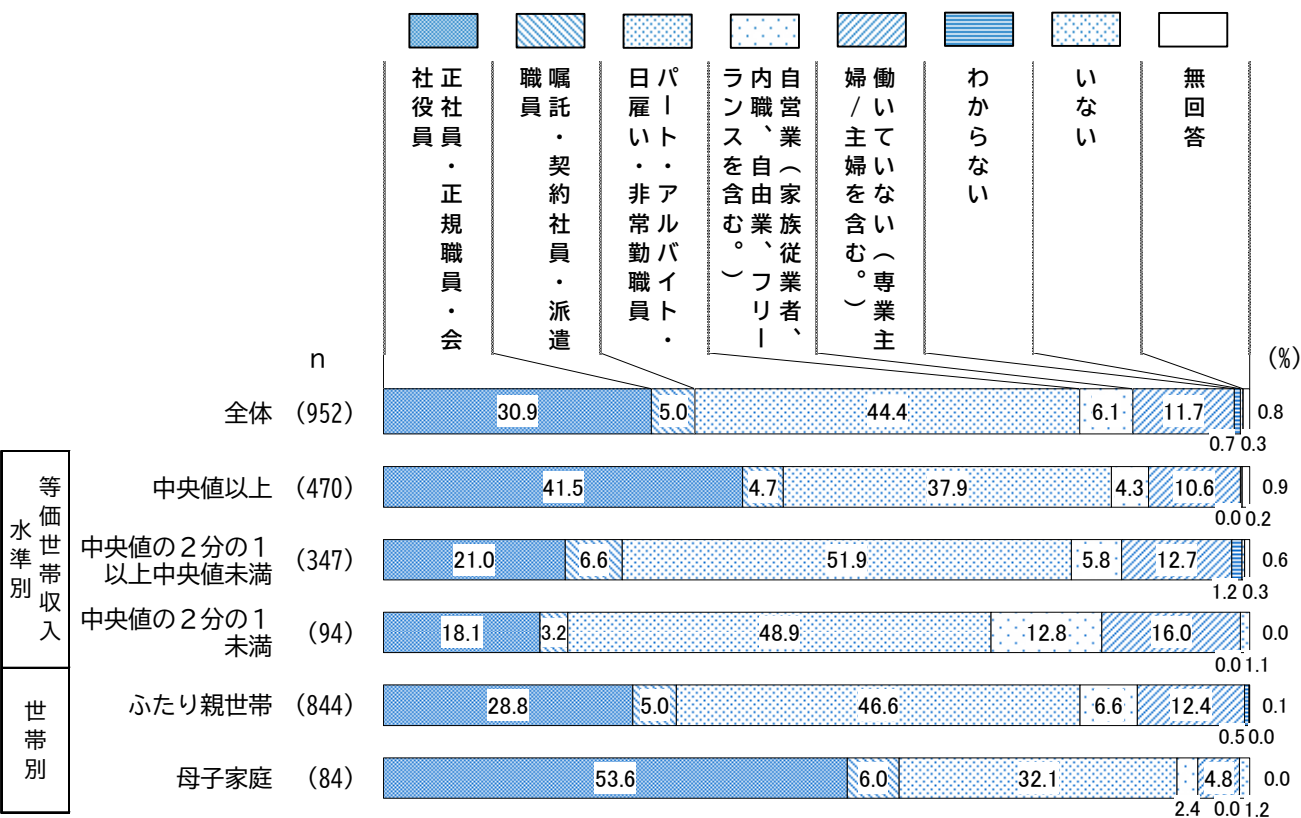
Q：お子さんの保護者の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

保護者の就労状況について、「母親」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が44.4%、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が30.9%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」が11.7%となっています。「父親」では、「正社員・正規職員・会社役員」が80.6%、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が8.4%となっています。

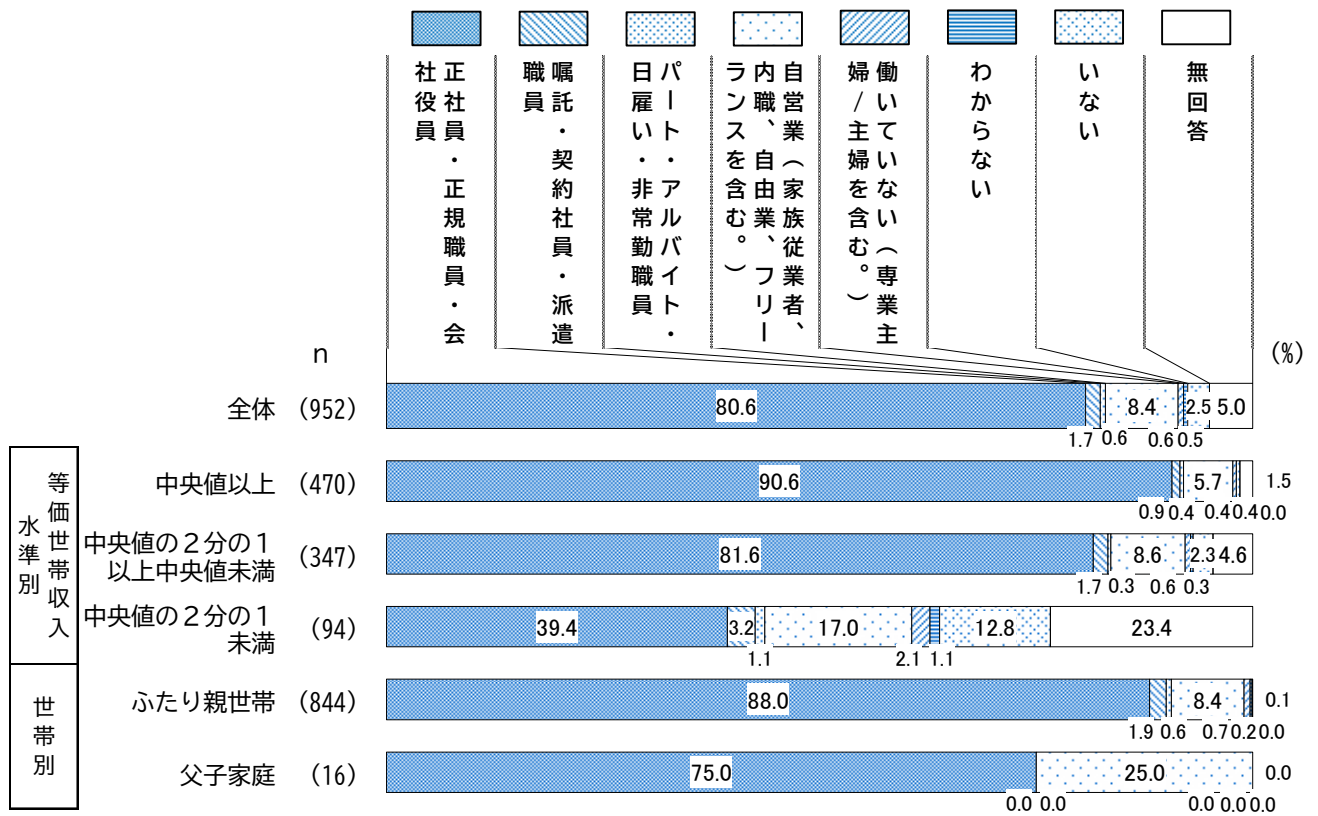
等価世帯収入水準別にみると、母親、父親ともに「正社員・正規職員・会社役員」の割合は中央値の2分の1未満の世帯で最も低くなっています。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「母親」ではふたり親世帯より母子家庭で高くなっています。

■母親



■父親



※母数が30未満の項目は参考値とする。

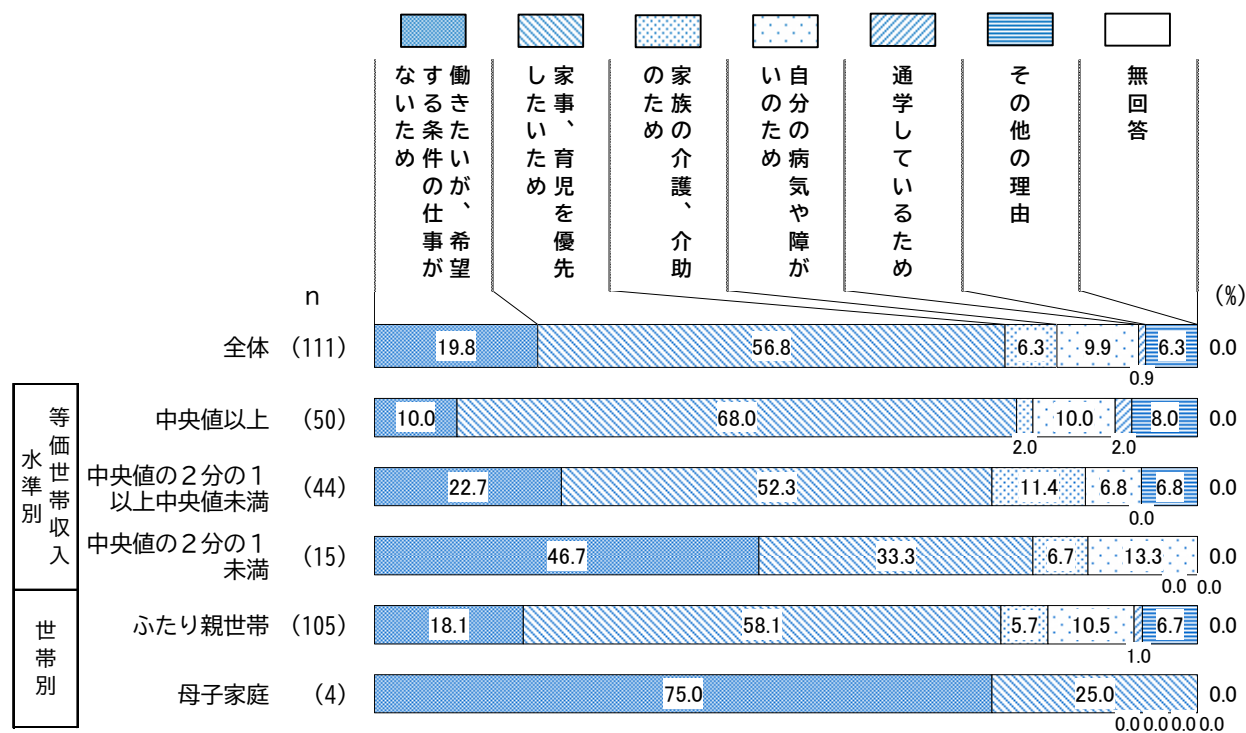
（2）働いていない理由【中学2年生保護者調査】

※就労状況で「5.働いていない」※を選んだ方のみ回答

Q：働いていない最も主な理由を教えてください。（○は1つ）

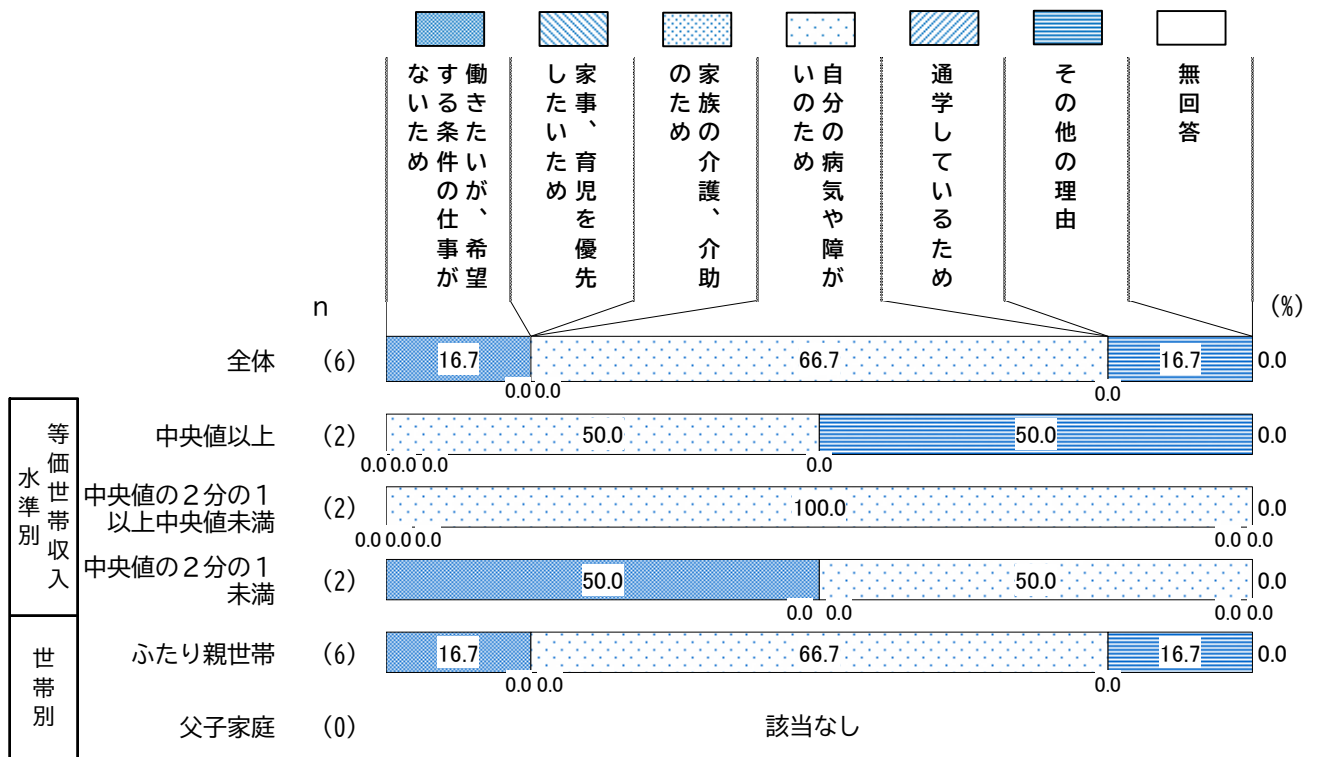
働いていない最も主な理由として、「母親」については、「家事、育児を優先したいため」が56.8%、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が19.8%、「自分の病気や障がいのため」が9.9%となっています。

■母親



※母数が30未満の項目は参考値とする。

■父親



3 子育てについて

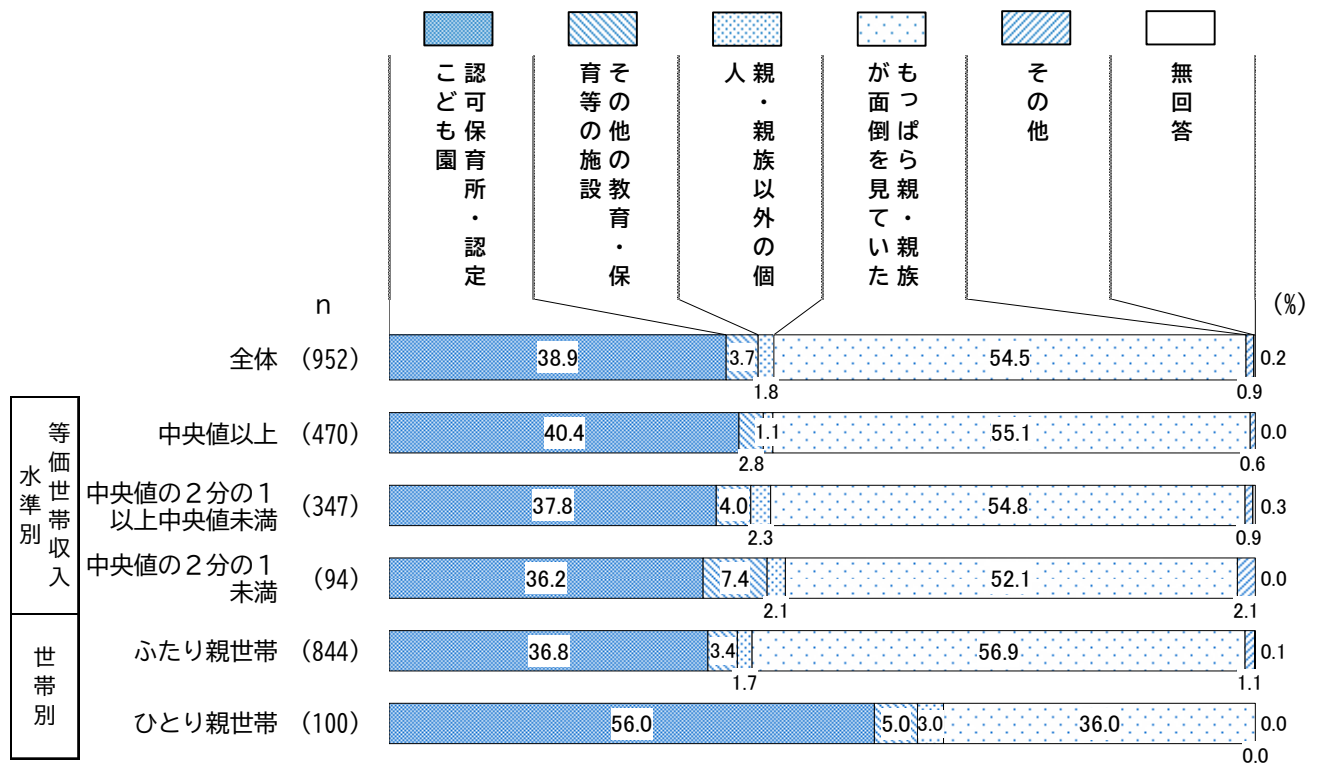
（1）子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等【中学2年生保護者調査】

Q：お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（○は1つ）

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものとしては、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が54.5%、次いで「認可保育所・認定こども園」が38.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「認可保育所・認定こども園」の割合は36.2%とやや低くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が低くなっています。

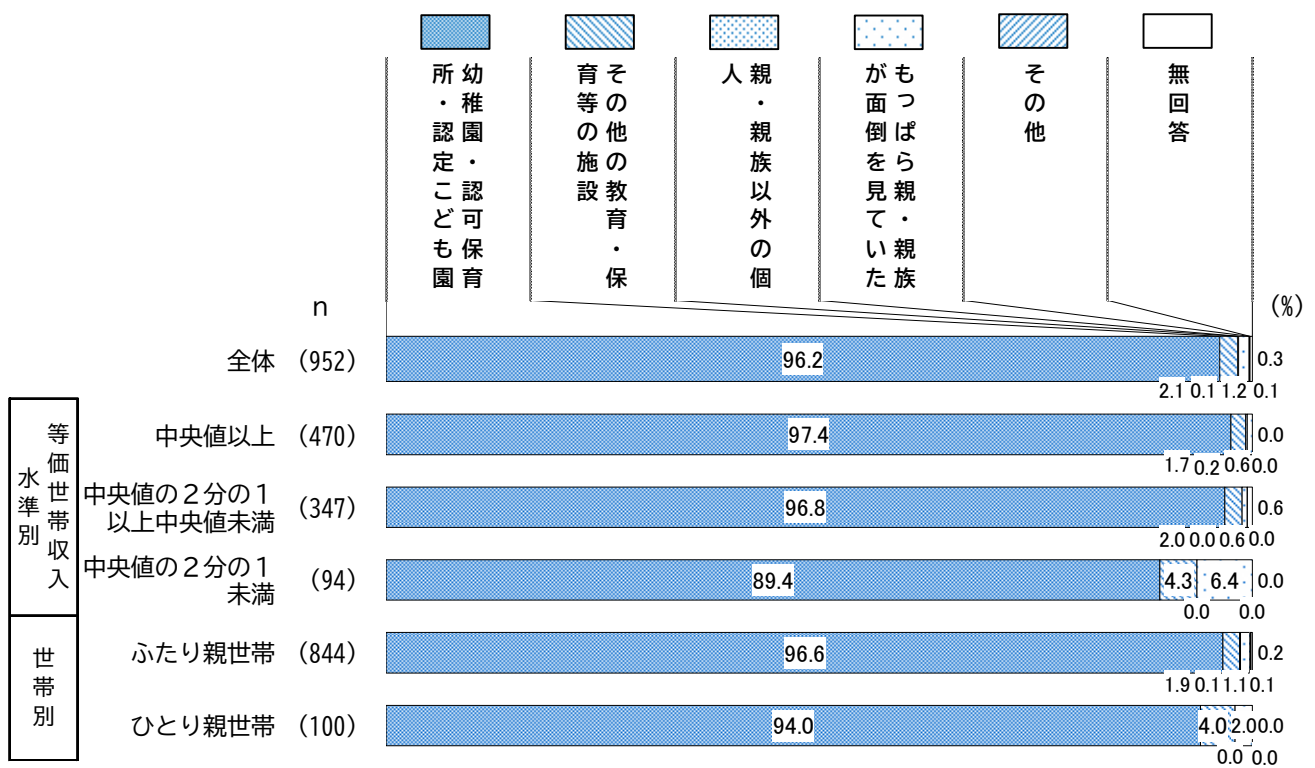


（2）子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等【中学2年生保護者調査】

Q：お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（○は1つ）

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものとしては、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が9割台半ばとなっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合は89.4%とやや低く、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が6.4%とやや高くなっています。



（3）子どもとの関わり方【中学2年生保護者調査】

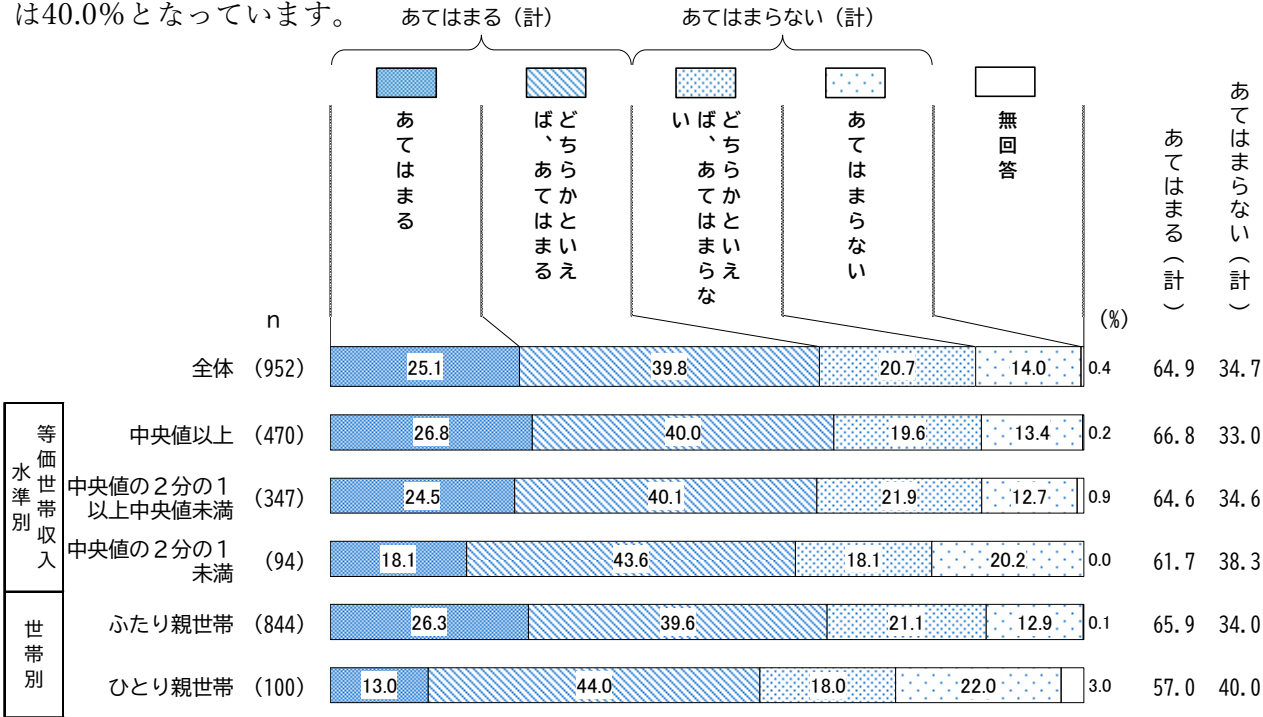
Q：あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。（○は1つ）

■テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた《あてはまる 計》は64.9%となっています。

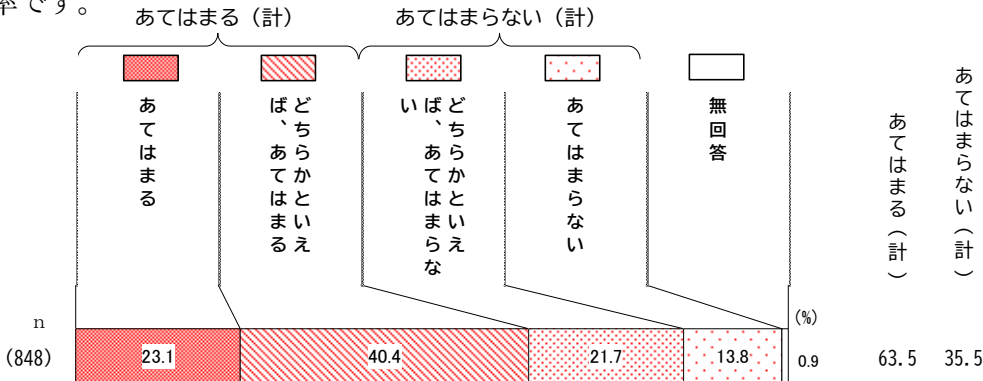
等価世帯収入水準別にみると、「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」を合わせた《あてはまらない 計》は、中央値以上の世帯では33.0%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では34.6%、中央値の2分の1未満の世帯では38.3%となっています。

世帯の状況別にみると、《あてはまらない 計》は、ふたり親世帯では34.0%、ひとり親世帯では40.0%となっています。



県調査※との比較

県調査の結果と比較すると、《あてはまる 計》は県調査が63.5%となっており、市調査（64.9%）とほぼ同率です。



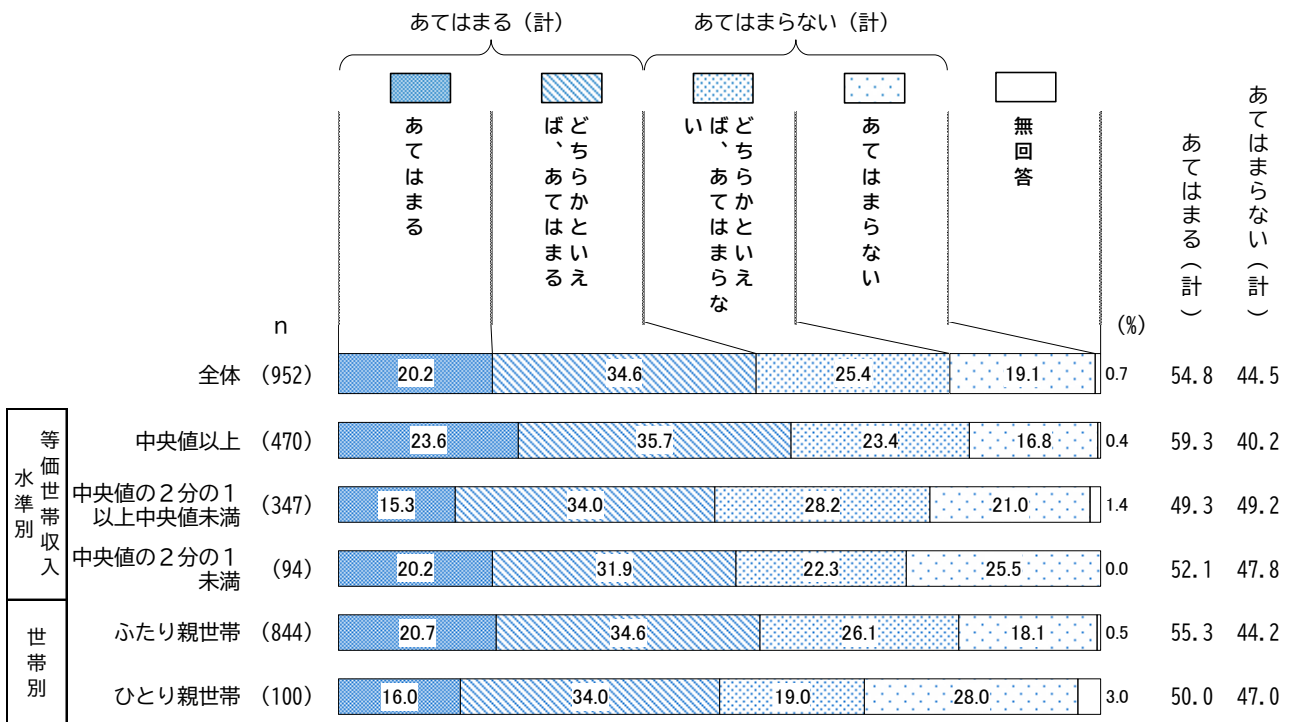
※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

■お子さんに本や新聞を読むように勧めている

お子さんに本や新聞を読むように勧めているかについて、《あてはまる 計》は54.8%となっています。

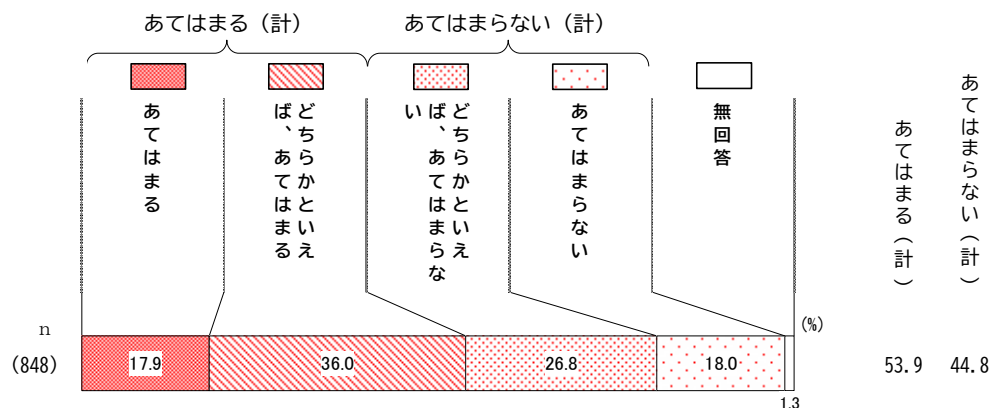
等価世帯収入水準別にみると、《あてはまらない 計》は、中央値以上の世帯では40.2%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では49.2%、中央値の2分の1未満の世帯では47.8%となっています。

世帯の状況別にみると、《あてはまらない 計》は、ふたり親世帯では44.2%、ひとり親世帯では47.0%となっています。



県調査※との比較

県調査の結果と比較すると、《あてはまる 計》は県調査が53.9%となっており、市調査(54.8%)とほぼ同率です。



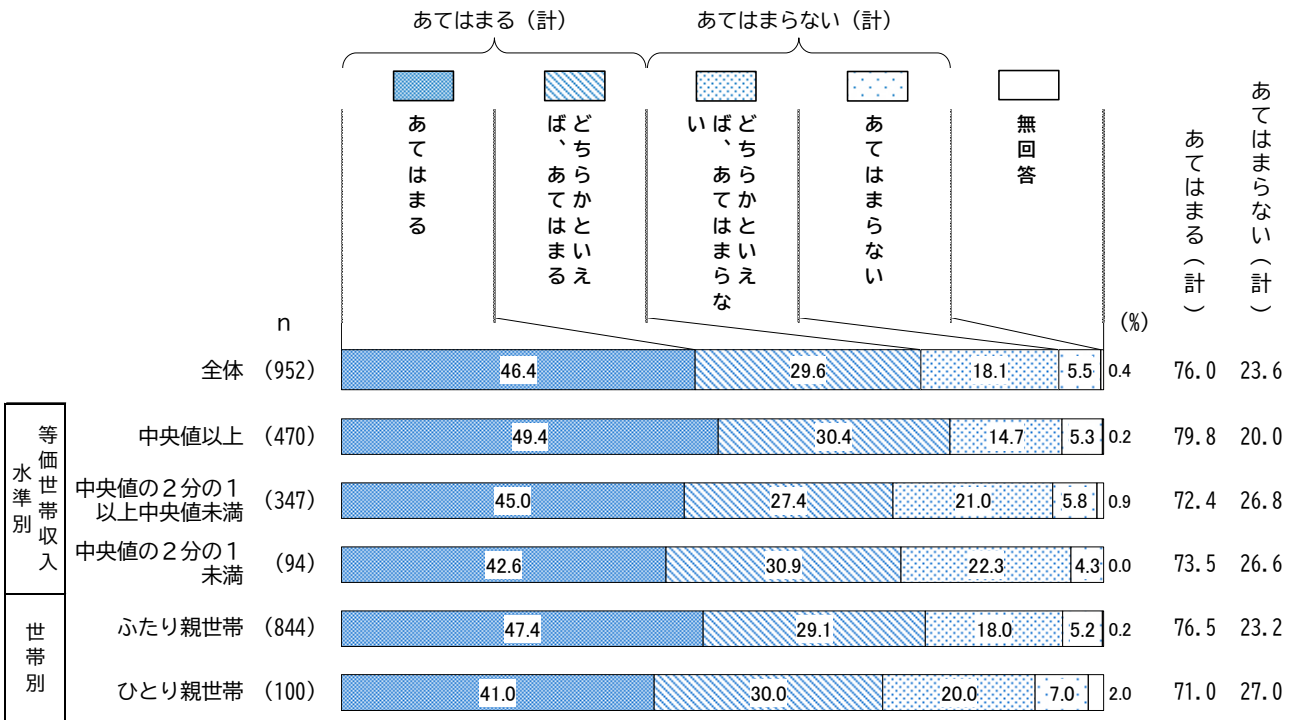
※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

■お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていたかについて、《あてはまる 計》は76.0%となっています。

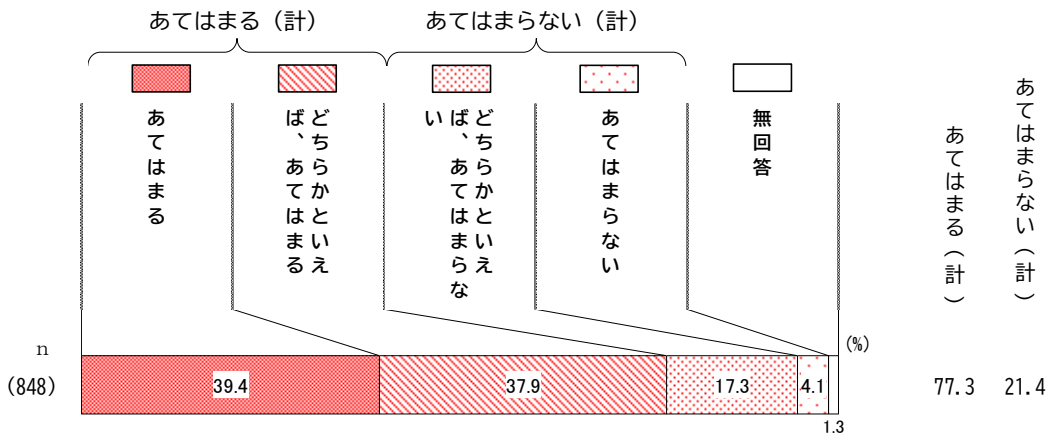
等価世帯収入水準別にみると、《あてはまらない 計》は、中央値以上の世帯では20.0%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では26.8%、中央値の2分の1未満の世帯では26.6%となっています。

世帯の状況別にみると、《あてはまらない 計》は、ふたり親世帯では23.2%、ひとり親世帯では27.0%となっています。



県調査※との比較

県調査の結果と比較すると、《あてはまる 計》は県調査が77.3%となっており、市調査（76.0%）とほぼ同率です。



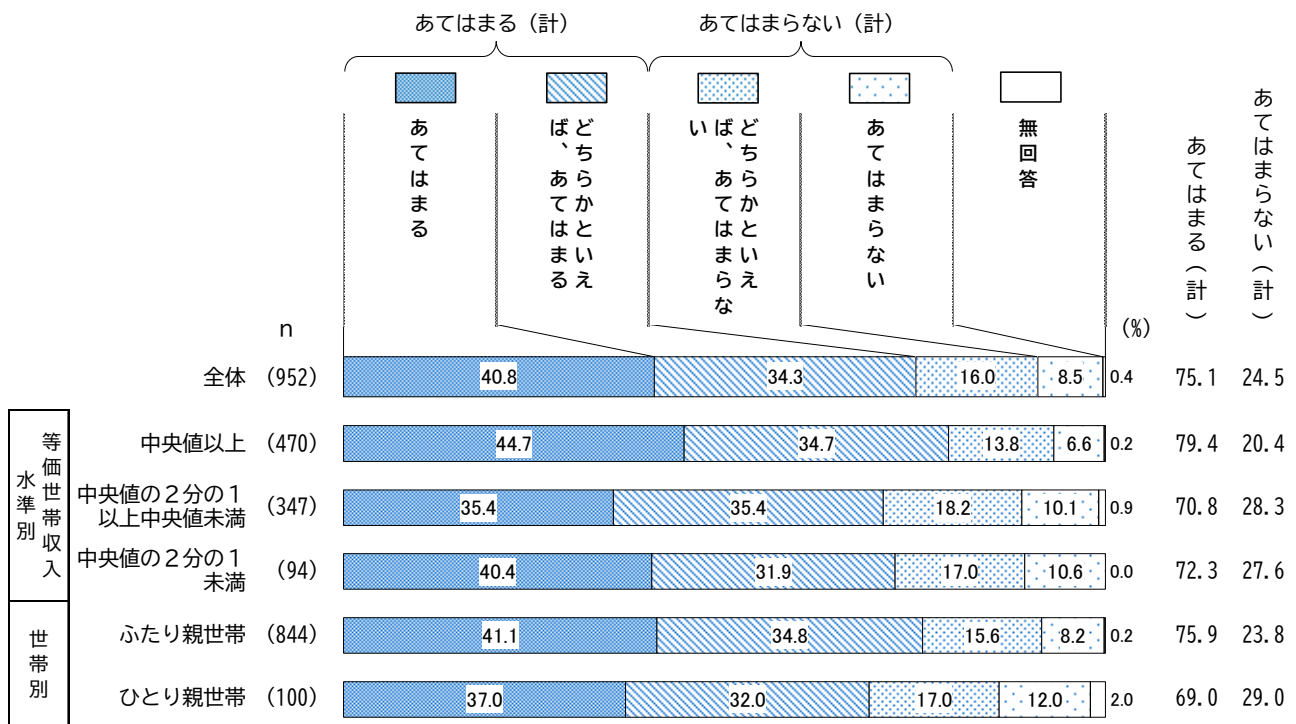
※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

■お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、《あてはまる 計》は75.1%となっています。

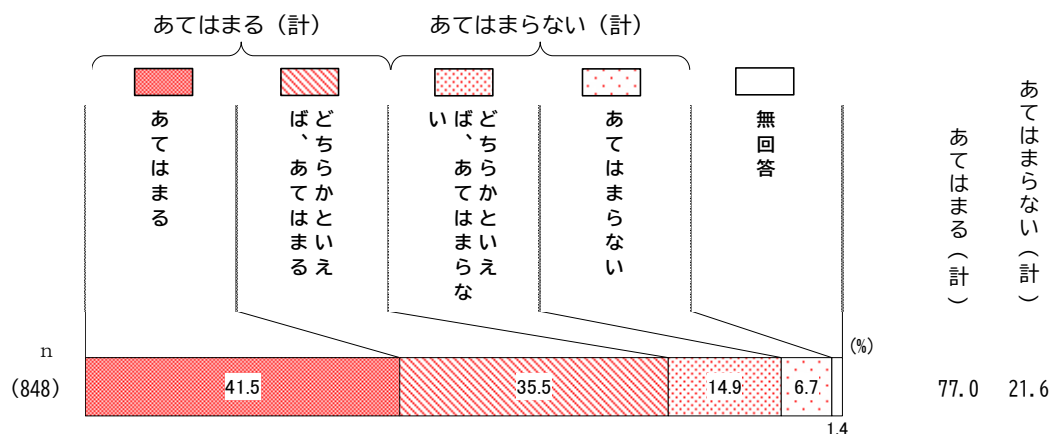
等価世帯収入水準別にみると、《あてはまらない 計》は、中央値以上の世帯では20.4%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では28.3%、中央値の2分の1未満の世帯では27.6%となっています。

世帯の状況別にみると、《あてはまらない 計》は、ふたり親世帯では23.8%、ひとり親世帯では29.0%となっています。



県調査※との比較

県調査の結果と比較すると、《あてはまる 計》は県調査が77.0%となっており、市調査(75.1%)とほぼ同率です。



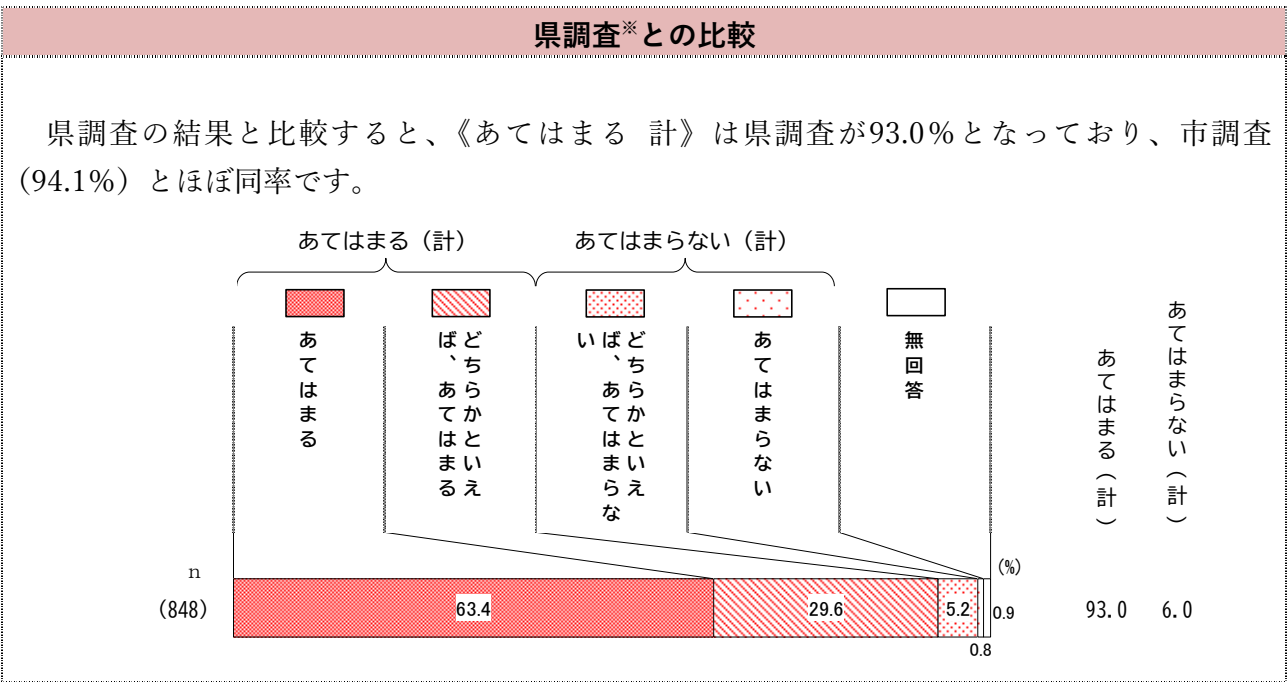
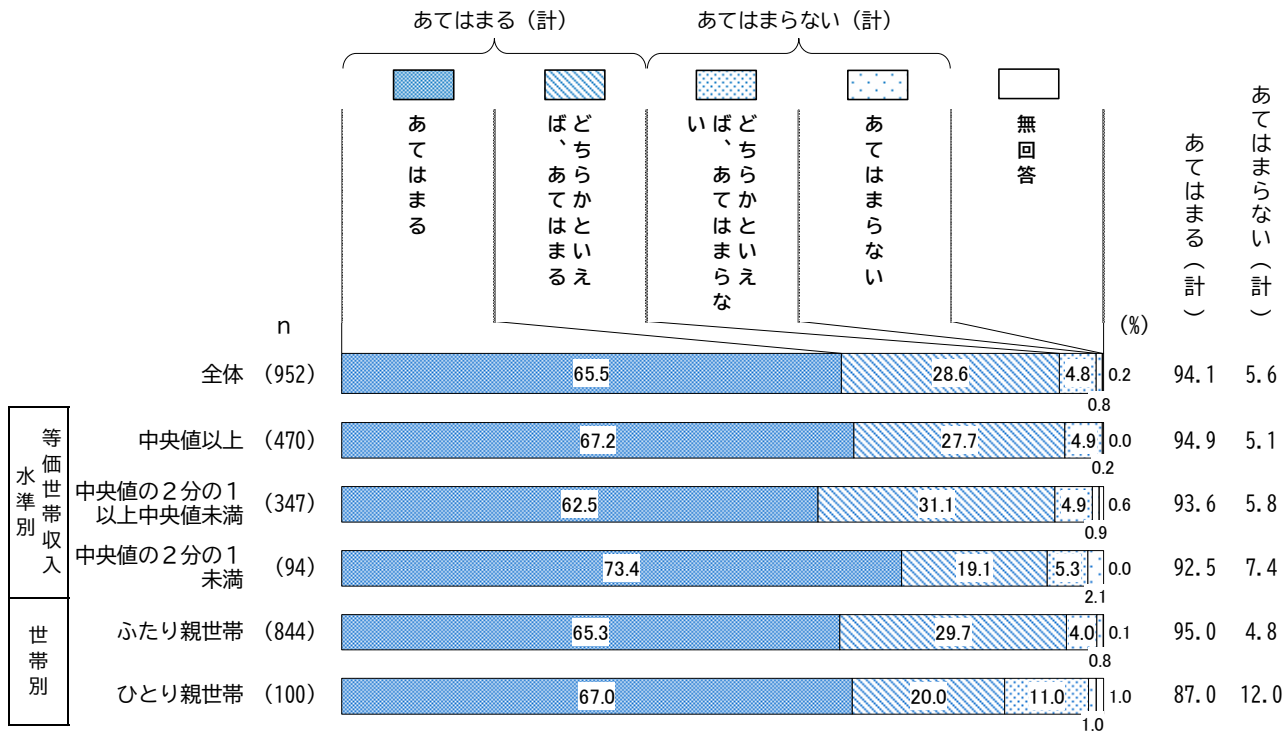
※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

■お子さんと、よく会話をする

お子さんと、よく会話をするかについて、《あてはまる 計》は94.1%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《あてはまらない 計》は、中央値以上の世帯では5.1%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では5.8%、中央値の2分の1未満の世帯では7.4%となっています。

世帯の状況別にみると、《あてはまらない 計》は、ふたり親世帯では4.8%、ひとり親世帯では12.0%となっています。



※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

（4）学校等との関わり・参加【中学2年生保護者調査】

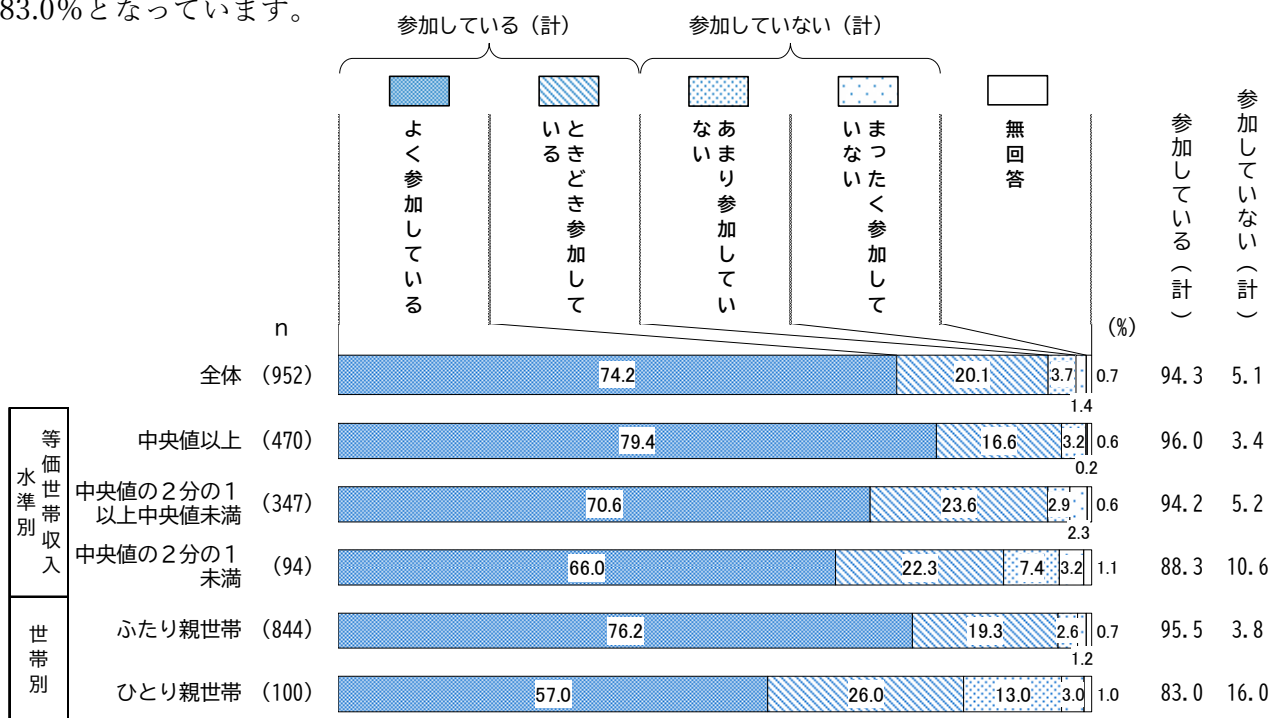
Q：あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（○は1つ）

■授業参観や運動会などの学校行事への参加

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた《参加している 計》は94.3%となっています。

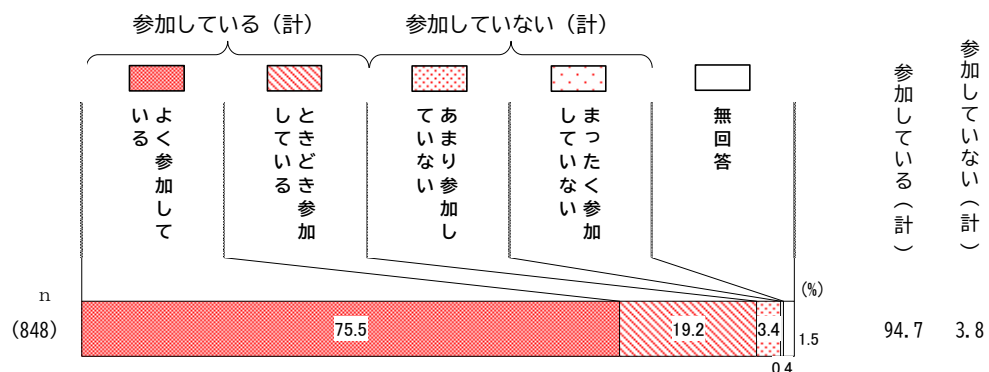
等価世帯収入水準別にみると、《参加している 計》は、中央値以上の世帯では96.0%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では94.2%、中央値の2分の1未満の世帯では88.3%となっています。

世帯の状況別にみると、《参加している 計》は、ふたり親世帯では95.5%、ひとり親世帯では83.0%となっています。



県調査※との比較

県調査の結果と比較すると、授業参観や運動会などの学校行事への参加については、《参加している 計》は県調査が94.7%、市調査が94.3%と同様の傾向がみられます。



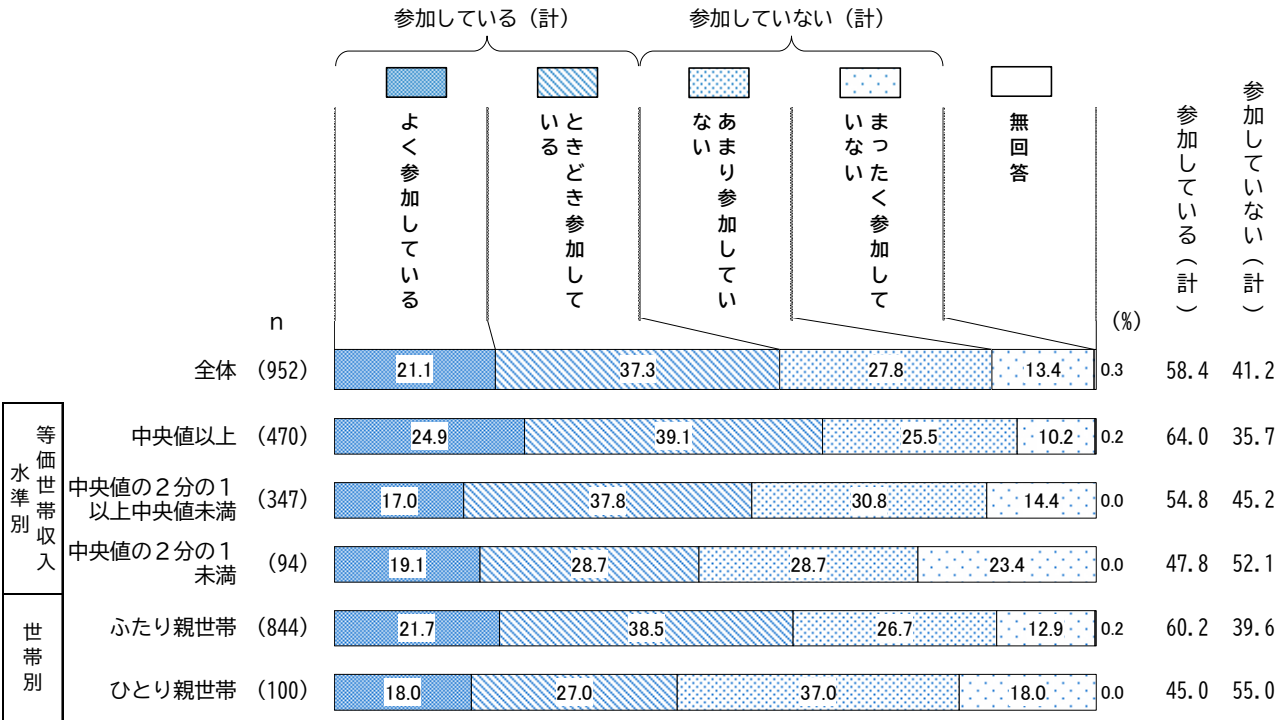
※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

■ P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、《参加している 計》は58.4%となっています。

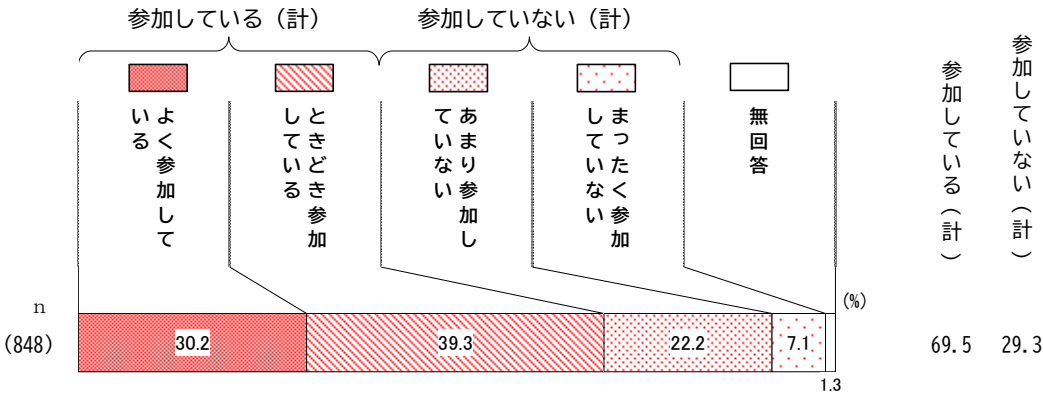
等価世帯収入水準別にみると、《参加している 計》は、中央値以上の世帯では64.0%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では54.8%、中央値の2分の1未満の世帯では47.8%となっています。

世帯の状況別にみると、《参加している 計》は、ふたり親世帯では60.2%、ひとり親世帯では45.0%となっています。



県調査※との比較

県調査の結果をみると、P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加については、《参加している 計》は県調査が69.5%、市調査が58.4%と、県調査よりも11.1ポイント下回っています。



※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

4 暮らしの状況について

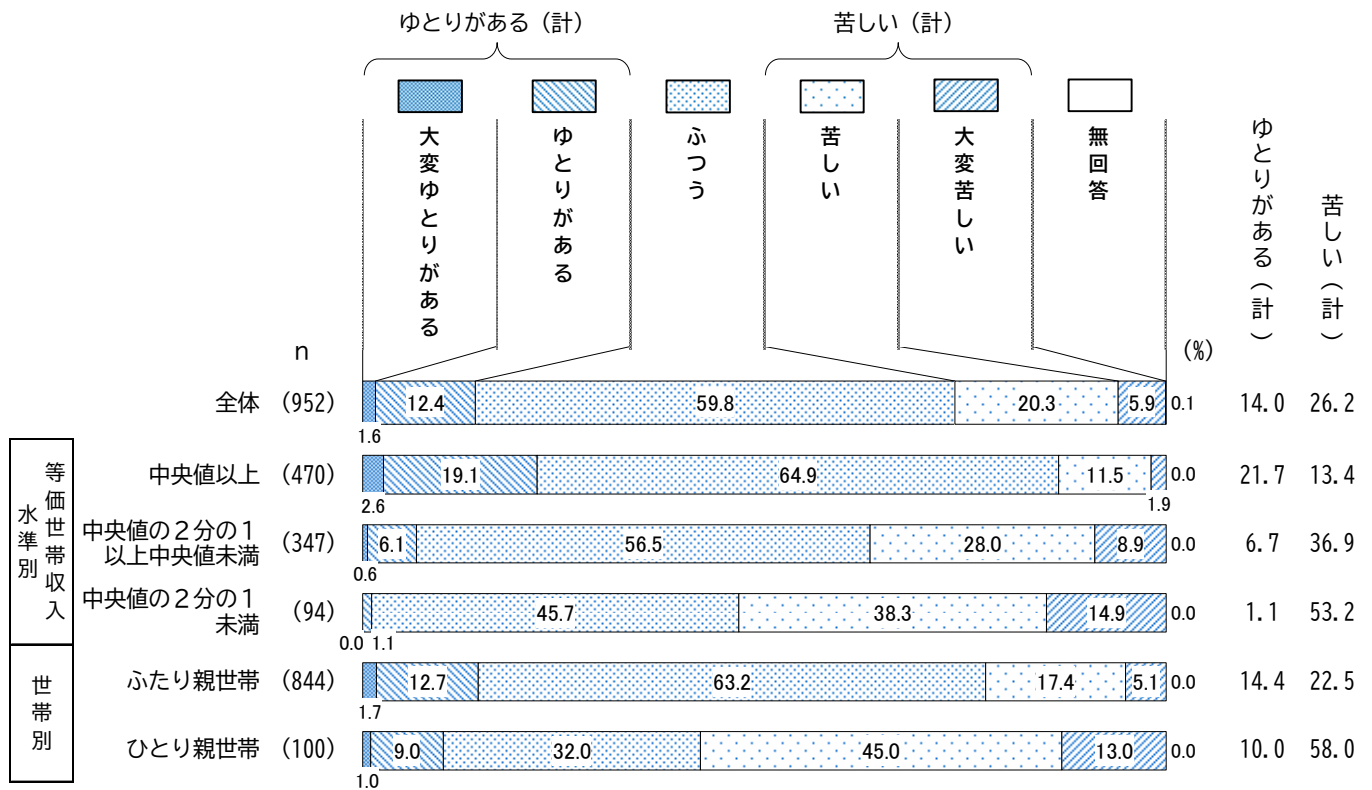
（1）暮らしの状況【中学2年生保護者調査】

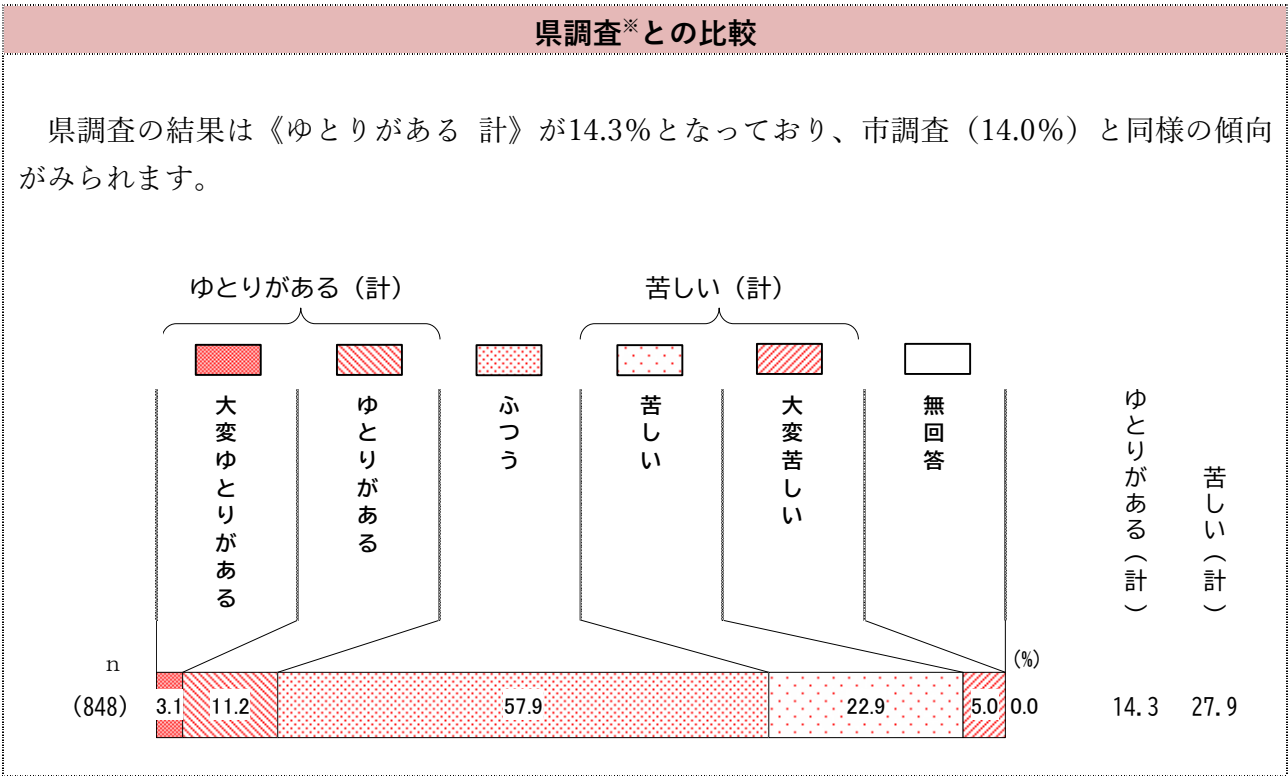
Q：あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（○は1つ）

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについては、「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた《ゆとりがある 計》は14.0%となっています。「ふつう」は59.8%と多くを占めています。

等価世帯収入水準別にみると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた《苦しい 計》は、中央値以上の世帯では13.4%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では36.9%、中央値の2分の1未満の世帯では53.2%となっています。

世帯の状況別にみると、《苦しい 計》は、ふたり親世帯では22.5%、ひとり親世帯では58.0%となっています。





（2）食料が買えなかった経験・理由【中学2年生保護者調査】

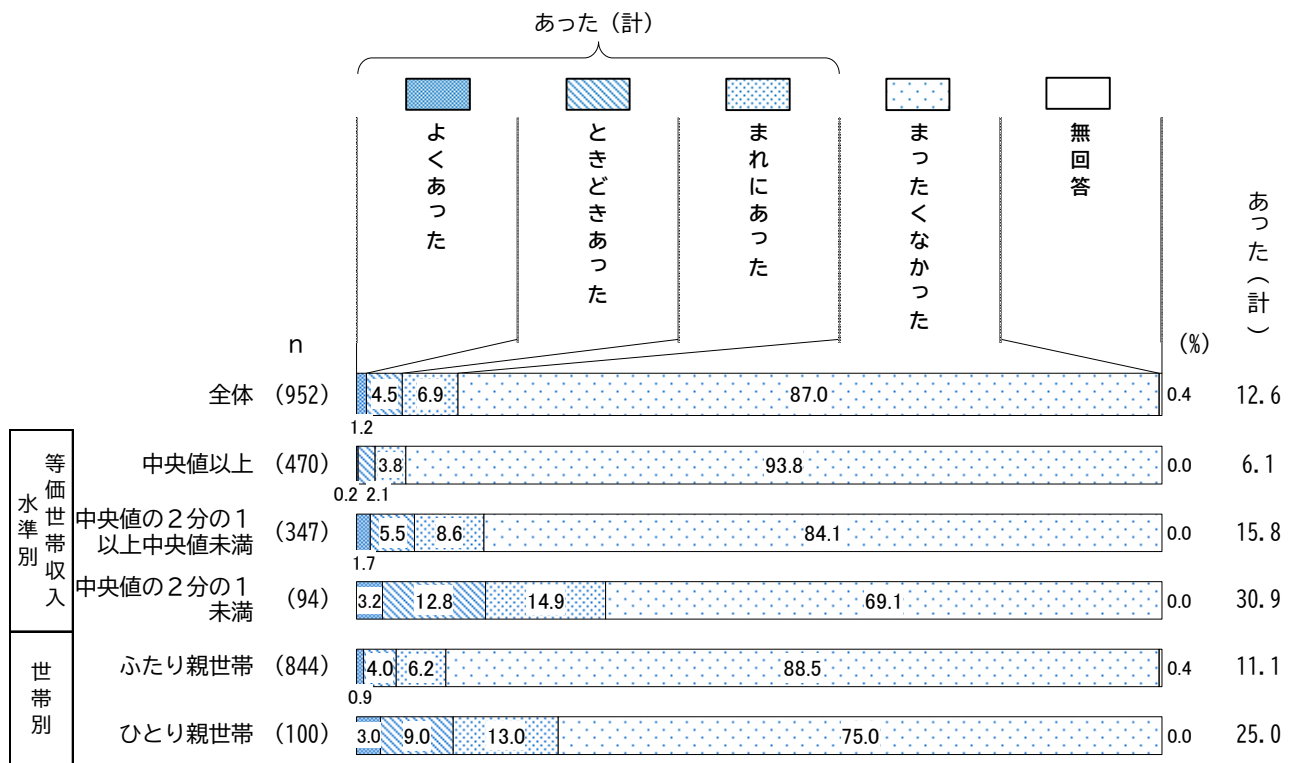
Q：あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（○は1つ）

■食料が買えなかった経験

過去1年の間に必要とする食料が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた《あった 計》は12.6%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《あった 計》は、「中央値以上」の世帯では6.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では15.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では30.9%となっています。

世帯の状況別にみると、《あった 計》は、ふたり親世帯では11.1%、ひとり親世帯では25.0%となっています。



※食料が買えなかった経験で「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を選んだ方
Q：その理由として考えられるものは何ですか。（○はいくつでも）

■食料が買えなかった理由

食料が買えなかった理由については、「物価が上昇したため」が71.7%、「世帯の収入が減少したため」が29.2%、「大きな臨時支出があったため」が16.7%となっています。

		調査数（n）	物価が上昇したため	世帯の収入が減少したため	大きな臨時支出があったため	世帯主が失業したため	家族が増えるため	その他	無回答
単位：%									
全体		120	71.7	29.2	16.7	1.7	0.8	5.0	8.3
等価世帯収入水準別	中央値以上	29	69.0	20.7	24.1	0.0	0.0	6.9	13.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	55	72.7	27.3	23.6	1.8	0.0	7.3	5.5
	中央値の2分の1未満	29	75.9	44.8	0.0	3.4	0.0	0.0	6.9
世帯別	ふたり親世帯	94	66.0	27.7	20.2	1.1	1.1	6.4	10.6
	ひとり親世帯	25	92.0	36.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0

※母数が30未満の項目は参考値とする。

（3）衣服が買えなかった経験・理由【中学2年生保護者調査】

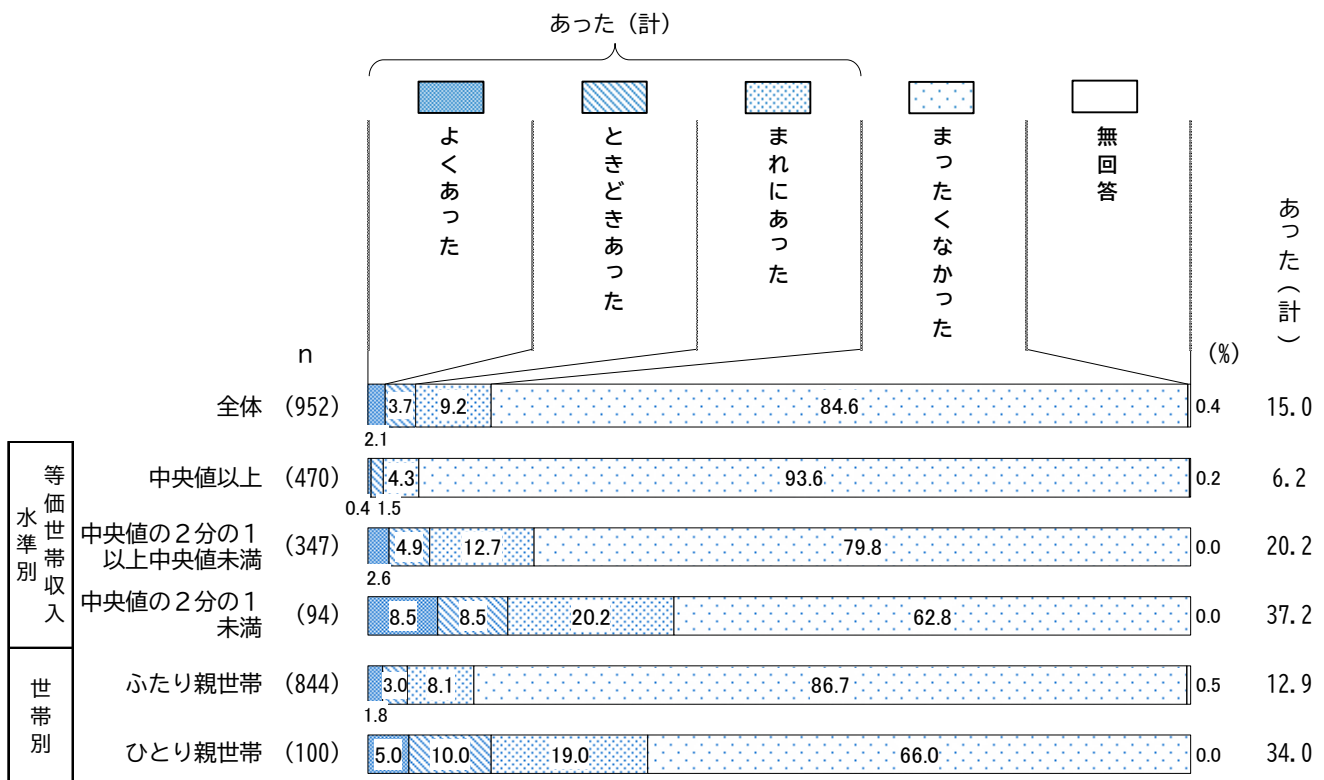
Q：あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（○は1つ）

■衣服が買えなかった経験

過去1年の間に必要とする衣服が買えなかった経験があったかについては、《あった 計》は15.0%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《あった 計》は、中央値以上の世帯では6.2%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では20.2%、中央値の2分の1未満の世帯では37.2%となっています。

世帯の状況別にみると、《あった 計》は、ふたり親世帯では12.9%、ひとり親世帯では34.0%となっています。



※衣服が買えなかった経験で「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を選んだ方
Q：その理由として考えられるものは何ですか。（〇はいくつでも）

■衣服が買えなかった理由

衣服が買えなかった理由については、「物価が上昇したため」が65.0%、「世帯の収入が減少したため」と「大きな臨時支出があったため」が24.5%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では「物価が上昇したため」のほか、「大きな臨時支出があったため」も高くなっています。

世帯の状況別にみると、「物価が上昇したため」はひとり親（79.4%）がふたり親（60.2%）に比べて19.2ポイント上回っています。

		調査数（n）	物価が上昇したため	世帯の収入が減少したため	大きな臨時支出があったため	世帯主が失業したため	家族が増えるため	その他	無回答
単位：%									
全体		143	65.0	24.5	24.5	1.4	0.0	5.6	9.8
等価世帯収入水準別	中央値以上	29	62.1	13.8	34.5	0.0	0.0	3.4	17.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	70	68.6	25.7	30.0	1.4	0.0	5.7	4.3
	中央値の2分の1未満	35	65.7	34.3	8.6	2.9	0.0	2.9	11.4
世帯別	ふたり親世帯	108	60.2	22.2	27.8	0.9	0.0	6.5	12.0
	ひとり親世帯	34	79.4	32.4	14.7	2.9	0.0	2.9	2.9

※母数が30未満の項目は参考値とする。

(4) 公共料金における未払いの経験・理由【中学2年生保護者調査】

Q：あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（○はいくつでも）

■公共料金における未払いの経験

過去1年の間に「携帯電話、スマートフォン料金」、「電気料金」、「水道料金」、「ガス料金」について経済的な理由で未払いになったことがあるかについて、「あった」の割合は、「携帯電話、スマートフォン料金」が2.5%、「電気料金」が2.3%、「水道料金」が2.1%、「ガス料金」が2.0%となっています。また、いずれか1つ以上該当する割合は4.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、いずれの割合も中央値の2分の1未満の世帯で最も高く、「電気料金」が7.4%、「携帯電話、スマートフォン料金」が6.4%、「水道料金」と「ガス料金」が4.3%となっています。いずれか1つ以上該当する割合は、中央値以上の世帯では1.3%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では7.2%、中央値の2分の1未満の世帯では13.8%となっています。

世帯の状況別にみると、いずれの割合もひとり親世帯でやや高く、「水道料金」が6.0%、「携帯電話、スマートフォン料金」が4.0%、「電気料金」と「ガス料金」が3.0%となっています。いずれか1つ以上該当する割合は、ふたり親世帯では4.1%、ひとり親世帯では11.0%となっています。

単位：%		調査数 (n)	携帯電話、 スマートフォン料金	電気料金	水道料金	ガス料金	あてはまるものは ない	無回答
全体		952	2.5	2.3	2.1	2.0	94.3	0.8
等価世帯収入 水準別	中央値以上	470	0.4	0.9	0.9	0.6	98.5	0.2
	中央値の2分の1 以上中央値未満	347	4.3	2.9	2.9	2.9	92.2	0.6
	中央値の2分の1 未満	94	6.4	7.4	4.3	4.3	86.2	0.0
世帯別	ふたり親世帯	844	2.3	2.3	1.7	1.9	95.1	0.8
	ひとり親世帯	100	4.0	3.0	6.0	3.0	89.0	0.0

■公共料金における未払いの理由

※公共料金における未払いの経験で「1～4」※を選んだ方のみ回答
Q：その理由として考えられるものは何ですか。（○はいくつでも）

※選択肢	【公共料金における未払いの経験】							
	1. 電気料金							
	2. ガス料金							
	3. 水道料金							
	4. 携帯電話・スマートフォン料金							

経済的な理由で未払いがあった理由については、「物価が上昇したため」が56.5%、「世帯の収入が減少したため」が43.5%、「大きな臨時支出があったため」が39.1%となっています。

		調査数（n）	物価が上昇したため	世帯の収入が減少したため	大きな臨時支出があったため	世帯主が失業したため	家族が増えるため	その他	無回答
単位：%									
全体		46	56.5	43.5	39.1	2.2	2.2	10.9	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	6	66.7	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	25	56.0	44.0	44.0	4.0	4.0	16.0	0.0
	中央値の2分の1未満	13	61.5	46.2	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0
世帯別	ふたり親世帯	34	52.9	44.1	41.2	2.9	2.9	11.8	0.0
	ひとり親世帯	11	63.6	36.4	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0

※母数が30未満の項目は参考値とする。

5 学習状況について

（1）学校の授業以外の勉強の仕方【中学2年生調査】

Q：あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。（○はいくつでも）
※勉強には学校の宿題も含まれます。

ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているかについては、「自分で勉強する」が84.9%、次いで「塾で勉強する」が45.2%、「家の人に教えてもらう」が31.6%、「友達と勉強する」が25.8%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「家の人に教えてもらう」が22.3%、「友達と勉強する」が19.1%で他の世帯と比べて低くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、「自分で勉強する」、「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」の割合が低くなっています。

単位：%		調査数（n）	自分で勉強する	塾で勉強する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	地域の人が行う無料の勉強会に参加する	家庭教師に教えてもらう	学校の補習を受ける	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
全体		952	84.9	45.2	31.6	25.8	2.7	1.8	0.5	4.0	4.0	0.1
等価世帯収入水準別	中央値以上	470	85.1	54.3	35.7	26.2	2.1	1.3	0.9	3.8	2.3	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	347	85.3	36.3	29.4	27.1	3.2	2.3	0.0	4.0	5.5	0.3
	中央値の2分の1未満	94	80.9	33.0	22.3	19.1	4.3	2.1	1.1	4.3	6.4	0.0
世帯別	ふたり親世帯	844	86.0	46.2	32.7	26.2	2.8	1.7	0.6	4.0	3.8	0.1
	ひとり親世帯	100	78.0	38.0	21.0	23.0	2.0	3.0	0.0	4.0	4.0	0.0

（2）授業以外の1日あたりの勉強時間【中学2年生調査】

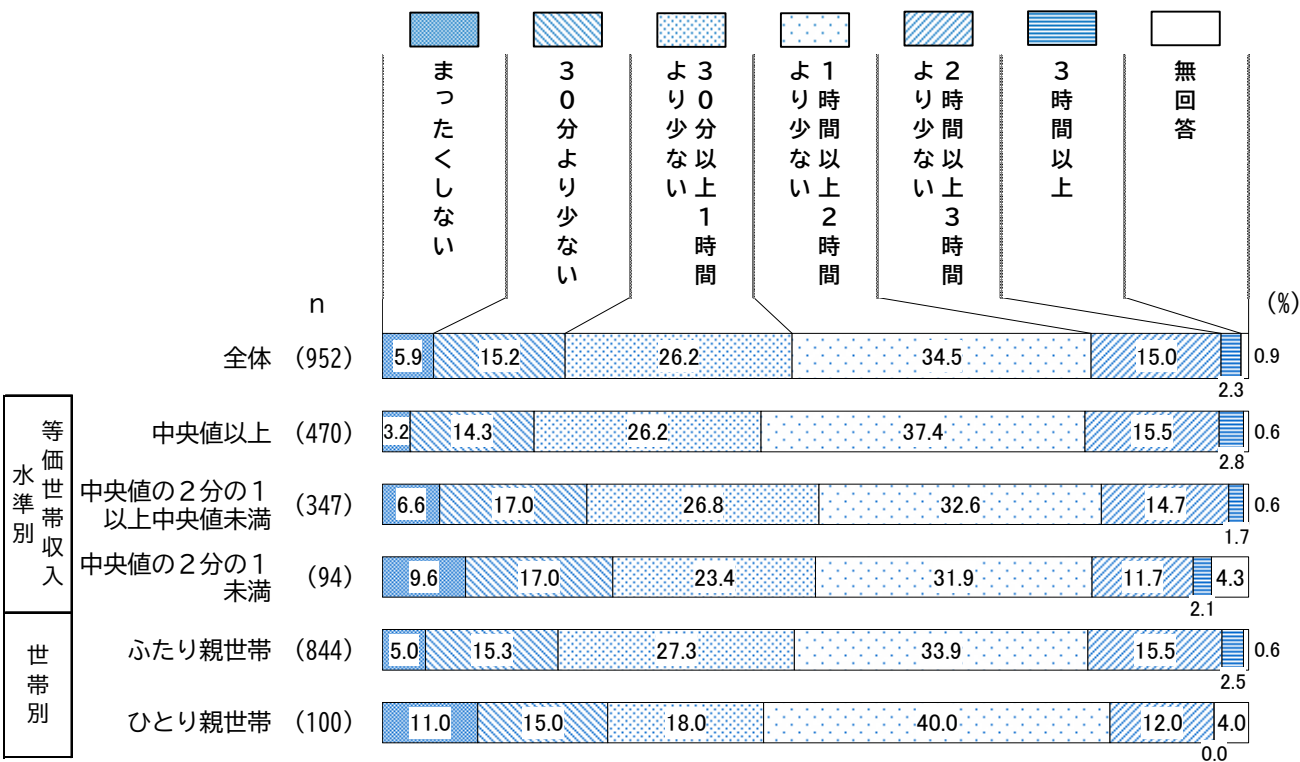
Q：あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

■学校がある日（月～金曜日）

学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、「学校がある日（月～金曜日）」では、「1時間以上、2時間より少ない」が34.5%で最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が26.2%となっています。また、「まったくしない」は5.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「2時間以上」勉強している割合が他の世帯と比べてやや低くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、「2時間以上」勉強している割合が低く、「まったくしない」の割合が高くなっています。

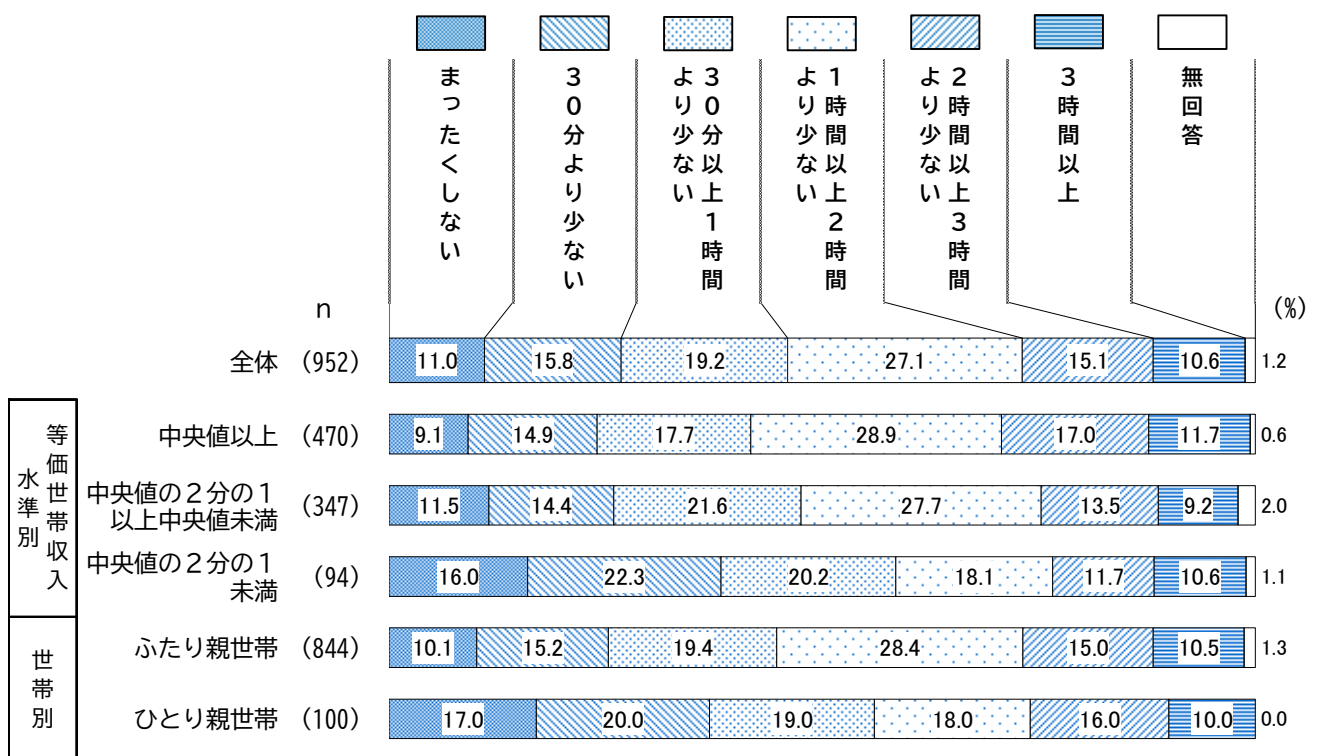


■学校がない日（土・日曜日・祝日）

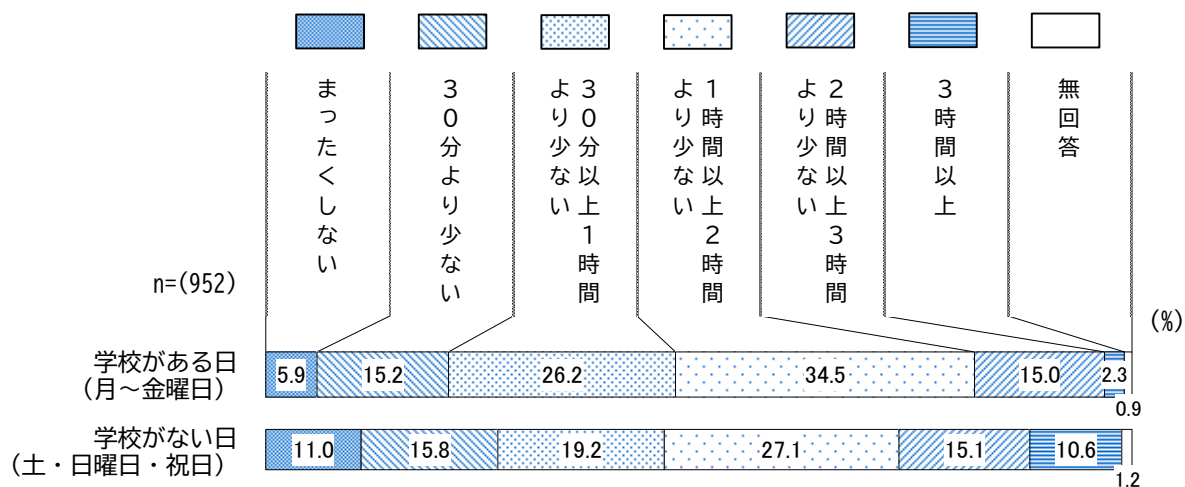
学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、「学校がない日（土・日曜日・祝日）」では、「1時間以上、2時間より少ない」が27.1%で最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が19.2%となっています。また、「まったくしない」は11.0%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「30分より少ない」の割合が他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、「まったくしない」の割合が高くなっています。



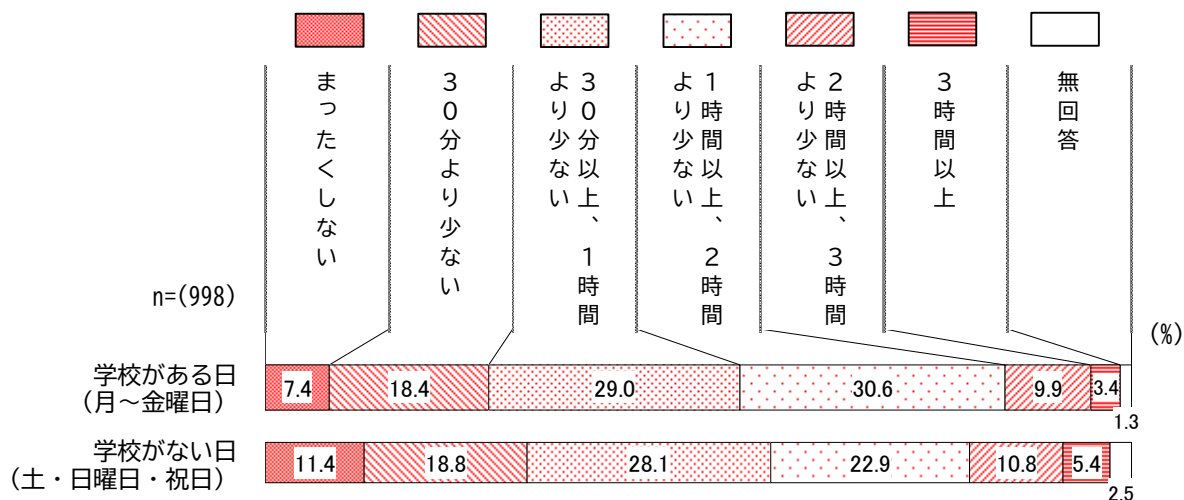
■学校がある日（月～金曜日）、学校がない日（土・日曜日・祝日）【再掲】



県調査※との比較

県調査の結果をみると、学校がある日（月～金曜日）の勉強時間については、「1時間以上、2時間より少ない」が30.6%で最も割合が高く、「30分以上、1時間より少ない」が29.0%と続いており、市調査と同様の傾向がみられます。

学校がない日（土・日曜日・祝日）の勉強時間については、「30分以上、1時間より少ない」が28.1%で最も割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が22.9%となっており、市調査と上位項目が逆転しています。



※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

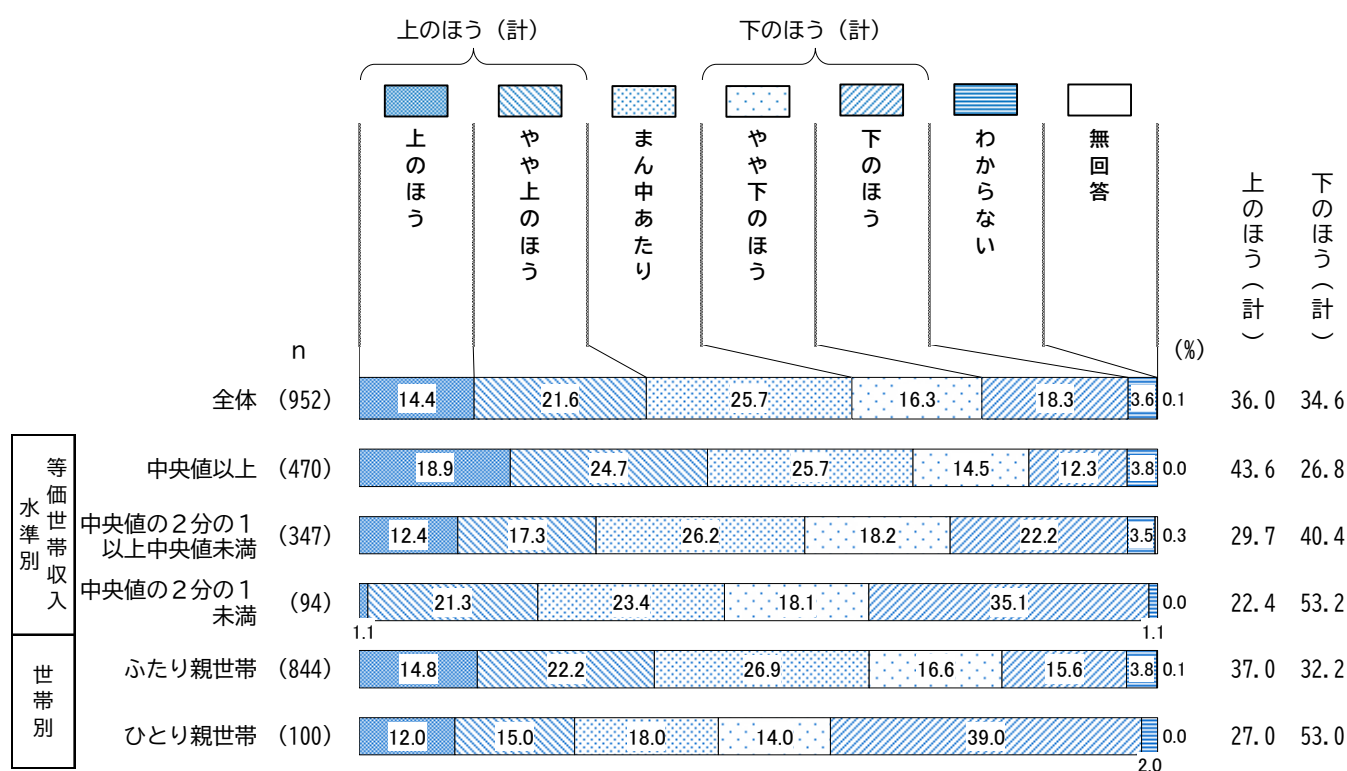
（3）クラスの中での成績【中学2年生調査】

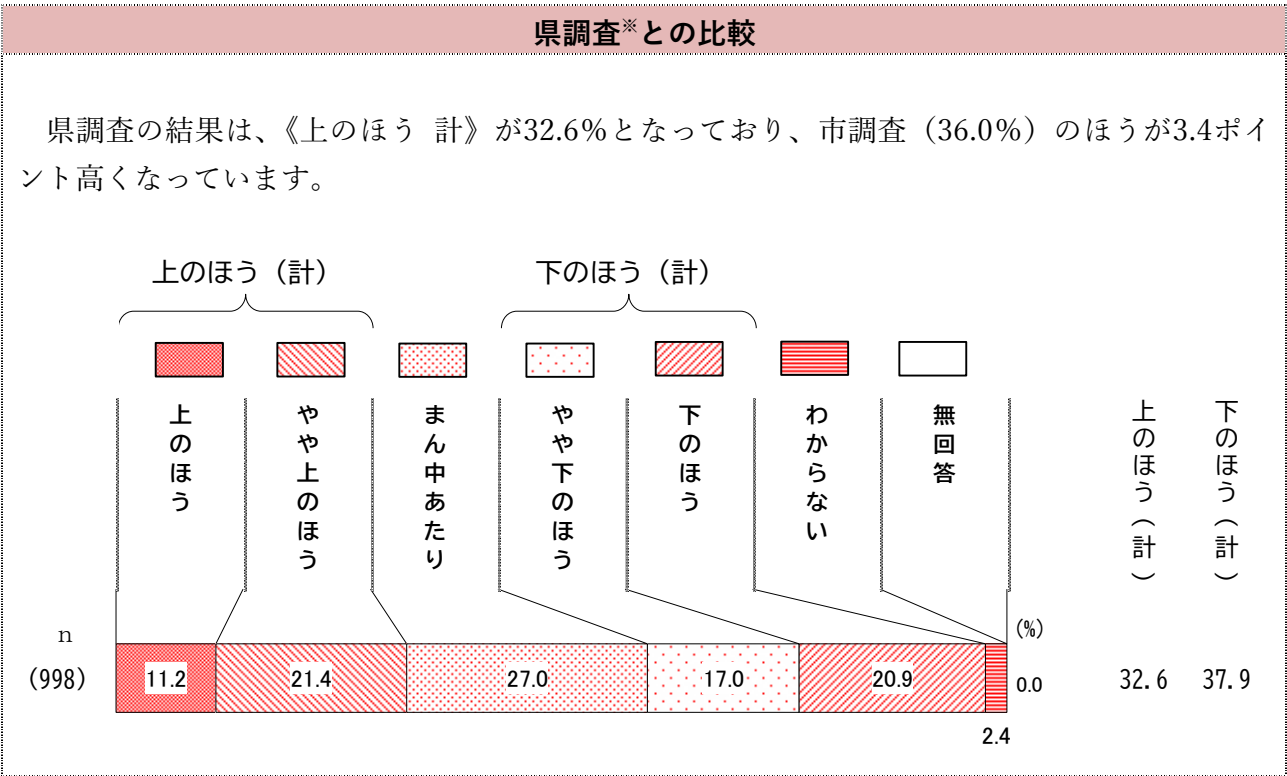
Q：あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（○は1つ）

クラスの中での成績については、「上のほう」は14.4%、「やや上のほう」は21.6%、「まん中あたり」は25.7%、「やや下のほう」は16.3%、「下のほう」は18.3%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた《下のほう 計》は、中央値以上の世帯では26.8%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では40.4%、中央値の2分の1未満の世帯では53.2%となっています。

世帯の状況別にみると、《下のほう 計》は、「ふたり親世帯」では32.2%、「ひとり親世帯」では53.0%となっています。





※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

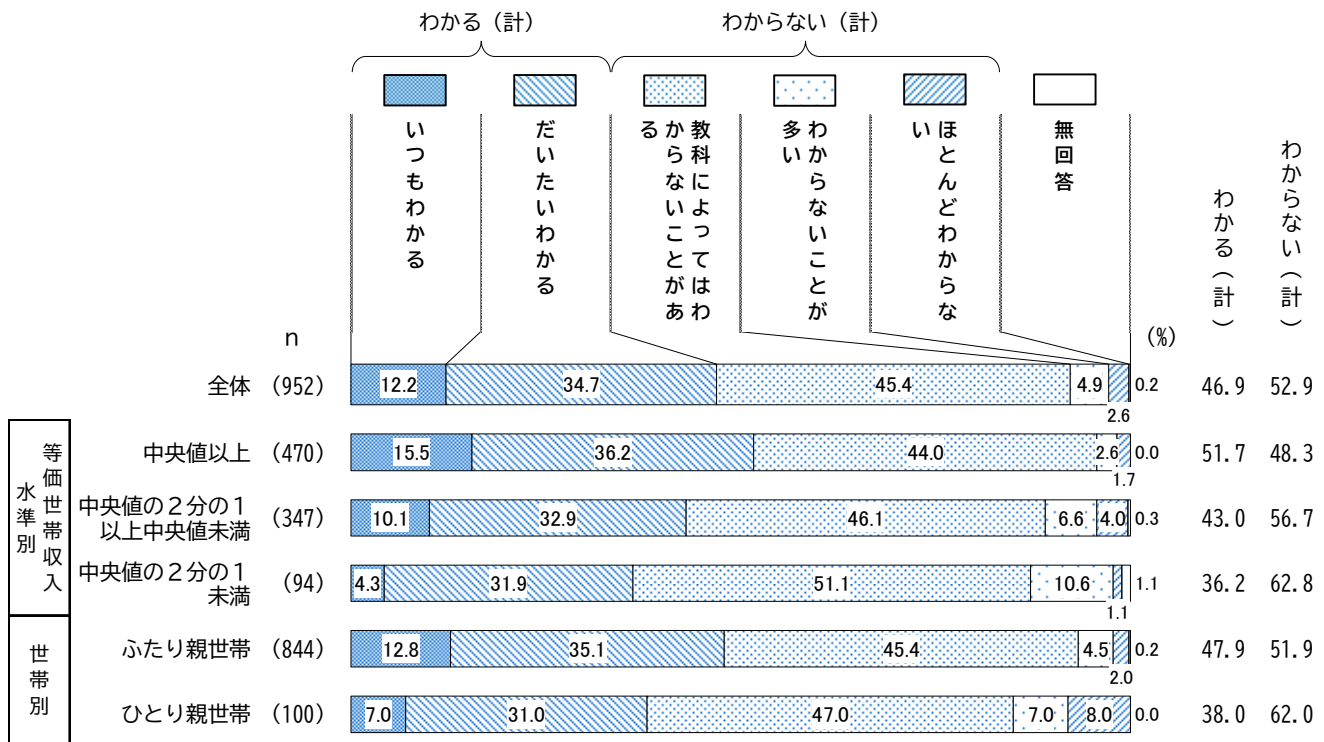
（4）授業の理解状況【中学2年生調査】

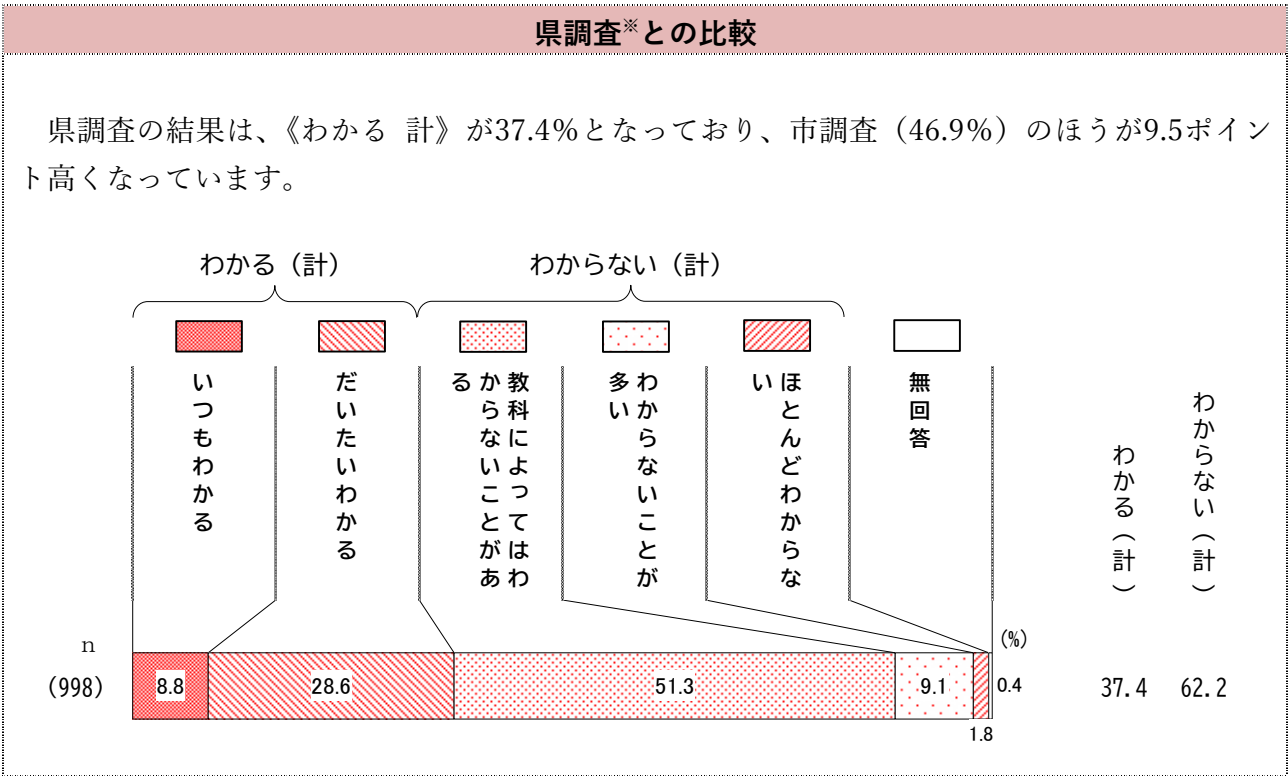
Q：あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○は1つ）

学校の授業の理解状況については、「いつもわかる」は12.2%、「だいたいわかる」は34.7%、「教科によってはわからないことがある」は45.4%、「わからないことが多い」は4.9%、「ほとんどわからない」は2.6%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」合わせた《わからない 計》は、中央値以上の世帯では48.3%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では56.7%、中央値の2分の1未満の世帯では62.8%となっています。

世帯の状況別にみると、《わからない 計》は、ふたり親世帯では51.9%、ひとり親世帯では62.0%となっています。





※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

（5）授業がわからなくなった時期【中学2年生調査】

※学校の授業がわからないことがあるかで「3」、「4」、「5」※を選んだ方のみ回答

Q：いつごろから、授業がわからないことになりましたか。（○は1つ）

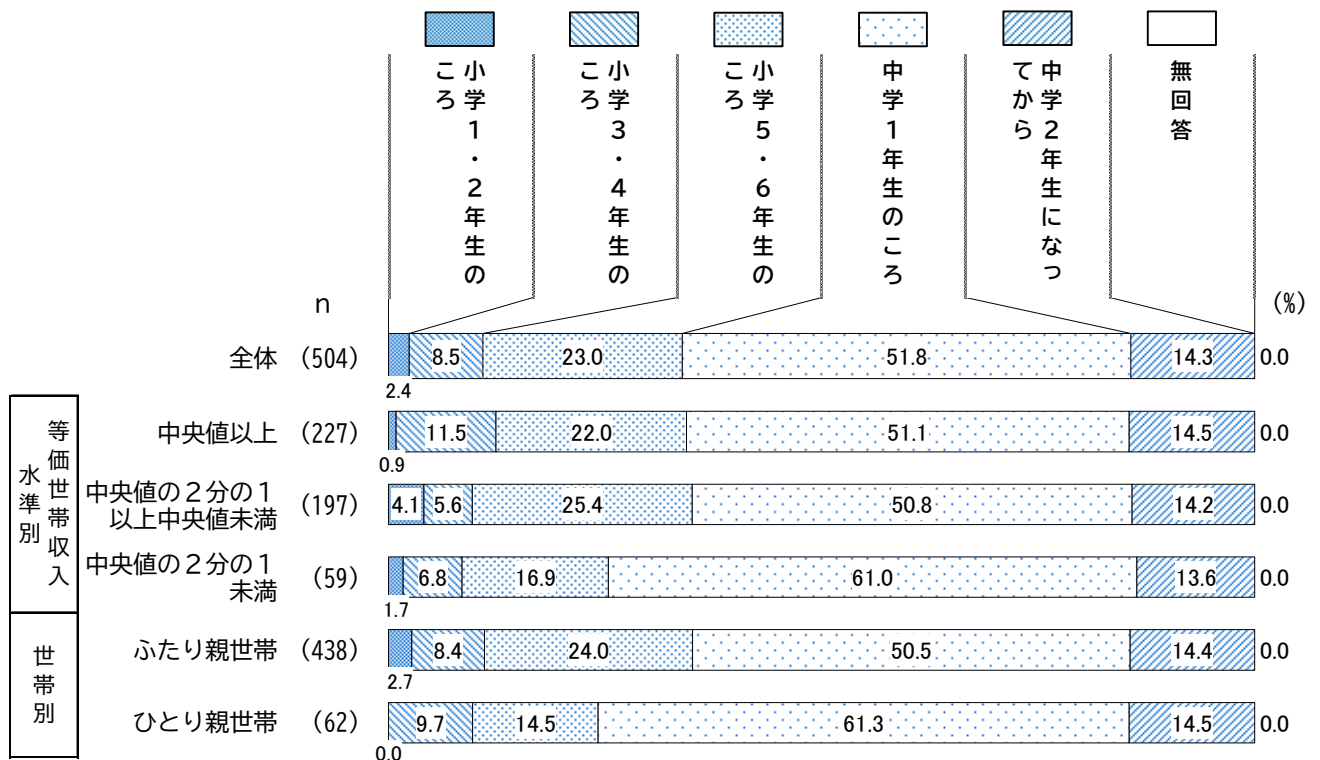
※選
択
肢

- 3.教科によってはわからないことがある
- 4.わからないことが多い
- 5.ほとんどわからない

授業がわからなくなった時期については、「小学1・2年生のころ」が2.4%、「小学3・4年生のころ」が8.5%、「小学5・6年生のころ」が23.0%、「中学1年生のころ」が51.8%、「中学2年生になってから」が14.3%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、小学生の時期に授業がわからなくなった割合は25.4%と他の世帯と比べて低くなっていますが、一方で「中学1年生のころ」の割合が61.0%と高く、中学生になると授業がわからなくなる傾向がみられます。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、小学生の時期に授業がわからなくなった割合は24.2%と低くなっていますが、一方で「中学1年生のころ」の割合が61.3%と高く、中央値の2分の1未満の世帯と同様に、中学生になると授業がわからなくなる傾向がみられます。



6 進学希望・展望について

（1）進学したいと思う教育段階【中学2年生調査】

Q：あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（○は1つ）

将来どの段階まで進学したいかについては、「大学まで」が48.2%、次いで「まだわからない」が23.4%、「高等学校まで」が14.0%、「専門学校まで」が9.6%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「大学まで」の割合は、中央値以上の世帯では56.4%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では42.9%、中央値の2分の1未満の世帯では30.9%となっており、中央値の2分の1未満の世帯では「高等学校まで」の割合が28.7%で他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、「大学まで」の割合が低く、「高等学校まで」と「専門学校まで」の割合が高くなっています。

		調査数（n）	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで	短大まで	5年制の高等専門学校まで	大学まで	大学院まで	その他	まだわからない	無回答
単位：%												
全体		952	0.4	14.0	9.6	1.1	0.5	48.2	2.5	0.2	23.4	0.1
等価世帯収入水準別	中央値以上	470	0.0	9.1	9.4	1.1	0.2	56.4	2.6	0.0	21.3	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	347	1.2	16.7	7.8	1.2	0.9	42.9	2.0	0.6	26.8	0.0
	中央値の2分の1未満	94	0.0	28.7	16.0	1.1	0.0	30.9	3.2	0.0	19.1	1.1
世帯別	ふたり親世帯	844	0.4	13.0	8.5	1.1	0.6	49.4	2.7	0.1	24.1	0.1
	ひとり親世帯	100	1.0	22.0	18.0	1.0	0.0	39.0	1.0	1.0	17.0	0.0

県調査※との比較							
県調査の結果は、「大学またはそれ以上」が39.9%となっており、市調査の「大学まで」と「大学院まで」を合わせた結果50.7%と比較すると、市調査のほうが10.8ポイント高くなっています。（選択肢が異なるため参考値とします）							
	調査数（n）	中学校まで	高等学校まで	短大、専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
単位：%							
全体	998	0.4	16.1	22.1	39.9	21.0	0.4

※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

(2) 進学志望についてそう考える理由【中学2年生調査】

※進学したいと思う教育段階で「1～7」※を選んだ方のみ回答

Q：その理由を教えてください。（〇はいくつでも）

※選 択 肢	1.中学校まで 2.高等学校まで 3.専門学校まで 4.短大まで	5.5年制の高等専門学校まで 6.大学まで 7.大学院まで
--------------	---	-------------------------------------

進学希望の理由については、「希望する学校や職業があるから」が55.0%、次いで「親がそう言っているから」が20.1%、「自分の成績から考えて」が16.5%となっています。

進学したいと思う教育段階別にみると、進学希望の教育段階が「高等学校まで」の場合には、「自分の成績から考えて」が26.3%、「家にお金がないと思うから」が6.6%、「早く働く必要があるから」が10.2%、「とくに理由はない」が30.7%で、他の場合と比べて高くなっています。一方、「希望する学校や職業があるから」の回答割合は低くなっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「早く働く必要があるから」が6.7%、「家にお金がないと思うから」が5.3%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「早く働く必要があるから」が7.3%、「家にお金がないと思うから」が6.1%と、ふたり親世帯と比べて高くなっています。

			調査数（n）	希望する学校や職業があるから	親がそう言っているから	自分の成績から考えて	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	早く働く必要があるから	家にお金がないと思うから	その他	とくに理由はない	無回答
単位：％													
全体		726	55.0	20.1	16.5	8.5	3.7	3.4	1.9	5.6	21.1	0.0	
進学したいと思う教育段階別	高等学校まで	137	36.5	15.3	26.3	4.4	4.4	10.2	6.6	4.4	30.7	0.0	
	専門学校、短大、 高等専門学校まで	106	78.3	6.6	11.3	2.8	2.8	1.9	0.9	2.8	14.2	0.0	
	大学またはそれ以上	483	55.1	24.4	14.9	11.0	3.7	1.9	0.8	6.6	19.9	0.0	
等価世帯収入水準別	中央値以上	370	58.1	23.0	16.2	11.1	4.9	3.5	0.8	6.8	17.3	0.0	
	中央値の2分の1以上中央値未満	252	51.6	17.1	17.1	5.2	2.4	2.8	2.4	5.6	24.6	0.0	
	中央値の2分の1未満	75	46.7	20.0	13.3	5.3	4.0	6.7	5.3	1.3	30.7	0.0	
世帯別	ふたり親世帯	639	55.2	19.7	16.4	9.5	3.8	3.0	1.4	5.8	21.0	0.0	
	ひとり親世帯	82	53.7	22.0	15.9	1.2	2.4	7.3	6.1	4.9	20.7	0.0	

(3) 子どもの進学段階に関する希望・展望【中学2年生保護者調査】

Q：お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。（○は1つ）

子どもが将来どの段階まで進学するかについては、「大学まで」が52.1%、次いで「まだわからない」が20.5%、「専門学校まで」が12.3%、「高等学校まで」が10.8%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「大学まで」の割合は、中央値以上の世帯では62.6%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では42.7%、中央値の2分の1未満の世帯では34.0%となっており、中央値の2分の1未満の世帯では「高等学校まで」の割合が25.5%で他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、「大学まで」の割合が低く、「高等学校まで」と「専門学校まで」の割合が高くなっています。

		調査数（n）	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで	短大まで	5年制の高等専門学校まで	大学まで	大学院まで	その他	まだわからない	無回答
単位：%												
全体		952	0.5	10.8	12.3	1.7	0.1	52.1	2.0	0.0	20.5	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	470	0.0	5.7	10.4	1.7	0.0	62.6	3.0	0.0	16.6	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	347	0.9	13.5	14.1	2.0	0.3	42.7	1.4	0.0	25.1	0.0
	中央値の2分の1未満	94	2.1	25.5	16.0	1.1	0.0	34.0	0.0	0.0	21.3	0.0
世帯別	ふたり親世帯	844	0.5	9.5	11.6	1.5	0.1	54.4	2.0	0.0	20.4	0.0
	ひとり親世帯	100	1.0	21.0	18.0	3.0	0.0	33.0	2.0	0.0	22.0	0.0

（4）進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由【中学2年生保護者調査】

※子どもの進学段階に関する希望・展望で「1～7」※を選んだ方のみ回答

Q：その理由は何ですか。（○はいくつでも）

※選 択 肢	1.中学校まで 2.高等学校まで 3.専門学校まで 4.短大まで	5.5年制の高等専門学校まで 6.大学まで 7.大学院まで
--------------	---	-------------------------------------

進学希望・展望の理由については、「お子さんがそう希望しているから」が46.2%、次いで「お子さんの学力から考えて」が35.3%、「一般的な進路だと思うから」が28.8%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」が20.3%と他の世帯と比べて高く、「お子さんがそう希望しているから」が37.8%と低くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」が23.1%と、ふたり親世帯と比べて高くなっています。

		調査数（n）	お子さんがそう希望しているから	お子さんの学力から考えて	一般的な進路だと思うから	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
単位：%									
全体		757	46.2	35.3	28.8	9.0	4.5	7.4	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	392	50.3	35.2	33.9	6.1	4.8	5.4	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	260	44.2	35.0	25.0	10.4	3.8	8.8	0.0
	中央値の2分の1未満	74	37.8	36.5	12.2	20.3	6.8	13.5	0.0
世帯別	ふたり親世帯	672	47.2	35.0	30.2	7.3	4.5	7.4	0.0
	ひとり親世帯	78	39.7	38.5	16.7	23.1	5.1	7.7	0.0

7 部活動等への参加について

（1）部活動への参加状況【中学2年生調査】

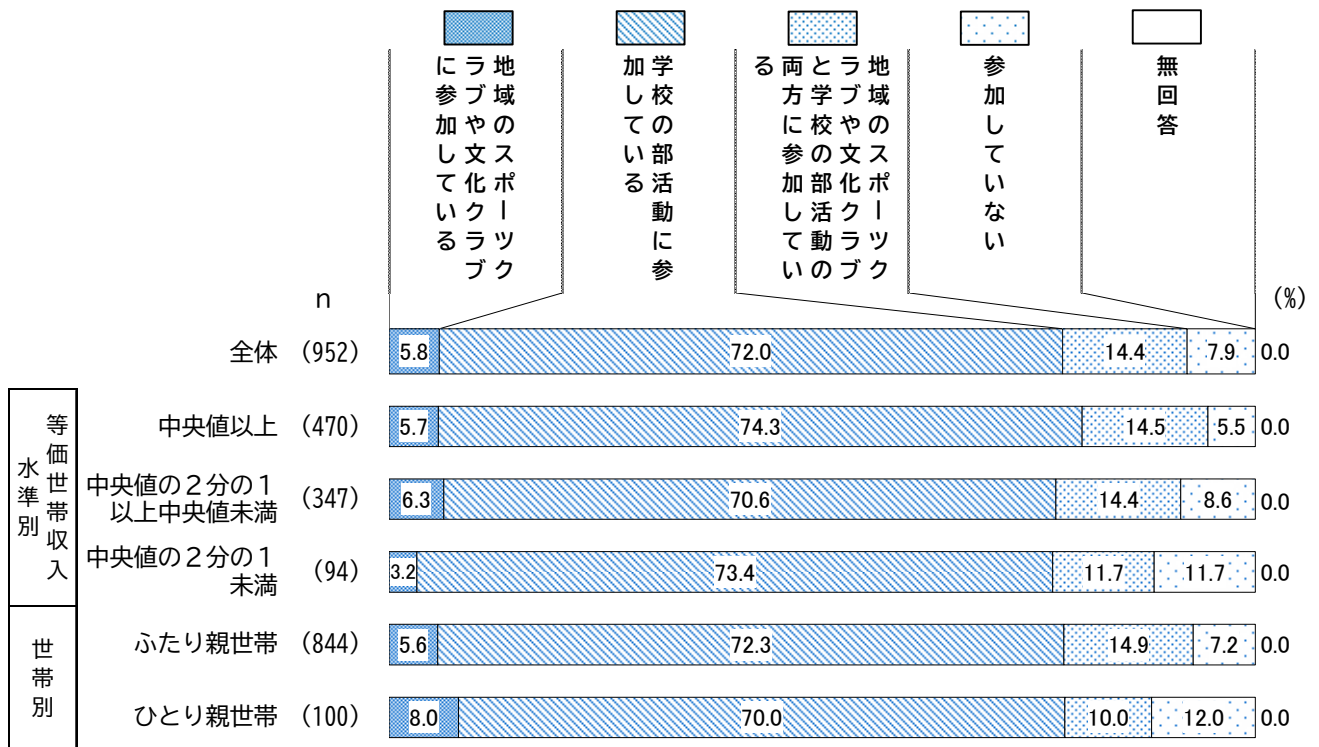
Q：あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

（○は1つ）

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加について、「地域のスポーツクラブや文化クラブに参加している」が5.8%、「学校の部活動に参加している」が72.0%、「地域のスポーツクラブや文化クラブと学校の部活動の両方に参加している」が14.4%、「参加していない」が7.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「参加していない」の割合は、中央値以上の世帯では5.5%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では8.6%、中央値の2分の1未満の世帯では11.7%となっています。

世帯の状況別にみると、「参加していない」の割合は、ふたり親世帯では7.2%、ひとり親世帯では12.0%となっています。



（2）部活動等に参加していない理由【中学2年生調査】

※地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動の参加状況で「4.参加していない」※を選んだ方のみ回答

Q：参加していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

部活動等に参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」が38.7%、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」と「一緒に入る友達がいないから」が8.0%となっています。

単位：%		調査数（n）	入りたいクラブ・部活動がないから	家の事情（家族の世話、家事など）があるから	一緒に入る友達がいないから	費用がかかるから	塾や習い事が忙しいから	その他	無回答
全体		75	38.7	8.0	8.0	6.7	5.3	53.3	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	26	38.5	11.5	11.5	7.7	7.7	46.2	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	30	23.3	3.3	6.7	3.3	3.3	63.3	0.0
	中央値の2分の1未満	11	72.7	9.1	9.1	9.1	0.0	45.5	0.0
世帯別	ふたり親世帯	61	32.8	9.8	8.2	6.6	4.9	60.7	0.0
	ひとり親世帯	12	58.3	0.0	8.3	8.3	8.3	25.0	0.0

※母数が30未満の項目は参考値とする。

8 日常的な生活の状況について

（1）食事の状況・食事を毎日食べない理由・1回の食事の量【中学2年生調査】

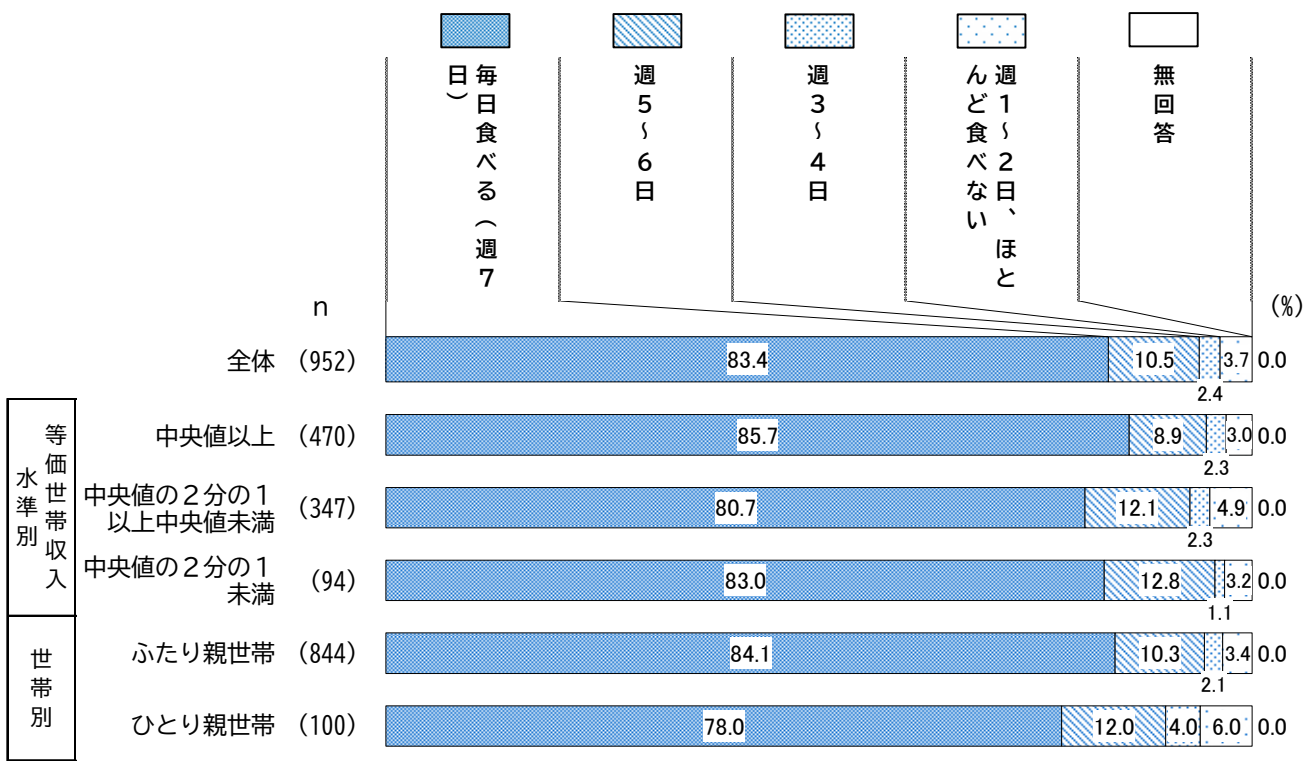
Q：あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。（○は1つ）

■朝食（食事の状況）

「朝食」の状況については、「毎日食べる（週7日）」が83.4%、「週5～6日」が10.5%、「週3～4日」が2.4%、「週1～2日、ほとんど食べない」が3.7%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値以上の世帯では、「毎日食べる（週7日）」の割合が85.7%と他の世帯と比べてやや高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「毎日食べる（週7日）」の割合が78.0%と、ふたり親世帯と比べて低くなっています。



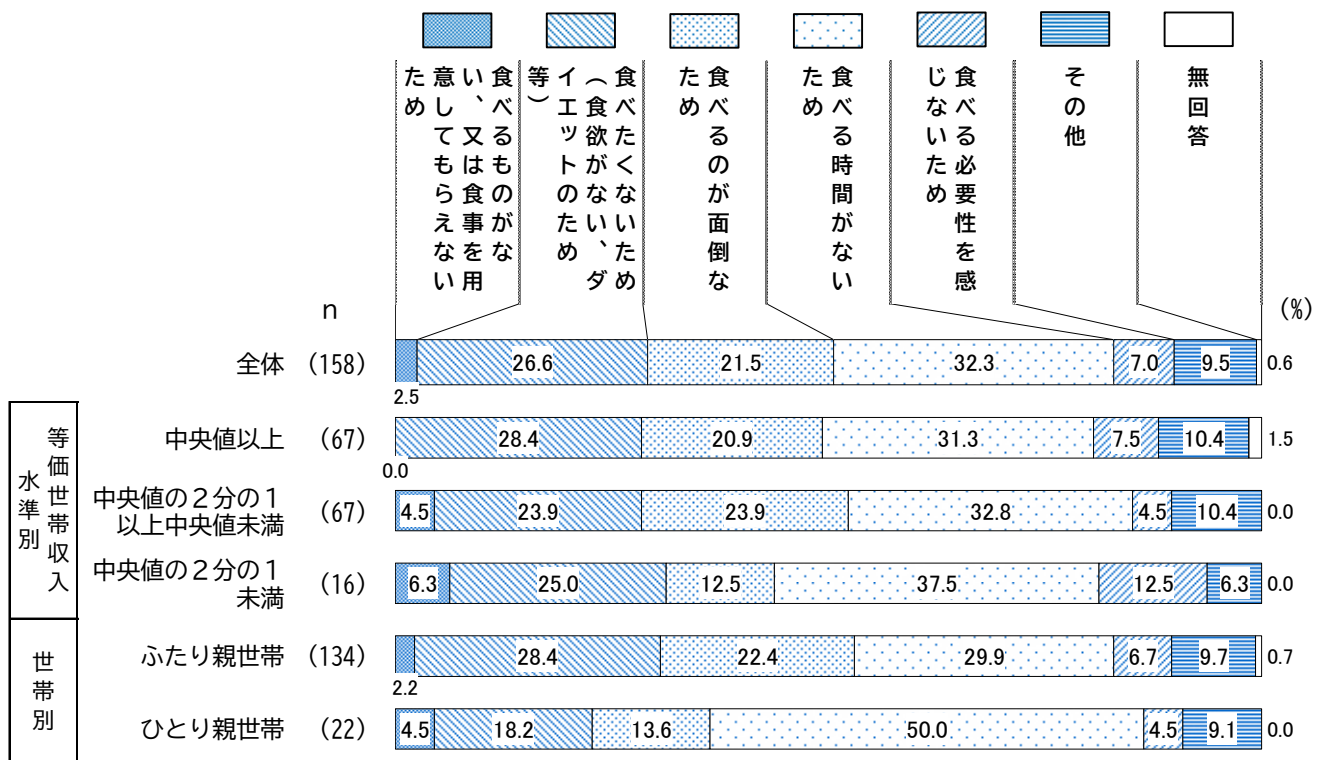
※食事の状況で「2～4」※を選んだ方のみ回答

Q：食事を毎日食べない理由は何ですか。（○は1つ）

※選択肢	2.週5～6日
	3.週3～4日
	4.週1～2日、ほとんど食べない

■朝食（毎日食べない理由）

「朝食」を毎日食べない理由については、「食べる時間がないため」が32.3%、次いで「食べたくないため（食欲がない、ダイエットのため等）」が26.6%、「食べるのが面倒なため」が21.5%となっています。



※母数が30未満の項目は参考値とする。

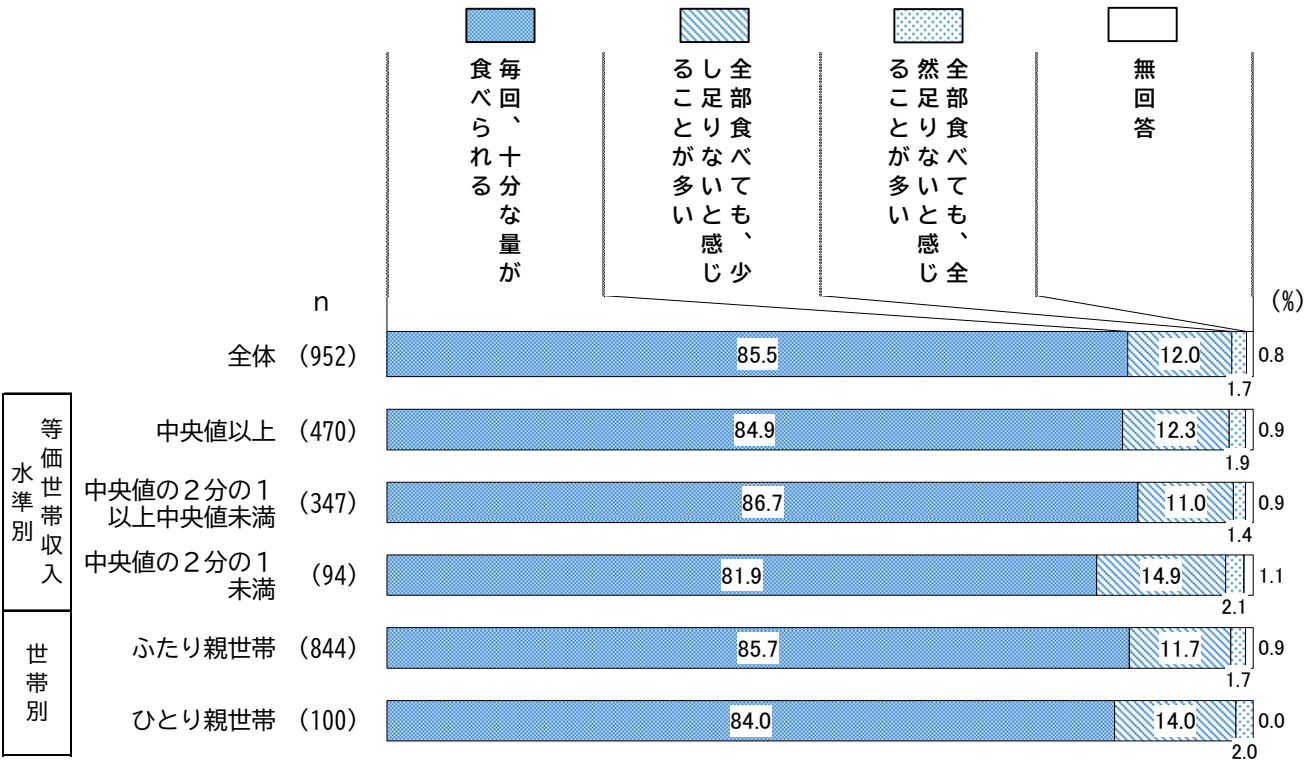
Q：1回の食事の量はどの程度ですか。（○は1つ）

■朝食（1回の食事量）

「朝食」の1回の量については、「毎回、十分な量が食べられる」が85.5%、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」が12.0%、「全部食べても、全然足りないと感じることが多い」が1.7%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「毎回、十分な量が食べられる」の割合が81.9%と他の世帯と比べてやや低くなっています。

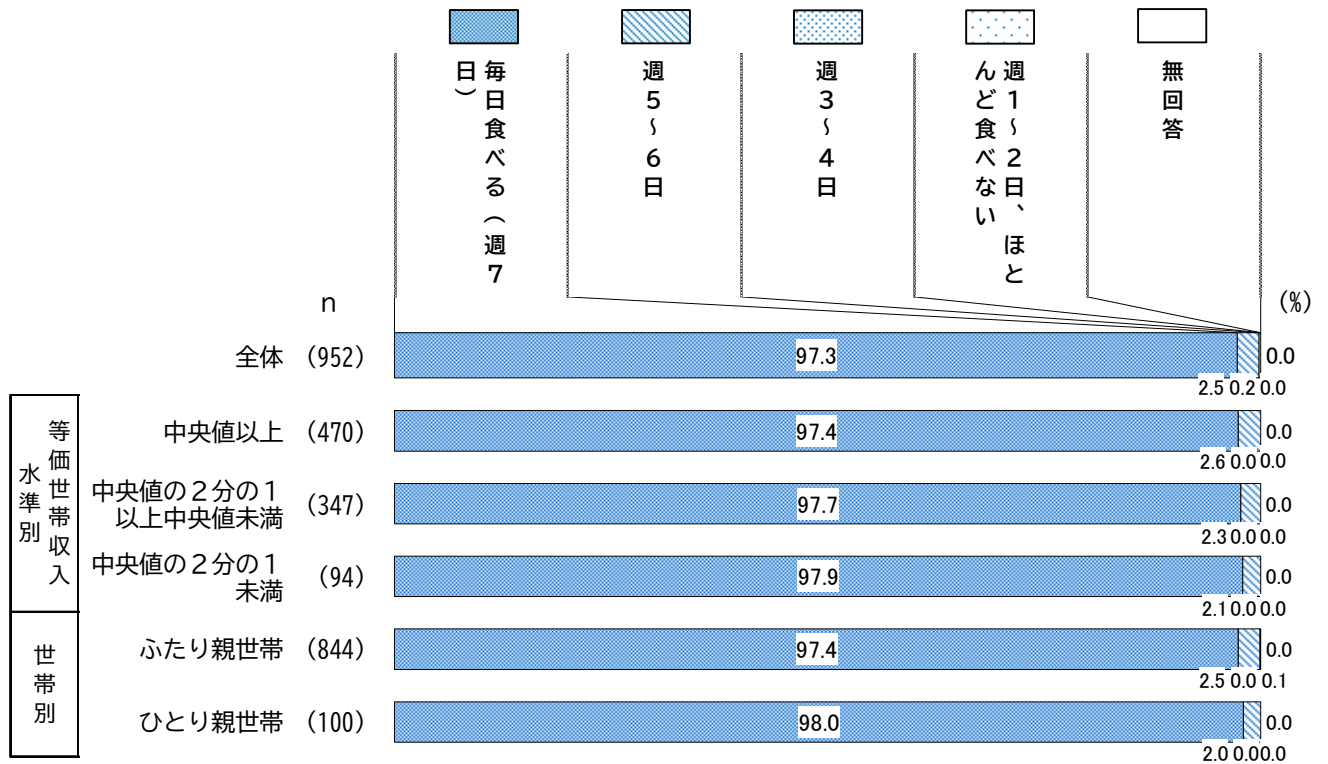
世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」の割合が14.0%と、ふたり親世帯と比べてやや高くなっています。



■夕食（食事の状況）

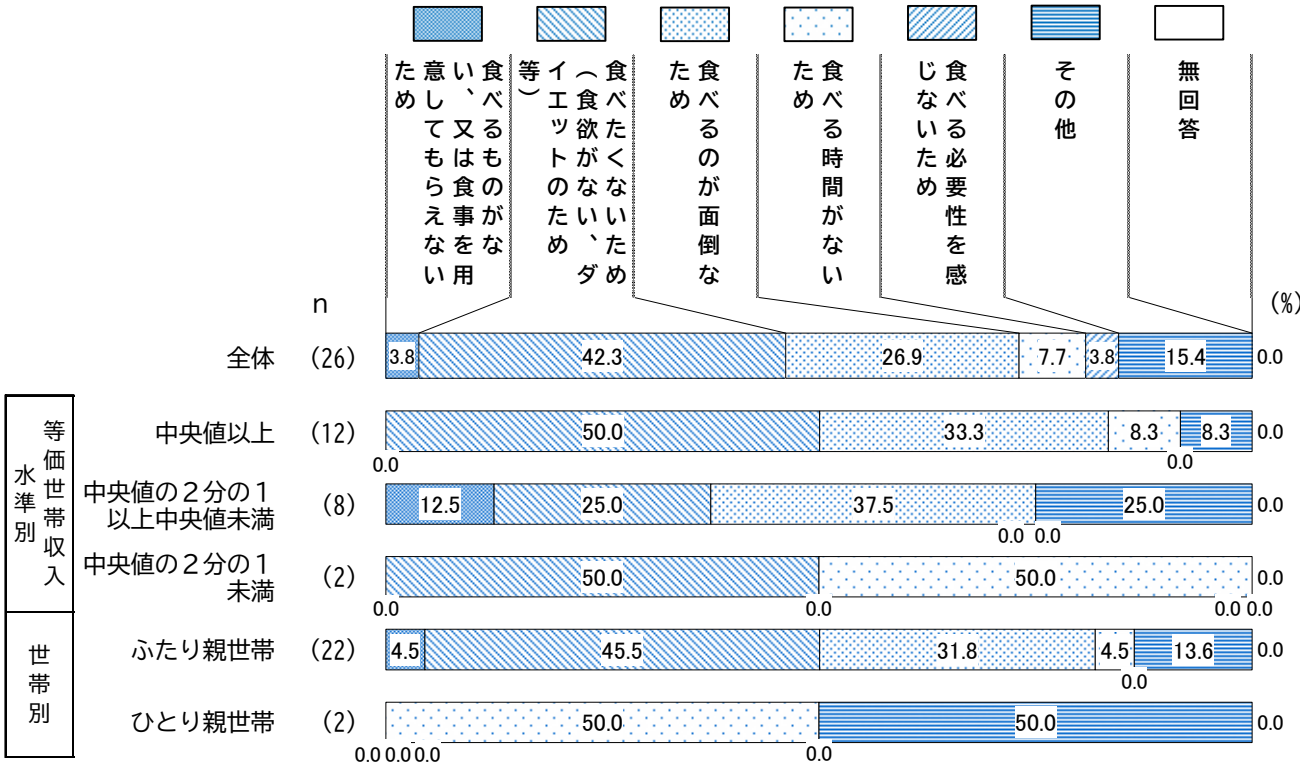
「夕食」の状況については、「毎日食べる（週7日）」が97.3%、「週5～6日」が2.5%、「週3～4日」が0.2%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.0%となっています。

等価世帯収入水準別、世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週7日）」の割合がいずれもほぼ全数となっており、大きな差はみられません。



■夕食（毎日食べない理由）

「夕食」を毎日食べない理由については、「食べたくないため（食欲がない、ダイエットのため等）」が42.3%、次いで「食べるのが面倒なため」が26.9%、「食べる時間がないため」が7.7%となっています。



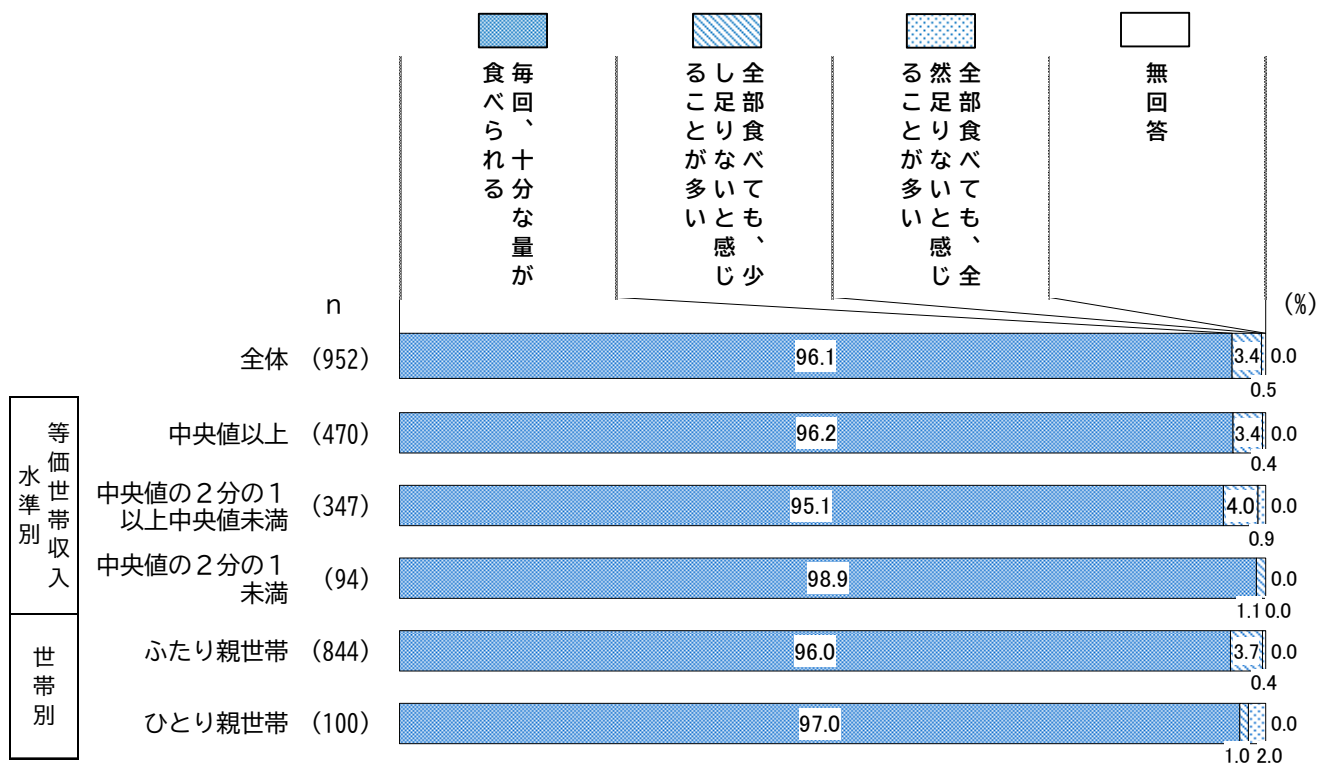
※母数が30未満の項目は参考値とする。

■夕食（1回の食事量）

「夕食」の1回の量については、「毎回、十分な量が食べられる」が96.1%、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」が3.4%、「全部食べても、全然足りないと感じることが多い」が0.5%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「毎回、十分な量が食べられる」の割合が98.9%と他の世帯と比べてやや高くなっています。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯では、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」の割合が3.7%と、ひとり親世帯と比べてやや高くなっています。

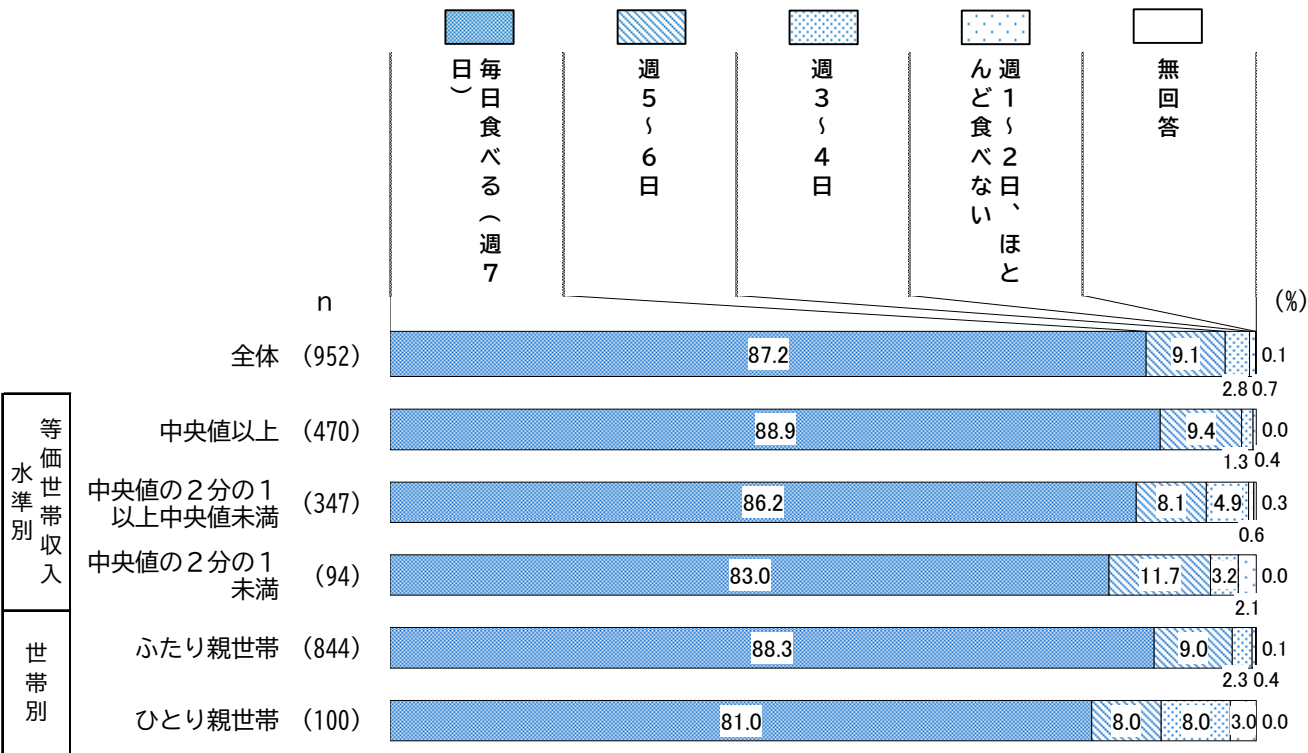


■夏休みや冬休みなどの期間の昼食（食事の状況）

「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」の状況については、「毎日食べる（週7日）」が87.2%、「週5～6日」が9.1%、「週3～4日」が2.8%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.7%となっています。

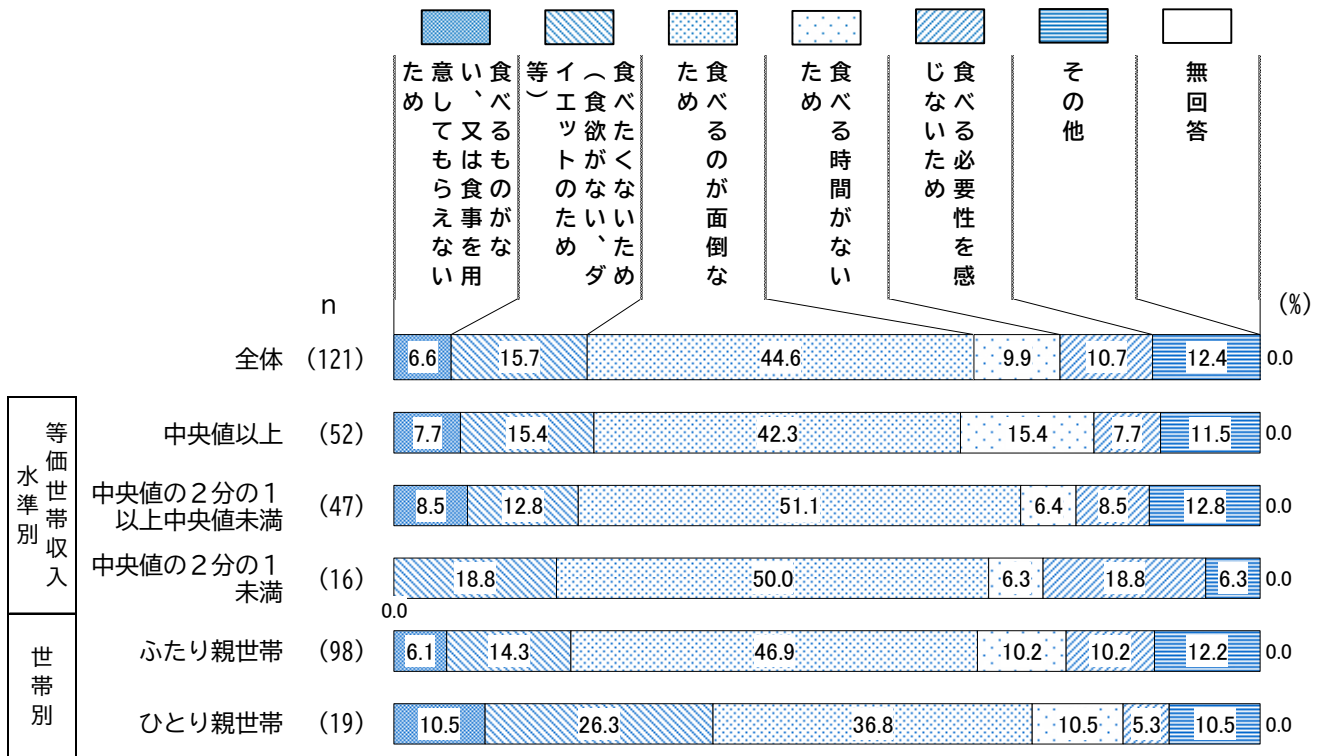
等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「週5～6日」が11.7%と他の世帯と比べてやや高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「週3～4日」の割合が8.0%と、ふたり親世帯と比べて高くなっています。



■夏休みや冬休みなどの期間の昼食（毎日食べない理由）

「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」を毎日食べない理由については、「食べるのが面倒なため」が44.6%、次いで「食べたくないため（食欲がない、ダイエットのため等）」が15.7%、「食べる必要性を感じないため」が10.7%となっています。



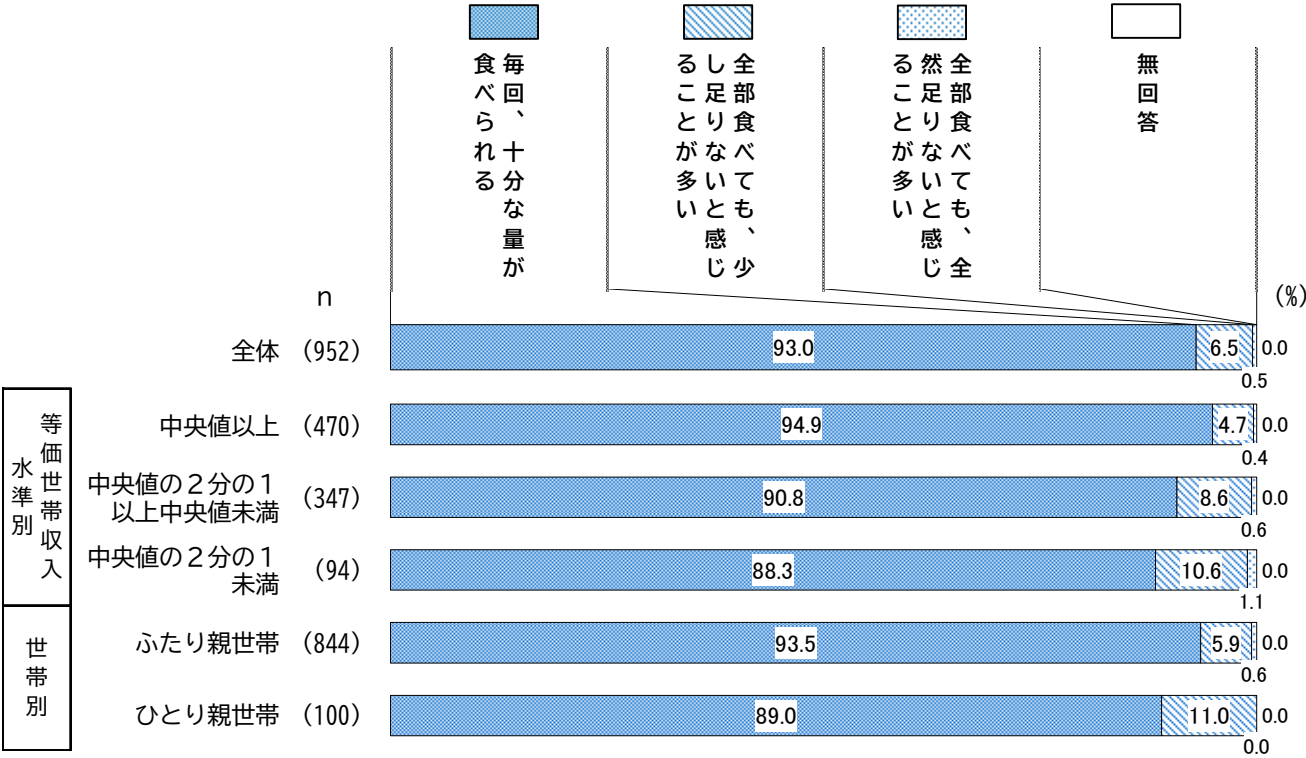
※母数が30未満の項目は参考値とする。

■夏休みや冬休みなどの期間の昼食（1回の食事量）

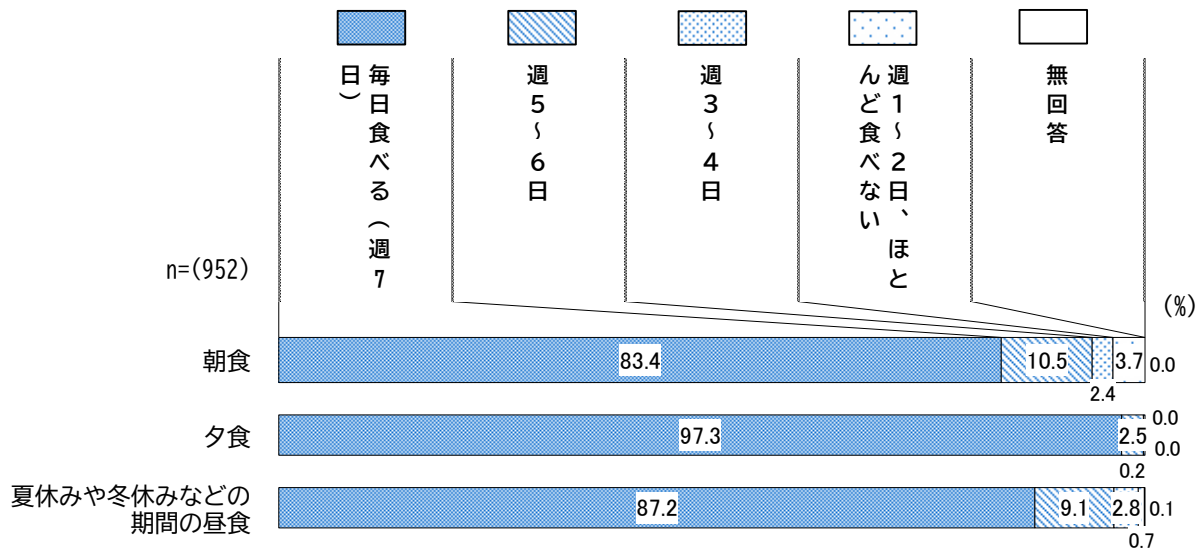
「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」の1回の量については、「毎回、十分な量が食べられる」が93.0%、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」が6.5%、「全部食べても、全然足りないと感じることが多い」が0.5%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「毎回、十分な量が食べられる」の割合が88.3%と他の世帯と比べて低く、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」の割合が10.6%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」の割合が11.0%と、ふたり親世帯と比べて高くなっています。

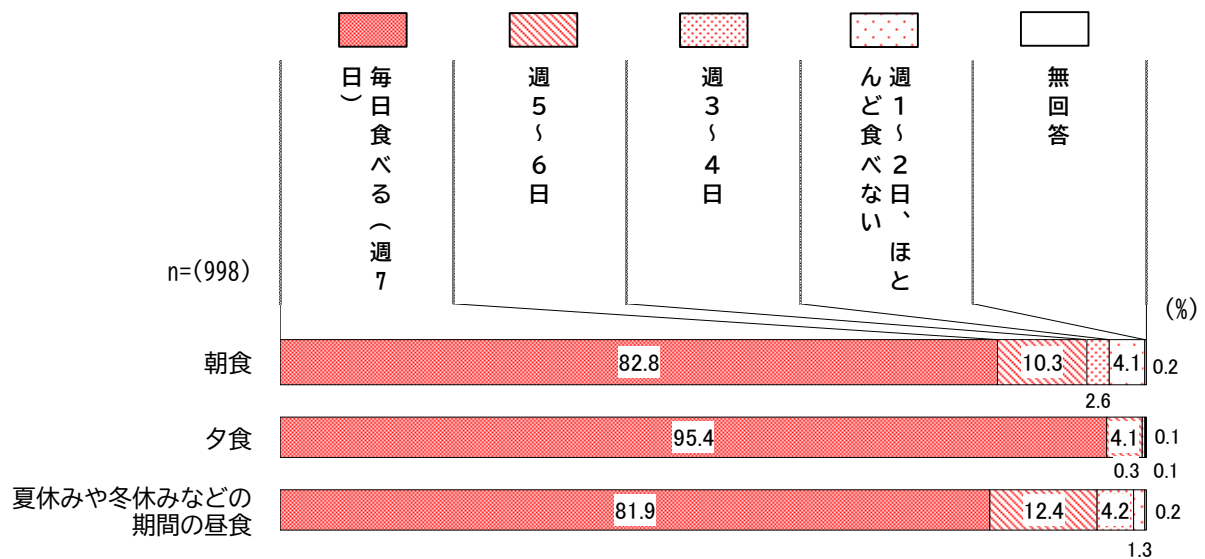


■朝食、夕食、夏休みや冬休みなどの期間の昼食（食事の状況）【再掲】



県調査※との比較

県調査の結果と比較すると、朝食については、「毎日食べる（週7日）」は県調査が82.8%、市調査が83.4%、夕食については、「毎日食べる（週7日）」は県調査が95.4%、市調査が97.3%とどちらも大きな差はなく同様の傾向がみられます。夏休みや冬休みなどの期間の昼食については、「毎日食べる（週7日）」は県調査が81.9%、市調査が87.2%と、市調査のほうが5.3ポイント高くなっています。



※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

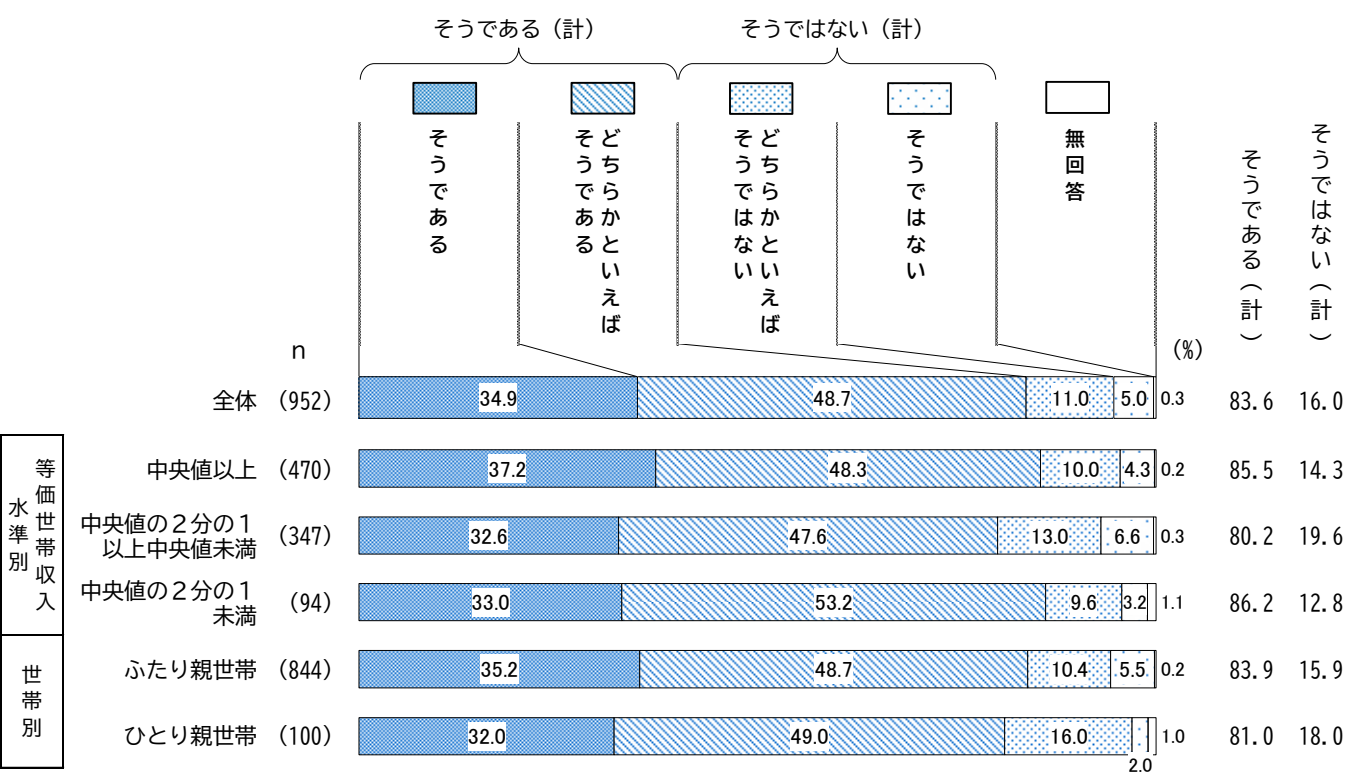
（2）就寝時間【中学2年生調査】

Q：あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(○は1つ)

就寝時間に関して、ほぼ同じ時間に寝ているかについては、「そうである」が34.9%、「どちらかといえばそうである」が48.7%、「どちらかといえばそうではない」が11.0%、「そうではない」が5.0%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では、「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた《そうではない 計》が19.6%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、《そうではない 計》が18.0%とふたり親世帯と比べてやや高くなっています。



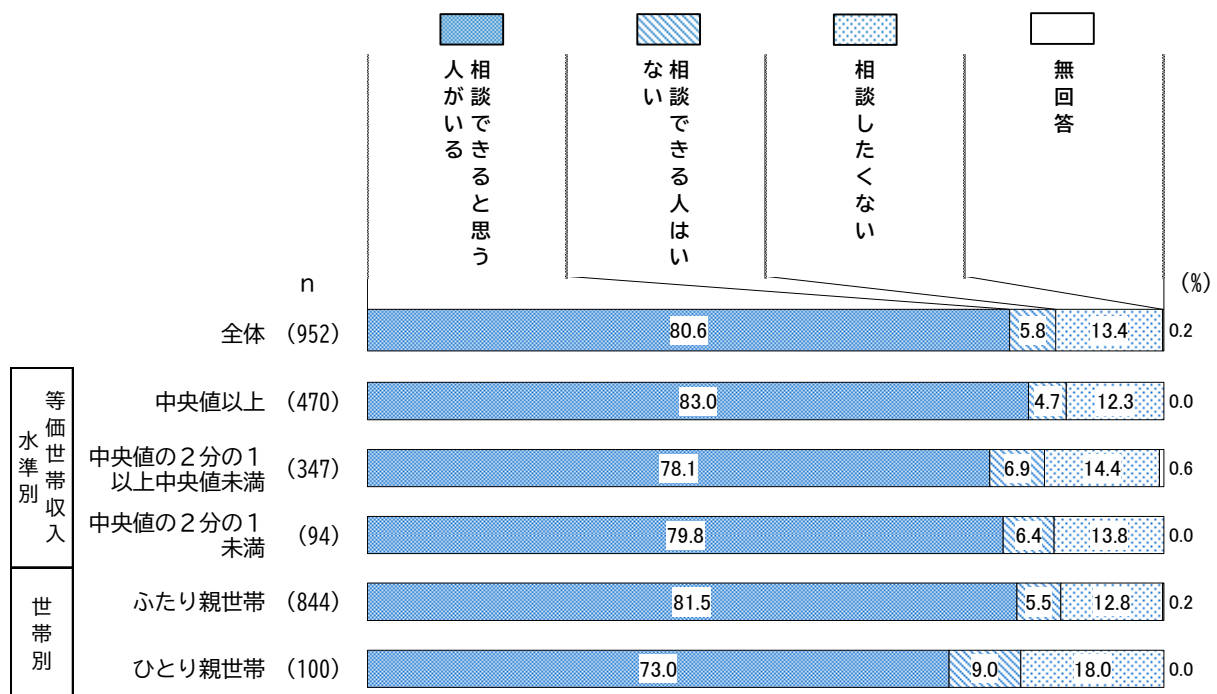
（3）相談相手の有無【中学2年生調査】

Q：あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はいますか。
（○は1つ）

困っていることや悩みごとがあるときの相談相手の有無については、「相談できると思う人がいる」が80.6%、「相談できる人はいない」が5.8%、「相談したくない」が13.4%となっています。

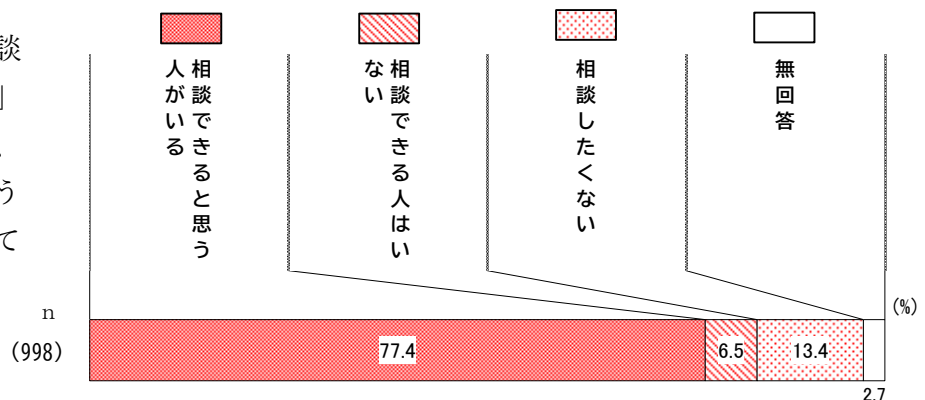
等価世帯収入水準別にみると、「相談できると思う人がいる」の割合は、中央値以上の世帯では83.0%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では78.1%、中央値の2分の1未満の世帯では79.8%となっています。

世帯の状況別にみると、「相談できると思う人がいる」の割合は、ふたり親世帯では81.5%、ひとり親世帯では73.0%となっています。ひとり親世帯では、「相談したくない」の割合が18.0%とふたり親世帯と比べて高くなっています。



県調査※との比較

県調査の結果は、「相談できると思う人がいる」が77.4%となっており、市調査（80.6%）のほうが3.2ポイント高くなっています。



※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

（4）相談相手【中学2年生調査】

Q：あなたが相談できると思う人はだれですか。（○はいくつでも）

相談できると思う人については、「学校の友達」が82.7%、次いで「親」が81.4%、「学校の先生」が35.5%、「兄弟姉妹」が29.2%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「学校の先生」が41.3%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「祖父母など」が23.3%、「ネットで知り合った人」が8.2%と、ふたり親世帯と比べて高くなっています。

単位：%		調査数（n）	学校の友達	親	学校の先生	兄弟姉妹	学校外の友達	祖父母など	その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）	ソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど	ネットで知り合った人	市や県の相談窓口	無回答
全体		767	82.7	81.4	35.5	29.2	22.6	17.3	7.3	5.3	4.6	2.1	0.3
等価世帯収入水準別	中央値以上	390	81.3	81.5	35.1	28.7	22.1	15.9	8.2	5.4	3.8	2.3	0.3
	中央値の2分の1以上中央値未満	271	86.3	80.8	35.1	29.9	22.5	19.9	7.4	4.8	4.8	1.8	0.0
	中央値の2分の1未満	75	80.0	86.7	41.3	32.0	21.3	17.3	4.0	4.0	5.3	1.3	1.3
世帯別	ふたり親世帯	688	83.1	81.4	35.8	29.4	22.8	16.7	7.3	5.2	4.1	2.3	0.1
	ひとり親世帯	73	78.1	79.5	31.5	24.7	20.5	23.3	8.2	4.1	8.2	0.0	1.4

県調査※との比較

県調査の結果は、「学校の友達」が最も多く79.1%となっており、市調査（82.7%）のほうが3.6ポイント高くなっています。次いで「親」は73.3%となっており、市調査（81.4%）のほうが8.1ポイント高くなっています。

単位：%		調査数（n）	学校の友達	親	学校の先生	兄弟姉妹	学校外の友達	祖父母など	その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	ソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど	市や県の相談窓口	無回答
全体		772	79.1	73.3	31.7	28.4	20.9	15.4	6.2	4.4	4.1	0.9	0.3

※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

（5）頼れる人の有無・頼れる相手【中学2年生保護者調査】

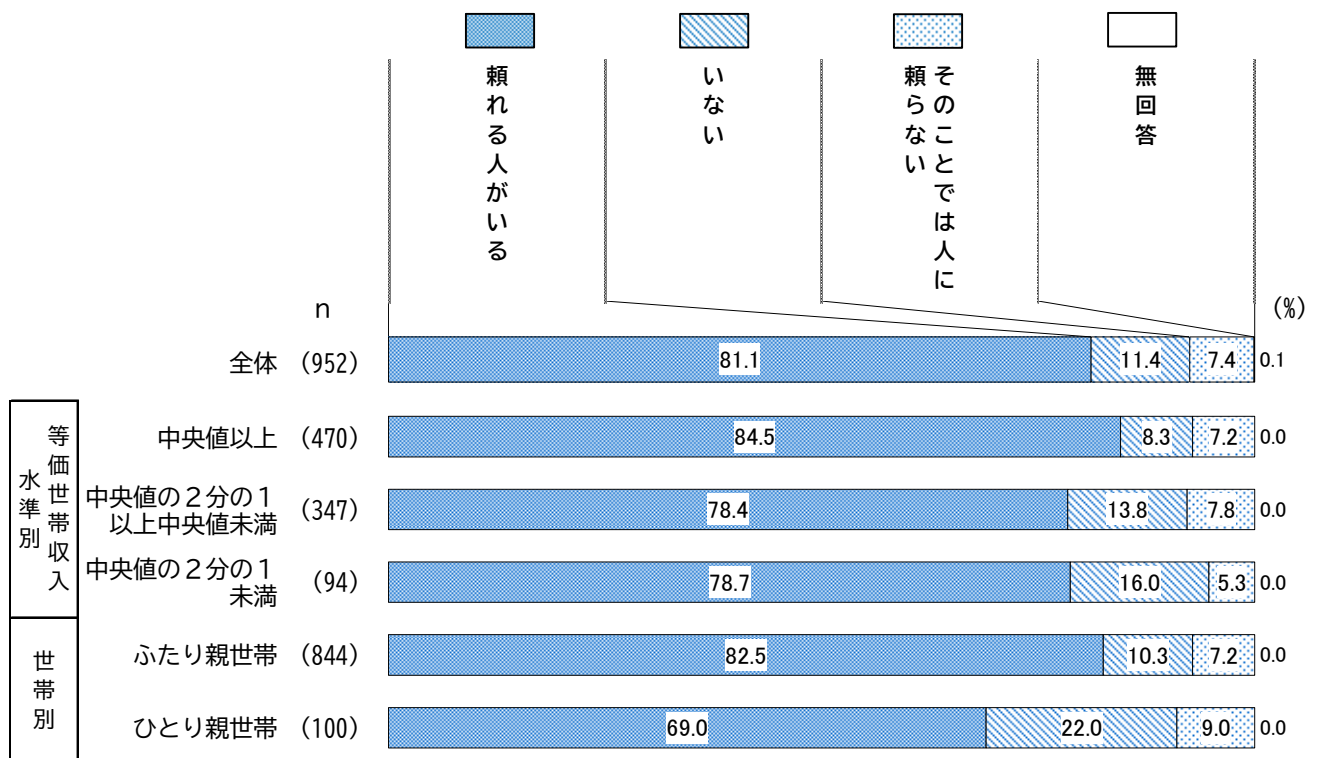
Q：あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。（○は1つ）

■子育てに関する相談

子育てに関する相談については、「頼れる人がいる」が81.1%、「いない」が11.4%、「そのことでは人に頼らない」が7.4%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、中央値以上の世帯では8.3%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では13.8%、中央値の2分の1未満の世帯では16.0%となっています。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、ふたり親世帯では10.3%、ひとり親世帯では22.0%となっています。



※周囲に頼れる人がいるかで「1.頼れる人がいる」※を選んだ方のみ回答

Q：それはだれですか。（○はいくつでも）

■子育てに関する相談をしたい時に頼れる相手

子育てに関する相談相手は、「家族・親族」が90.3%、次いで「友人・知人」が66.1%、「職場の人」が31.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では「家族・親族」が86.5%、「友人・知人」が60.8%、「職場の人」が20.3%で他の世帯と比べて割合が低くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では「家族・親族」、「友人・知人」、「職場の人」の割合がふたり親世帯と比べて低くなっています。

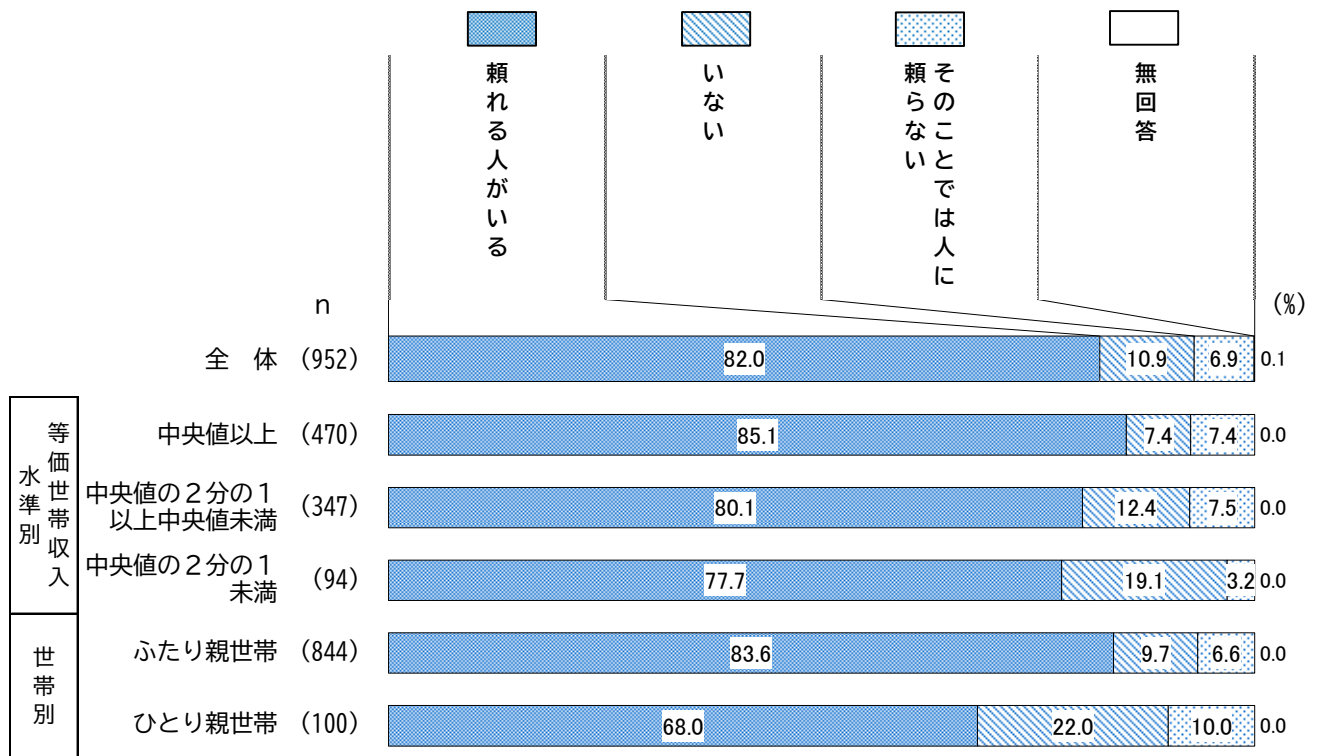
		調査数（n）	家族・親族	友人・知人	職場の人	近所の人	相談・支援機関や福祉の人	民生委員・児童委員	その他	無回答
単位：%										
全体		772	90.3	66.1	31.9	8.2	4.0	0.3	3.2	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	397	92.7	67.3	34.3	9.1	4.5	0.0	2.8	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	272	88.6	65.8	32.4	7.0	3.7	0.4	2.2	0.0
	中央値の2分の1未満	74	86.5	60.8	20.3	6.8	4.1	1.4	6.8	0.0
世帯別	ふたり親世帯	696	91.4	66.8	32.3	8.6	3.7	0.3	2.4	0.0
	ひとり親世帯	69	82.6	62.3	29.0	4.3	5.8	0.0	8.7	0.0

■重要な事柄の相談

重要な事柄の相談については、「頼れる人がいる」が82.0%、「いない」が10.9%、「そのことでは人に頼らない」が6.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、中央値以上の世帯では7.4%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では12.4%、中央値の2分の1未満の世帯では19.1%となっています。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、ふたり親世帯では9.7%、ひとり親世帯では22.0%となっています。



■重要な事柄の相談をしたい時に頼れる相手

重要な事柄の相談相手は、「家族・親族」が95.4%、次いで「友人・知人」が45.8%、「職場の人」が11.3%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では「職場の人」の割合が13.7%で他の世帯と比べてやや高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では「家族・親族」の割合がふたり親世帯と比べて低くなっています。

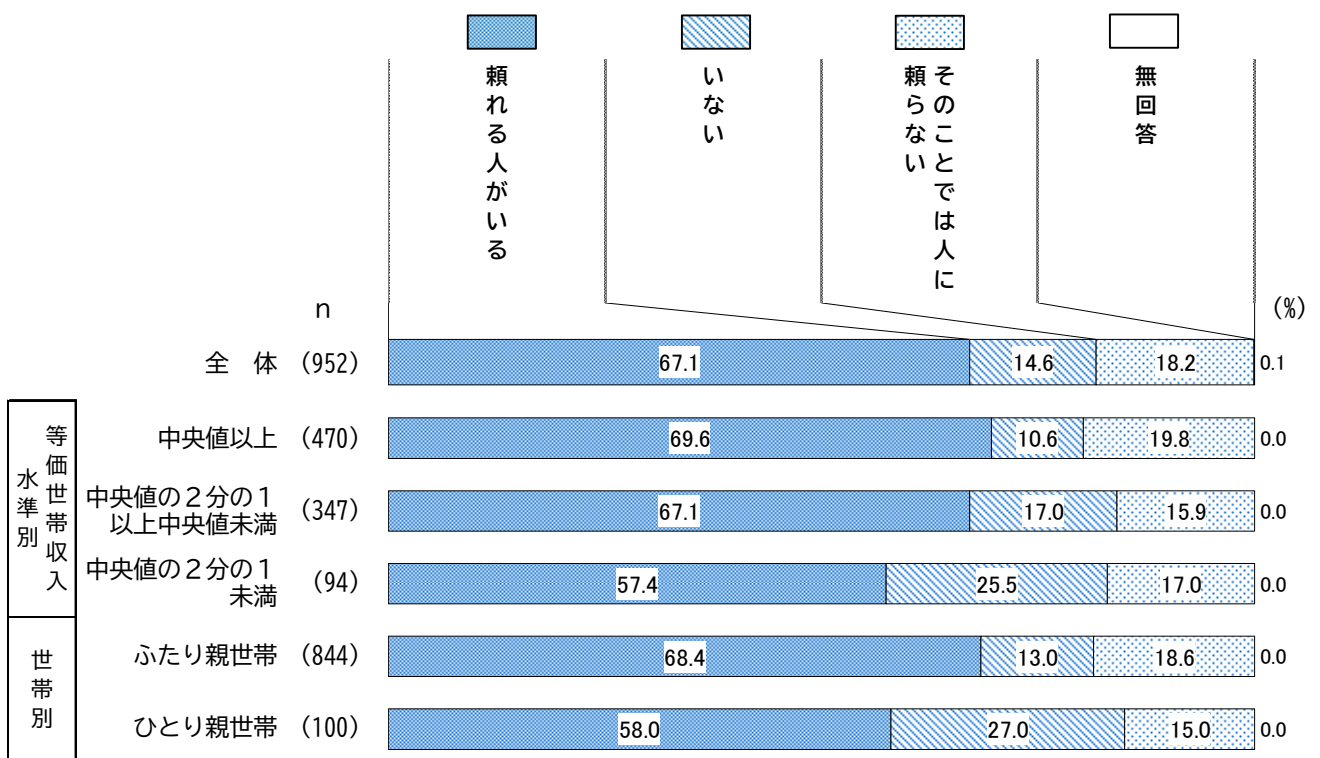
単位：％		調査数 (n)	家族・ 親族	友人・ 知人	職場の 人	相談・支 援機関 や福祉 の人	近所の 人	民生委員・ 児童委員	その他	無 回 答
全体		781	95.4	45.8	11.3	2.6	2.4	0.0	1.7	0.0
等価 世帯 収入 水準 別	中央値以上	400	96.3	47.5	11.3	2.8	3.0	0.0	0.8	0.0
	中央値の2分の1 以上中央値未満	278	94.6	41.7	10.8	2.5	1.4	0.0	2.5	0.0
	中央値の2分の1 未満	73	97.3	47.9	13.7	2.7	4.1	0.0	0.0	0.0
世帯 別	ふたり親世帯	706	96.5	45.0	10.9	2.3	2.4	0.0	1.1	0.0
	ひとり親世帯	68	88.2	57.4	16.2	4.4	2.9	0.0	4.4	0.0

■いざという時のお金の相談

いざという時のお金の相談については、「頼れる人がある」が67.1%、「いない」が14.6%、「そのことでは人に頼らない」が18.2%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、中央値以上の世帯では10.6%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では17.0%、中央値の2分の1未満の世帯では25.5%となっています。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、ふたり親世帯では13.0%、ひとり親世帯では27.0%となっています。



■いざという時のお金の相談をしたい時に頼れる相手

いざという時のお金の相談相手は、「家族・親族」が98.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、どの世帯でも「家族・親族」の割合が高く、中央値の2分の1未満の世帯では「友人・知人」の割合が13.0%で他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯、ふたり親世帯ともに「家族・親族」の割合が高く、ひとり親世帯では「友人・知人」の割合が15.5%でふたり親世帯と比べて高くなっています。

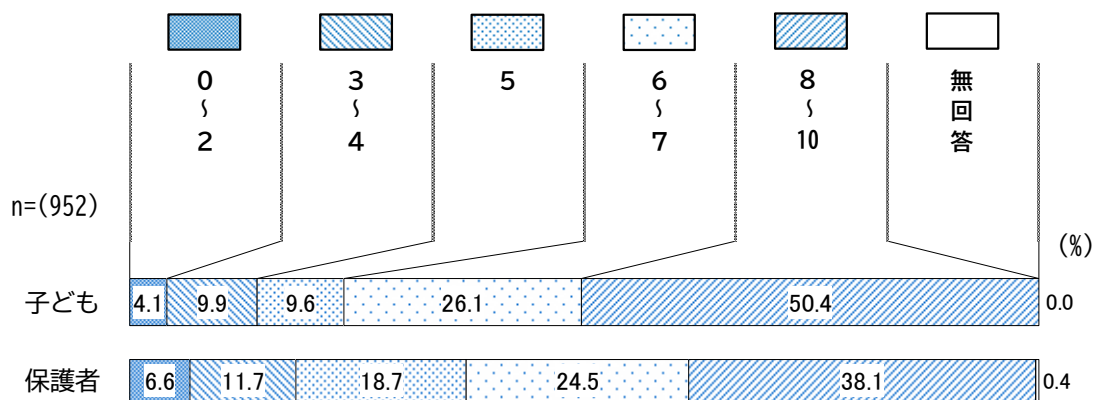
		調査数（n）	家族・親族	友人・知人	職場の人	相談・支援機関や福祉の人	近所の人	民生委員・児童委員	その他	無回答
単位：％										
全体		639	98.9	5.5	1.3	0.9	0.2	0.0	1.4	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	327	99.4	4.0	0.9	0.6	0.3	0.0	0.9	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	233	99.1	6.0	1.3	1.3	0.0	0.0	1.7	0.0
	中央値の2分の1未満	54	96.3	13.0	3.7	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
世帯別	ふたり親世帯	577	99.8	4.5	1.0	0.3	0.2	0.0	0.7	0.0
	ひとり親世帯	58	93.1	15.5	3.4	3.4	0.0	0.0	6.9	0.0

（6）生活満足度

Q：全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（○は1つ）

子どもの生活満足度は、「0～2」が4.1%、「3～4」が9.9%、「5」が9.6%、「6～7」が26.1%、「8～10」が50.4%となっており、満足度が高い方（6～10）の割合は76.5%となっています。

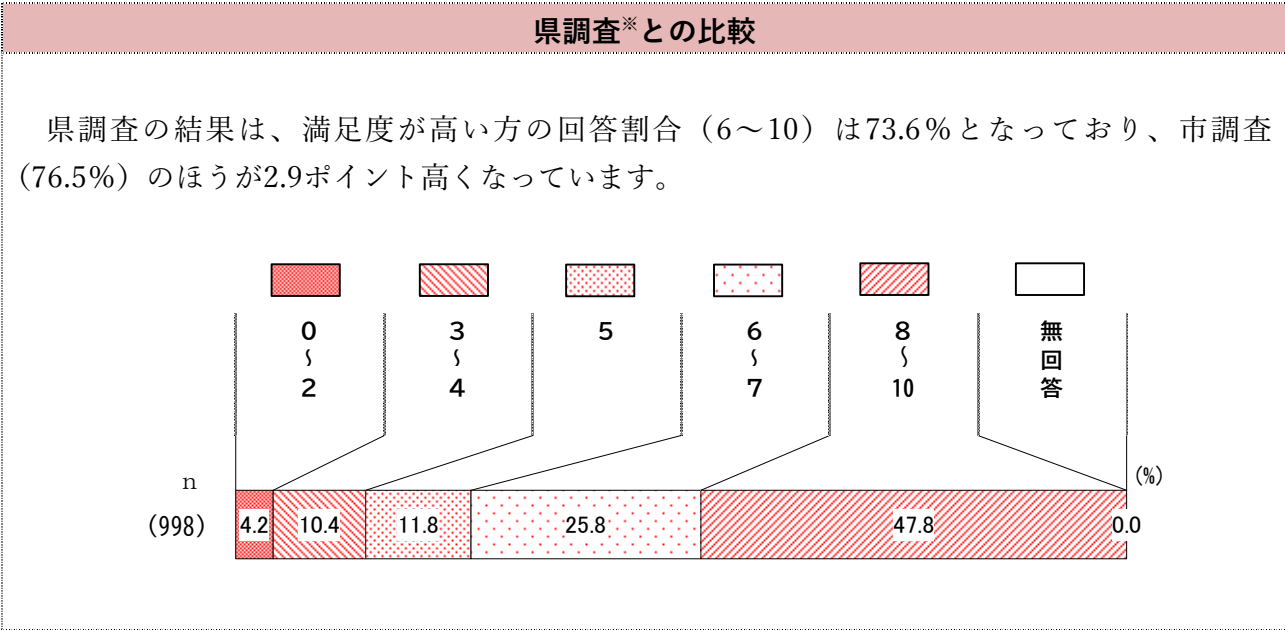
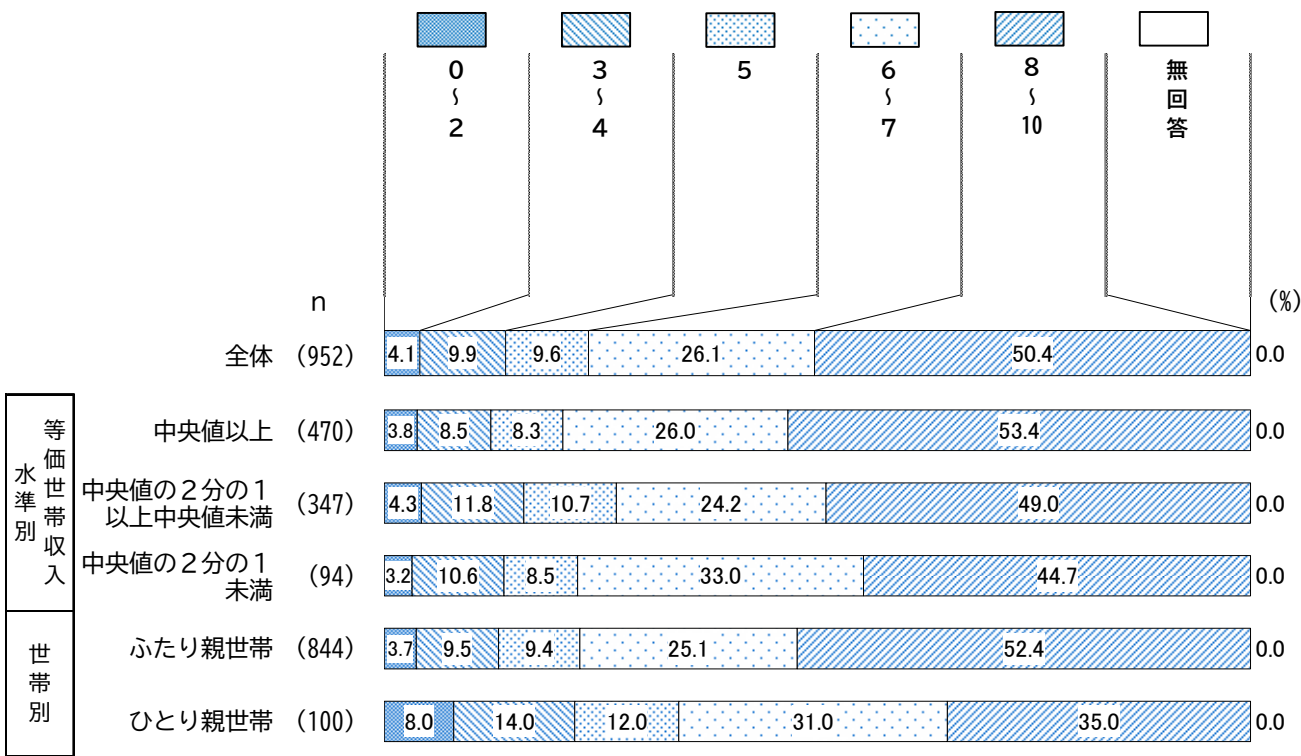
保護者の生活満足度は、「0～2」が6.6%、「3～4」が11.7%、「5」が18.7%、「6～7」が24.5%、「8～10」が38.1%となっており、満足度が高い方（6～10）の割合は全体では62.6%となっています。



【中学2年生調査】

中学2年生の生活満足度を等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では「8～10」の割合は44.7%と他の世帯と比べて低くなっています。

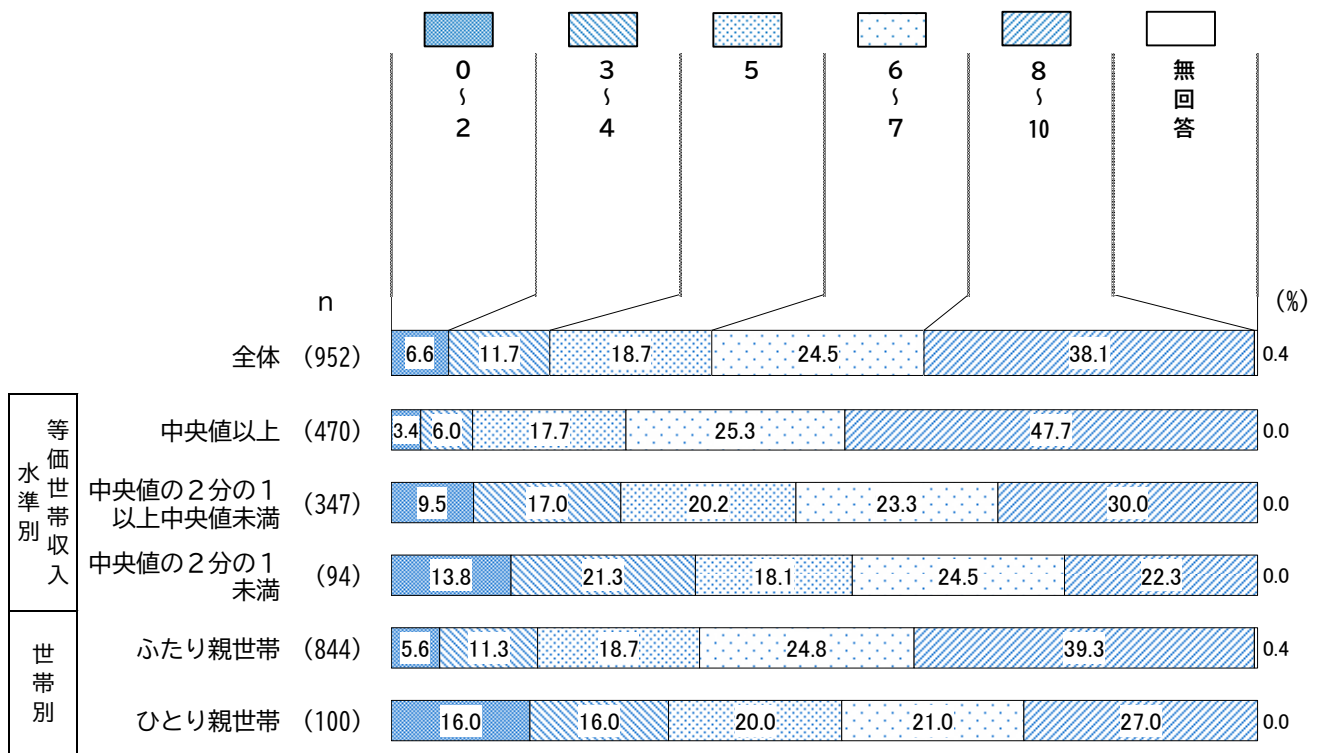
世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「6～10」に該当する割合は66.0%で、ふたり親世帯の77.5%に比べて生活満足度が低くなっています。



※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

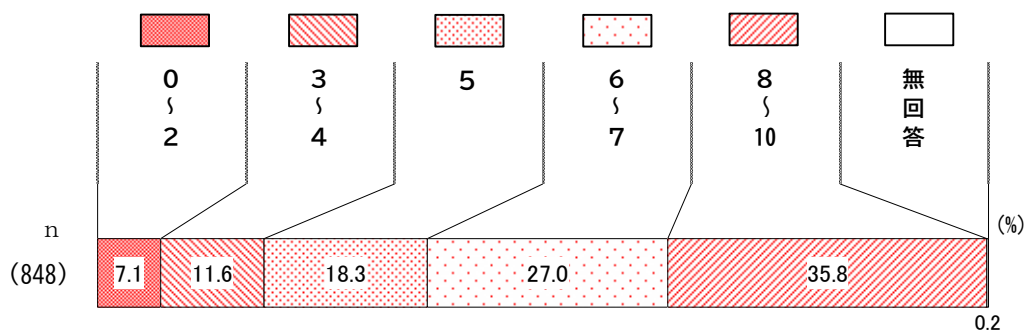
【中学2年生保護者】

中学2年生保護者の生活満足度について、満足度が高い方の回答割合（6～10）は全体では62.6%であったのに対し、等価世帯収入水準が中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で53.3%、中央値の2分の1未満の世帯で46.8%、世帯別ではひとり親世帯で48.0%となっており、収入の水準が低い世帯や、ひとり親世帯の生活満足度が低くなっています。



県調査※との比較

県調査の結果は、満足度が高い方の回答割合（6～10）は62.8%となっており、市調査（62.6%）とほぼ同率となっています。



※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

（7）子どもの心理的な状態【中学2年生調査】

Q：以下のそれぞれの質問について、「あてはまる」「まあ、あてはまる」「あてはまらない」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。（1～15それぞれについて、○は1つ）

「子どもの心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート（SDQ：Strengths and Difficulties Questionnaire）」の調査項目のうち、「情緒（不安や抑うつなど）」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を得点として把握するための質問項目を設定しました。

採点方法は、ひとつの質問項目ごとに、2点（あてはまる）、1点（まあ、あてはまる）、0点（あてはまらない）と点数化しています。

< 質問項目 >

- 1 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- 2 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- 3 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- 4 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- 5 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- 6 私は、誰かが心を痛めていたり落ち込んでいたり嫌な思いをしているときなどすすんで助ける。
- 7 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- 8 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- 9 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。
- 10 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- 11 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
- 12 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
- 13 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。
- 14 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。
- 15 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

■情緒の問題

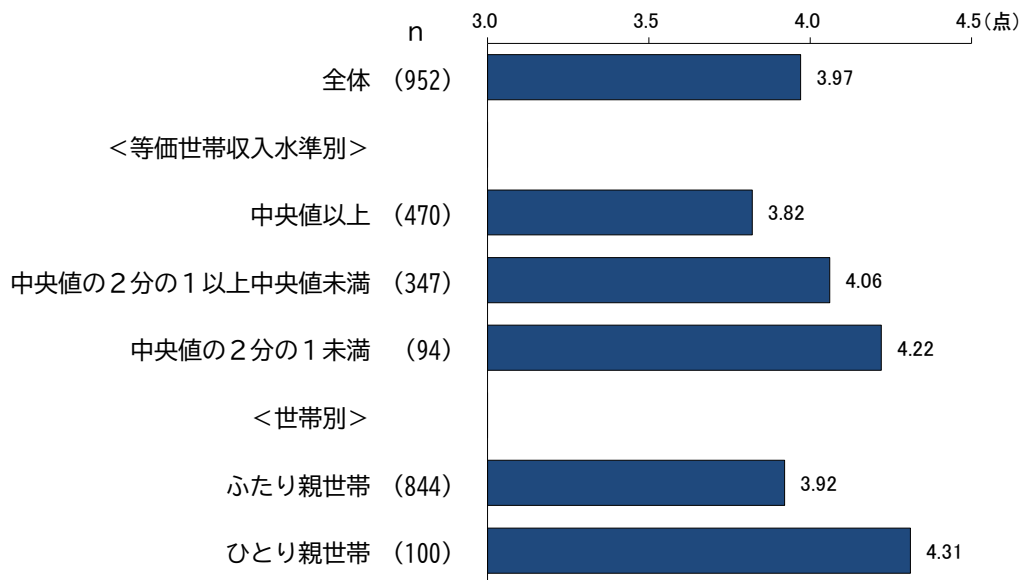
質問項目	2	私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
	5	私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
	8	私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。
	10	私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
	15	私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの質問項目（上記2、5、8、10、15）の点数を合計して、得点を算出しました（0～10点：得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。

全体の「情緒の問題」の平均値は3.97となっています。

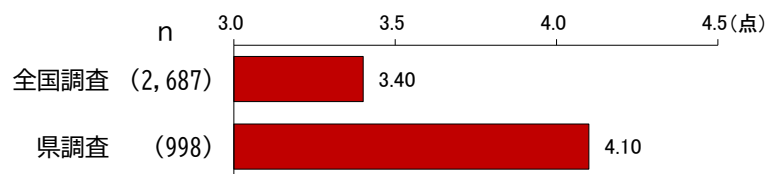
等価世帯収入水準別にみると、中央値以上の世帯では3.82、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では4.06、中央値の2分の1未満の世帯では4.22となっています。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯では3.92、ひとり親世帯では4.31となっています。



全国調査※・県調査※との比較

全国調査、県調査の結果をみると、全国調査の平均点は3.40、県調査の平均点は4.10となっており、市調査（3.97）は全国調査よりも高く、県調査よりは低くなっています。



※内閣府「令和3年 子供の生活状況調査」

※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

■仲間関係の問題

質問項目	4	私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
	7	私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
	9	私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。
	12	私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
	14	私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

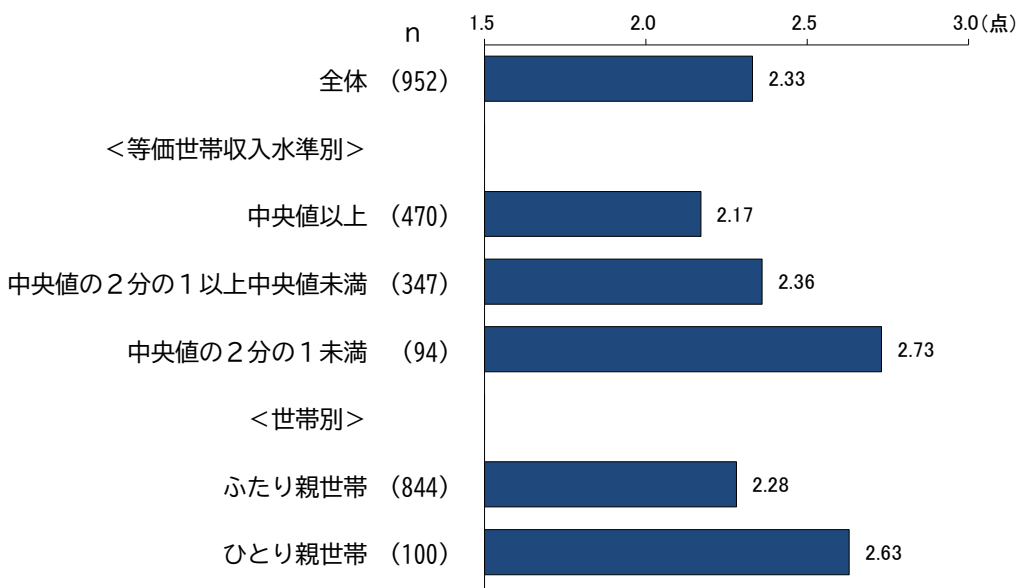
「仲間関係の問題」に関して、5つの質問項目（上記4、7、9、12、14）の点数を合計して、得点を算出しました（0～10点：得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。

※7、9の項目は逆転項目としてスコアを算出

全体の「仲間関係の問題」の平均値は2.33となっています。

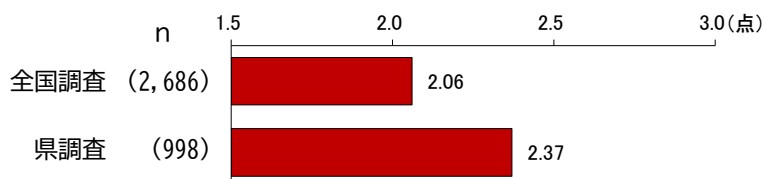
等価世帯収入水準別にみると、中央値以上の世帯では2.17、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では2.36、中央値の2分の1未満の世帯では2.73となっています。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯では2.28、ひとり親世帯では2.63となっています。



全国調査※・県調査※との比較

全国調査、県調査の結果をみると、全国調査の平均点は2.06、県調査の平均点は2.37となっており、市調査（2.33）は県調査とほぼ同率です。



※内閣府「令和3年 子供の生活状況調査」

※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

■向社会性

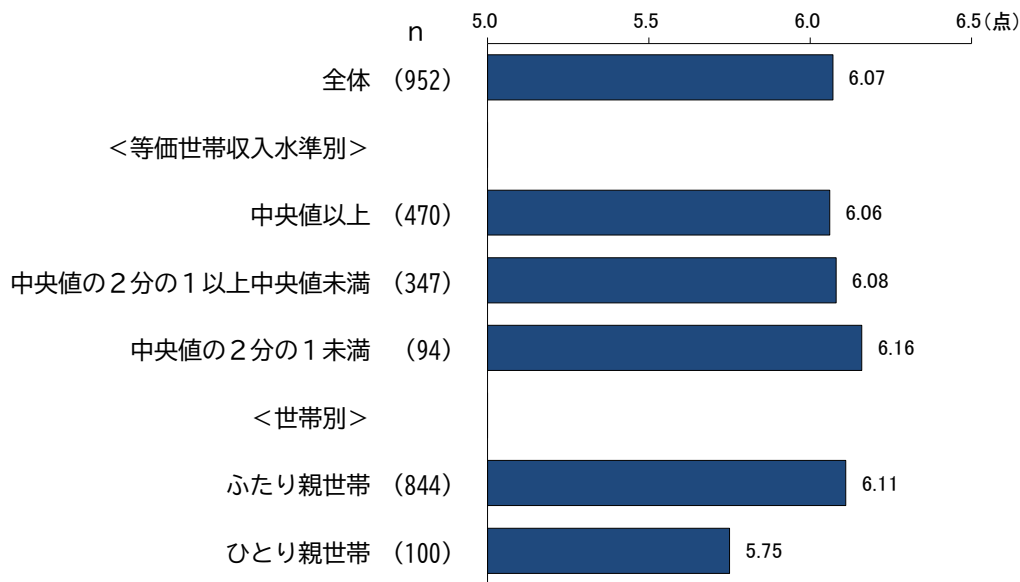
質問項目	1	私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
	3	私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
	6	私は、誰かが心を痛めていたり落ち込んでいたり嫌な思いをしているときなどすすんで助ける。
	11	私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
	13	私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

「向社会性」に関して、5つの質問項目（上記1、3、6、11、13）の点数を合計して、得点を算出しました（0～10点：得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。

全体の「向社会性」の平均値は6.07となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値以上の世帯では6.06、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では6.08、中央値の2分の1未満の世帯では6.16となっています。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯では6.11、ひとり親世帯では5.75となっています。



全国調査※・県調査※との比較

全国調査、県調査の結果をみると、全国調査の平均点は6.05、県調査の平均点は5.95となっており、市調査（6.07）は全国調査、県調査よりも高くなっています。



※内閣府「令和3年 子供の生活状況調査」

※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

（8）保護者の心理的な状態（K 6）【中学2年生保護者調査】

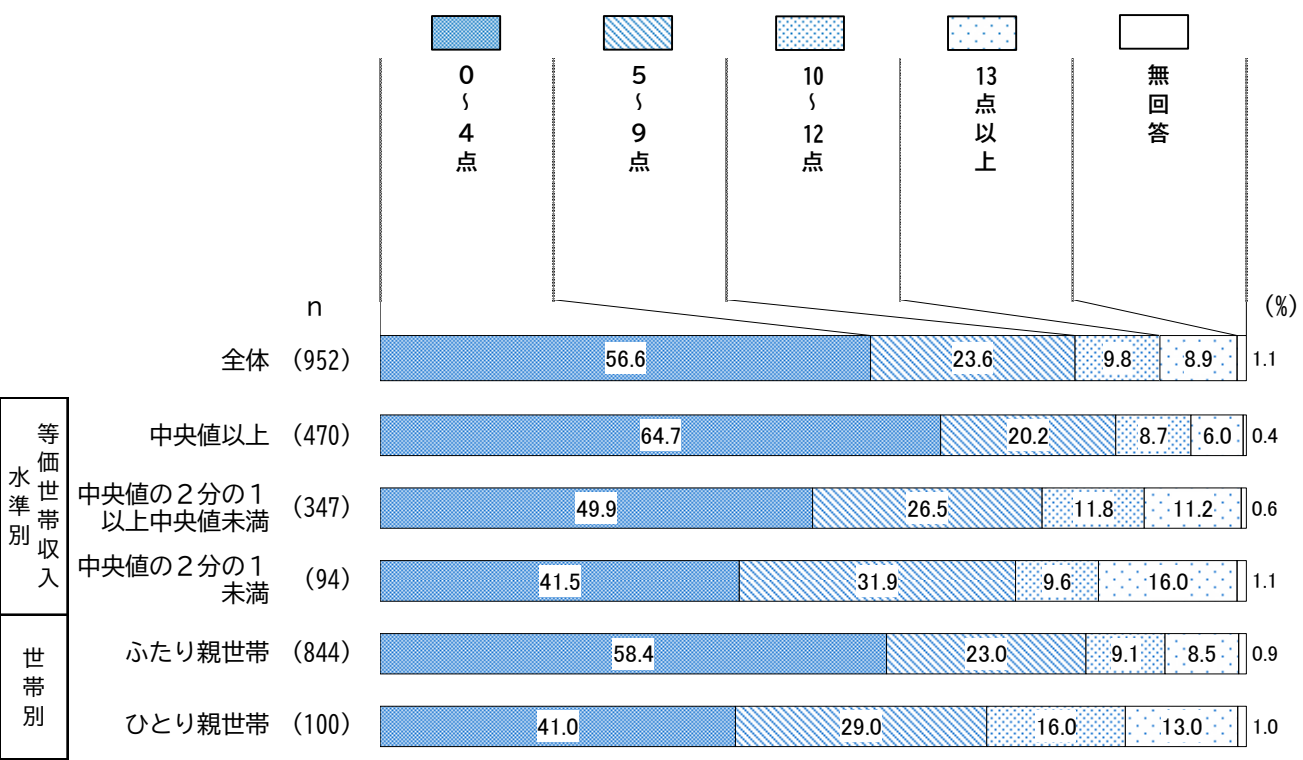
Q：この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。（1～6それぞれについて、○は1つ）

質問項目	1	神経過敏に感じた
	2	絶望的だと感じた
	3	そわそわ、落ち着かなく感じた
	4	気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
	5	何をするのも面倒だと感じた
	6	自分は価値のない人間だと感じた

「保護者の心理的な状態」に関して、調査では「K 6」と呼ばれる指標を把握するための6つの質問項目を設定し、この6つの項目の結果を合計して、K 6の得点を算出しました。

※K 6はうつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されています。採点方法は、ひとつの質問項目ごとに0点（まったくない）、1点（少しだけ）、2点（ときどき）、3点（たいてい）、4点（いつも）と点数化し、合計を0点から24点で算出しました。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示しています。

保護者の心理的な状態について、「うつ・不安障害相当」にあると考えられる割合（13点以上）は、全体では8.9%であったのに対し、等価世帯収入水準が中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で11.2%、中央値の2分の1未満の世帯で16.0%、世帯別ではひとり親世帯で13.0%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯は、うつ・不安障害が疑われる状態にある者の割合が高くなっています。



（9）逆境体験【中学2年生調査】

Q：あなたは今までに、以下のa～hのようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。（○は1つ）

※選択肢

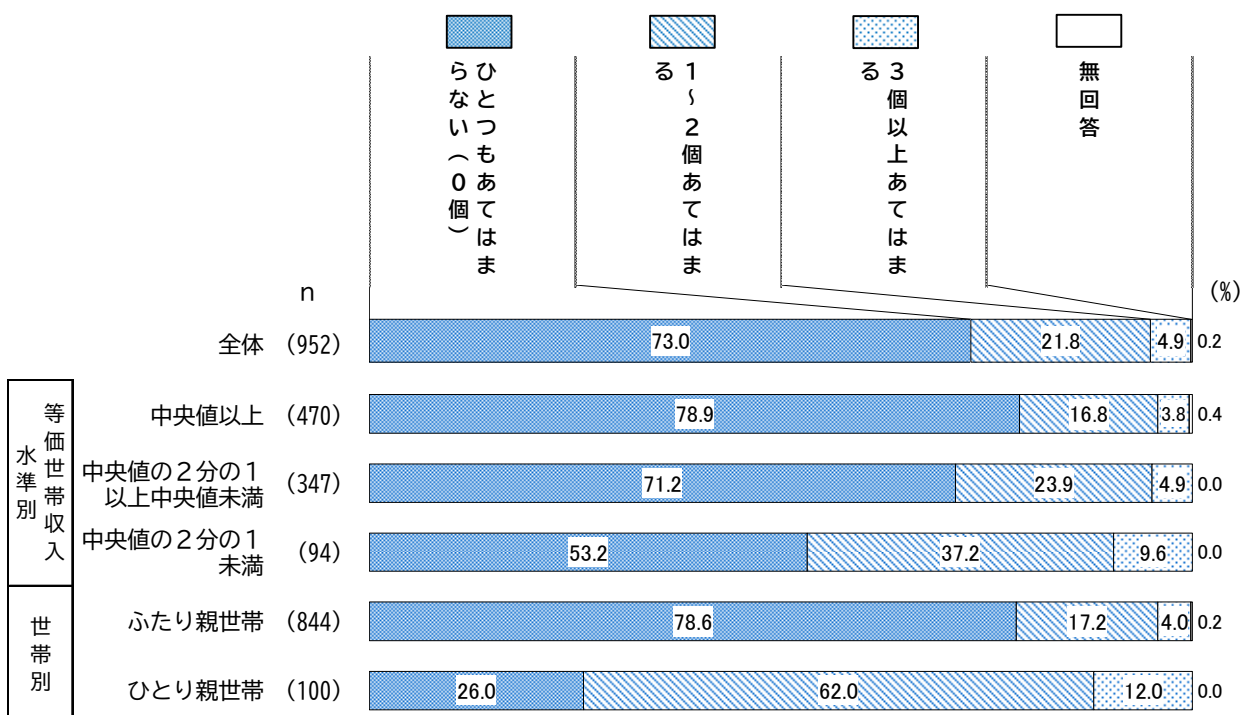
- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらっていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人にお酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人におうつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

■項目該当数

「逆境体験」について、8つの項目を基に状況把握を行いました。8つの項目のうち、「ひとつもあてはまらない（0個）」は73.0%、「1～2個あてはまる」は21.8%、「3個以上あてはまる」は4.9%となっています。

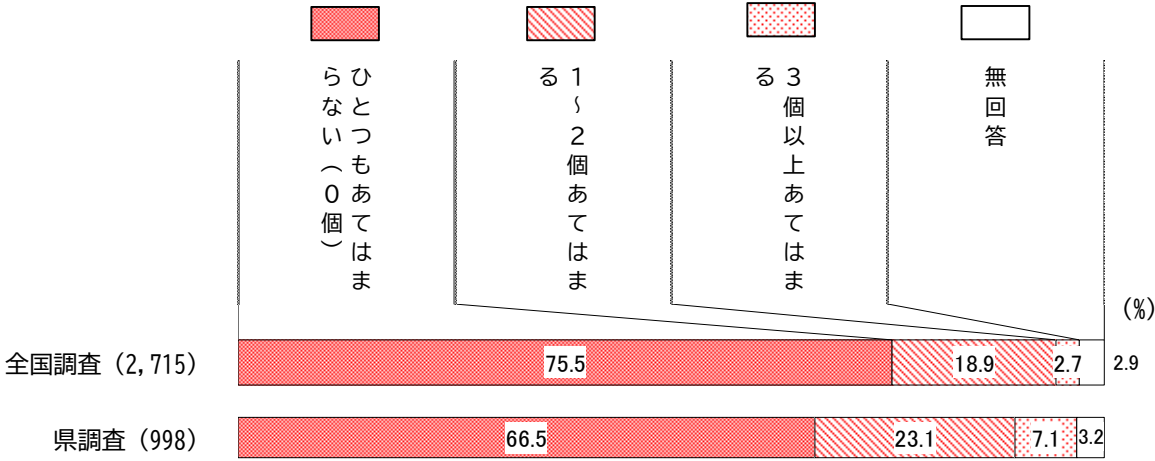
等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「ひとつもあてはまらない（0個）」が53.2%で他の世帯と比べて低く、1個以上あてはまる割合が高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「ひとつもあてはまらない（0個）」が26.0%でふたり親世帯と比べて低く、1個以上あてはまる割合が高くなっています。



全国調査※・県調査※との比較

全国調査、県調査の結果を見ると、「ひとつもあてはまらない（0個）」は全国調査が75.5%となっており、市調査（73.0%）と同様の傾向がみられます。県調査は66.5%と市調査のほうが6.5ポイント高くなっています。



※内閣府「令和3年 子供の生活状況調査」

※令和5年度群馬県子どもの生活実態調査

9 支援などについて

（1）支援等の利用状況【中学2年生調査】

Q：あなたは、次の場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。（○は1つ）

「3 今後も利用したいと思わない」又は「4 今後利用したいかどうか分からない」場合、その理由は何ですか。（○はいくつでも）

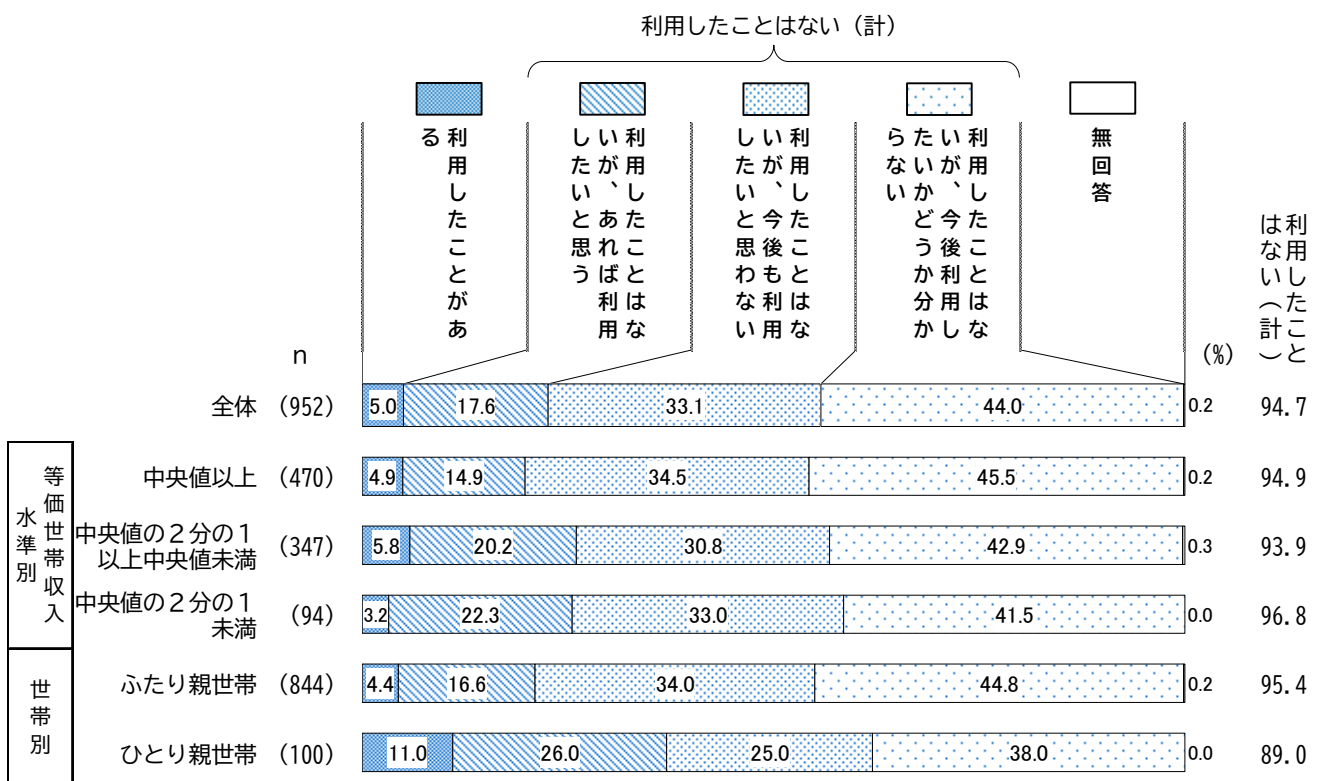
ア）（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（こども食堂など）

■利用状況

「利用したことがある」が5.0%、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」が17.6%、「利用したことはないが、今後も利用したいと思わない」が33.1%、「利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない」が44.0%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」と回答した割合は、中央値以上の世帯では14.9%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では20.2%、中央値の2分の1未満の世帯では22.3%となっています。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」はひとり親世帯では11.0%、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」と回答した割合は、ふたり親世帯では16.6%、ひとり親世帯では26.0%となっています。



■こども食堂などを利用したいと思わない理由

「利用する必要があるから」が79.2%、次いで「やっている場所を知らない、わからないから」が44.3%、「知らない人と関わりたくないから」が11.4%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「知らない人と関わりたくないから」が17.1%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が14.3%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「やっている場所を知らない、わからないから」が52.4%、「知らない人と関わりたくないから」が17.5%とふたり親世帯と比べて高くなっています。

単位：%		調査数（n）	利用する必要があるから	やっている場所を知らない、わからないから	知らない人と関わりたくないから	利用したいが、手続きがわからないから	生活に困っていると思われるから	親の許可が得られないから	それ以外の理由	無回答
全体		734	79.2	44.3	11.4	9.7	8.2	2.2	2.3	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	376	80.9	43.6	10.9	8.8	7.7	2.4	1.6	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	256	76.6	46.5	10.2	9.4	9.0	1.6	3.1	0.0
	中央値の2分の1未満	70	78.6	47.1	17.1	14.3	10.0	4.3	1.4	0.0
世帯別	ふたり親世帯	665	80.5	43.5	10.7	9.5	8.0	2.3	2.0	0.0
	ひとり親世帯	63	65.1	52.4	17.5	11.1	9.5	1.6	6.3	0.0

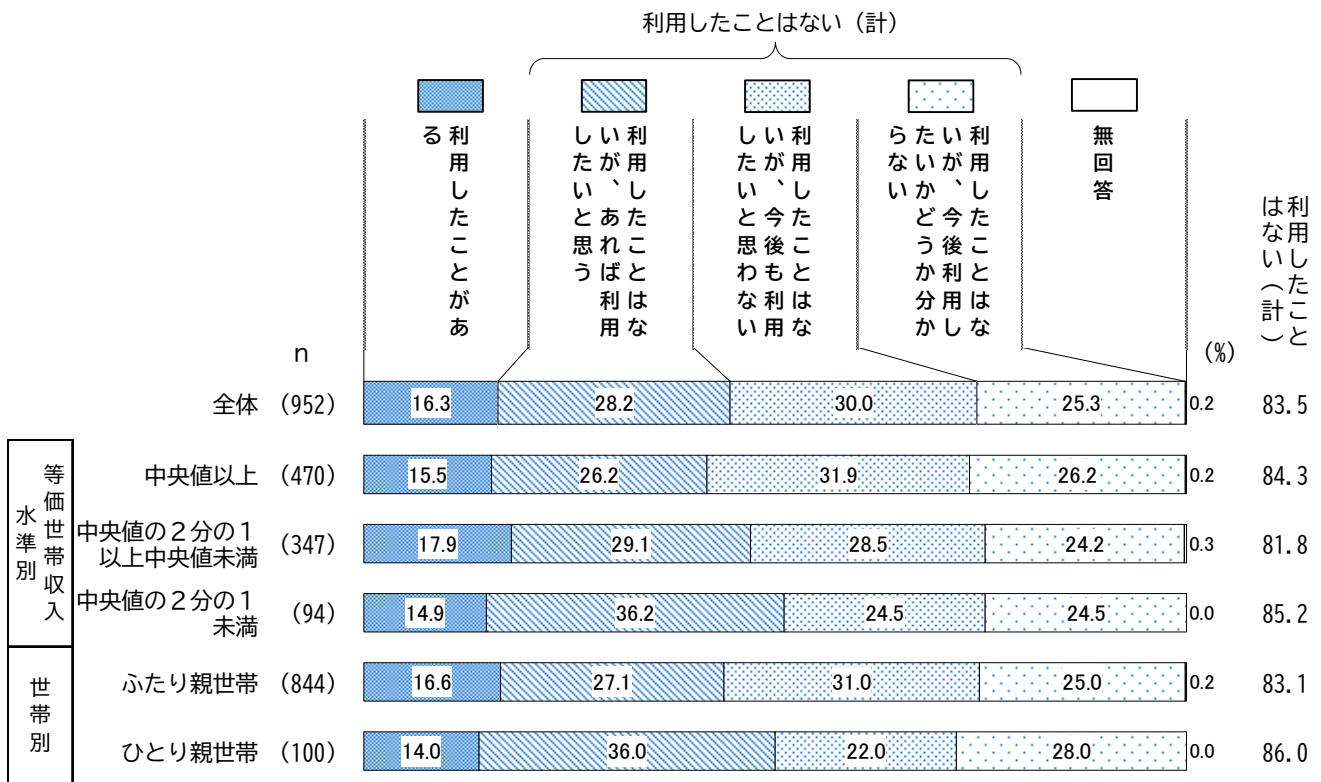
イ）勉強を無料でみてる場所

■利用状況

「利用したことがある」が16.3%、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」が28.2%、「利用したことはないが、今後も利用したいと思わない」が30.0%、「利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない」が25.3%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」と回答した割合は、中央値以上の世帯では26.2%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では29.1%、中央値の2分の1未満の世帯では36.2%となっています。

世帯の状況別にみると、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」と回答した割合は、ふたり親世帯では27.1%、ひとり親世帯では36.0%となっています。



■勉強を無料で見てくれる場所を利用したいと思わない理由

「利用する必要がないから」が62.8%、次いで「やっている場所を知らない、わからないから」が36.1%、「知らない人と関わりたくないから」が19.7%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値以上の世帯では、「利用する必要がないから」が65.2%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「知らない人と関わりたくないから」が30.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が16.0%と、ふたり親世帯と比べて高くなっています。

単位：%		調査数（n）	利用する必要がないから	やっている場所を知らない、わからないから	知らない人と関わりたくないから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	生活に困っていると思われるから	親の許可が得られないから	それ以外の理由	無回答
全体		527	62.8	36.1	19.7	10.2	2.1	1.9	6.3	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	273	65.2	38.5	16.5	11.0	2.2	0.4	4.4	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	183	59.6	33.9	25.7	10.4	2.2	4.4	7.7	0.0
	中央値の2分の1未満	46	63.0	34.8	17.4	4.3	2.2	2.2	8.7	0.0
世帯別	ふたり親世帯	473	65.1	36.6	18.6	9.7	2.1	1.5	5.3	0.0
	ひとり親世帯	50	40.0	34.0	30.0	16.0	2.0	6.0	16.0	0.0

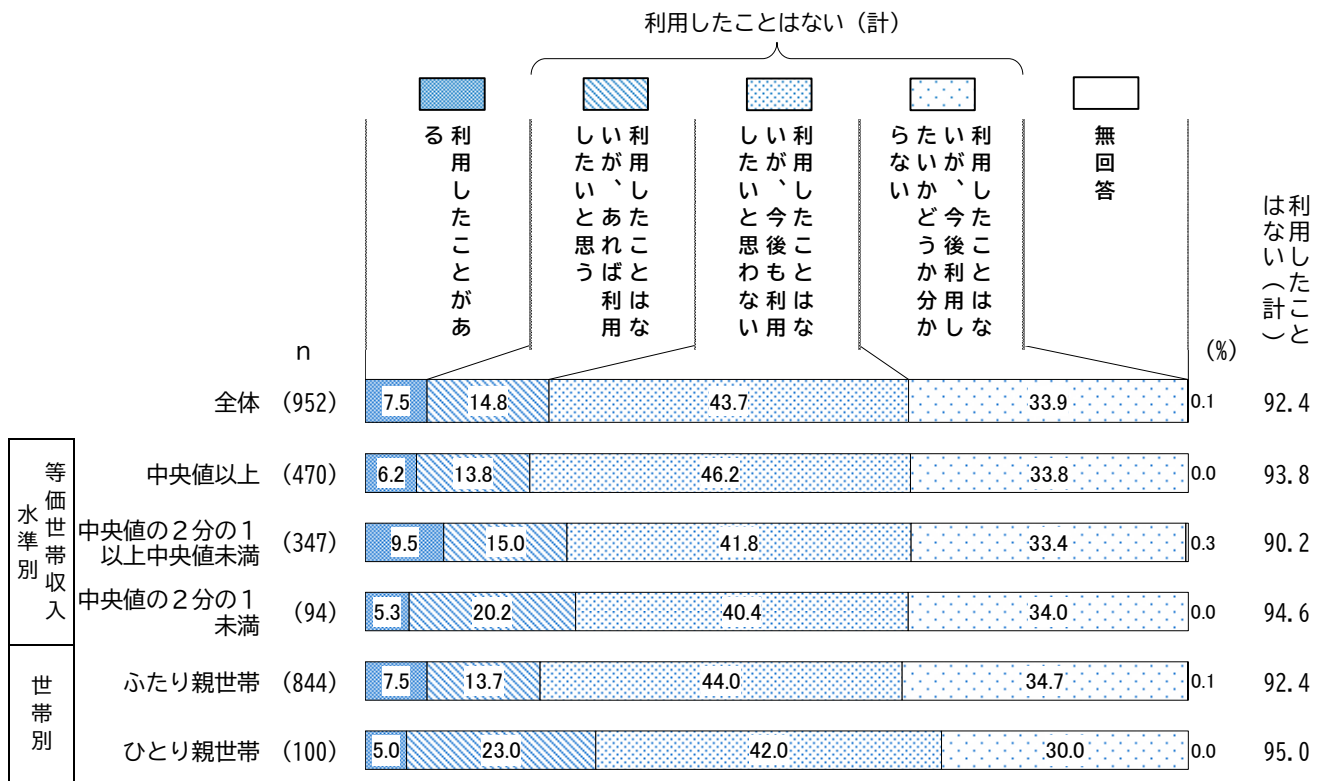
ウ）（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）

■利用状況

「利用したことがある」が7.5%、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」が14.8%、「利用したことはないが、今後も利用したいと思わない」が43.7%、「利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない」が33.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」と回答した割合は、中央値以上の世帯では13.8%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では15.0%、中央値の2分の1未満の世帯では20.2%となっています。

世帯の状況別にみると、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」と回答した割合は、ふたり親世帯では13.7%、ひとり親世帯では23.0%となっています。



■何でも相談できる場所を利用したいと思わない理由

「利用する必要がないから」が71.9%、次いで「知らない人と関わりたくないから」が23.8%、「やっている場所を知らない、わからないから」が21.5%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「知らない人と関わりたくないから」が28.6%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「知らない人と関わりたくないから」が29.2%とふたり親世帯と比べて高くなっています。

単位：％		調査数（n）	利用する必要がないから	知らない人と関わりたくないから	やっている場所を知らない、わからないから	利用したいが、手続きがわからないから	生活に困っていると思われるから	親の許可が得られないから	それ以外の理由	無回答
全体		739	71.9	23.8	21.5	10.8	5.1	1.4	6.0	0.0
等価世帯収入水準別	中央値以上	376	73.7	23.7	25.0	10.4	3.7	0.8	5.1	0.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	261	69.7	22.6	17.6	11.9	7.3	2.3	7.3	0.0
	中央値の2分の1未満	70	74.3	28.6	21.4	10.0	2.9	1.4	4.3	0.0
世帯別	ふたり親世帯	664	73.2	23.0	21.5	10.7	5.3	1.4	5.3	0.0
	ひとり親世帯	72	59.7	29.2	22.2	12.5	4.2	1.4	12.5	0.0

（2）支援等の利用による変化【中学2年生調査】

※支援等の利用状況で1つでも「1.利用したことがある」※を選んだ方のみ回答

Q：そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（○はいくつでも）

支援等を利用したことがある場合の利用による変化について、「特に変化はない」以外の回答では、「勉強する時間が増えた」が18.8%、「友だちが増えた」が13.5%、「勉強がわかるようになった」が11.4%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「勉強する時間が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」などの割合が他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯では、「気軽に話せる大人が増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「勉強がわかるようになった」などの割合が、ひとり親世帯と比べて高くなっています。

		調査数（n）	勉強する時間が増えた	友だちが増えた	勉強がわかるようになった	気軽に話せる大人が増えた	ほっとできる時間が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	その他	特に変化はない	無回答
単位：%												
全体		229	18.8	13.5	11.4	8.7	8.7	7.0	0.0	7.0	34.9	26.6
等価世帯収入水準別	中央値以上	103	16.5	11.7	7.8	8.7	9.7	6.8	0.0	4.9	36.9	27.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	98	19.4	16.3	15.3	9.2	9.2	7.1	0.0	9.2	32.7	27.6
	中央値の2分の1未満	18	27.8	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	5.6	33.3	22.2
世帯別	ふたり親世帯	199	19.1	14.1	12.1	9.5	9.5	7.0	0.0	7.0	35.7	25.6
	ひとり親世帯	26	19.2	11.5	7.7	3.8	3.8	7.7	0.0	7.7	19.2	38.5

※母数が30未満の項目は参考値とする。

（3）支援等の利用状況【中学2年生保護者調査】

Q：あなたのご家族は以下の支援を利用したことがありますか。（○は1つ）
また、利用したことはない場合、その理由は何ですか。（○はいくつでも）

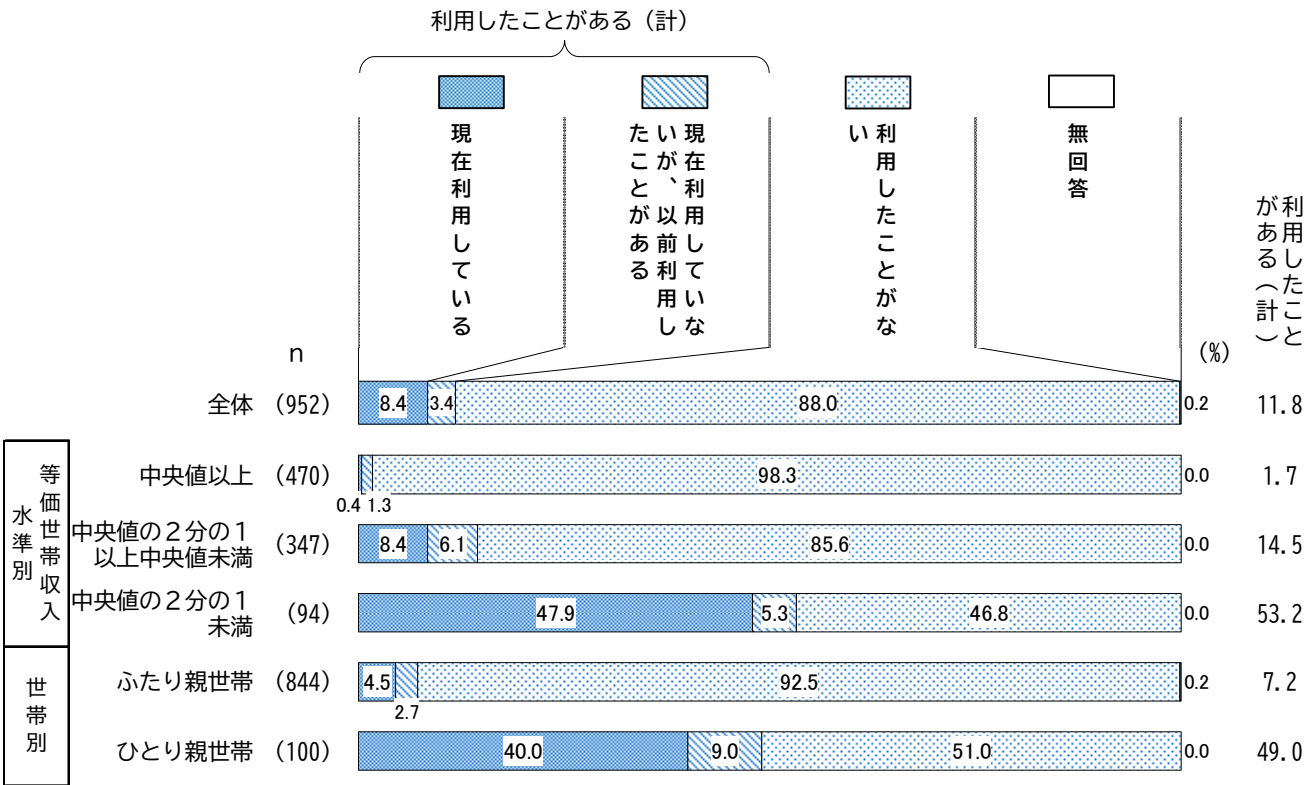
ア）就学援助制度

■利用状況

「現在利用している」が8.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.4%、「利用したことがない」が88.0%となっています。「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた《利用したことがある 計》は11.8%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《利用したことがある 計》は、中央値以上の世帯では1.7%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では14.5%、中央値の2分の1未満の世帯では53.2%となっています。

世帯の状況別にみると、《利用したことがある 計》は、ふたり親世帯では7.2%、ひとり親世帯では49.0%となっています。



■就学援助制度を利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）」が87.5%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が9.1%、「知らない人と関わりたくないから」が6.8%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」、「それ以外の理由」が7.8%と、ふたり親世帯と比べて高くなっています。

		調査数（n）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない） （だと思うから）	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	生活に困っていると思われるから	知らない人と関わりたくないから	利用したいが、場所が遠く利用できないから	それ以外の理由	無回答
単位：％											
全体		838	87.5	3.1	2.1	1.6	1.4	0.6	0.1	4.3	3.5
等価世帯収入水準別	中央値以上	462	92.0	1.9	0.4	0.9	0.2	0.2	0.0	3.0	3.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	297	86.9	3.7	4.0	2.4	2.7	0.3	0.0	4.0	3.0
	中央値の2分の1未満	44	61.4	9.1	6.8	4.5	4.5	6.8	2.3	13.6	0.0
世帯別	ふたり親世帯	781	88.0	2.8	1.8	1.4	1.5	0.5	0.1	4.1	3.5
	ひとり親世帯	51	78.4	7.8	7.8	3.9	0.0	2.0	0.0	7.8	3.9

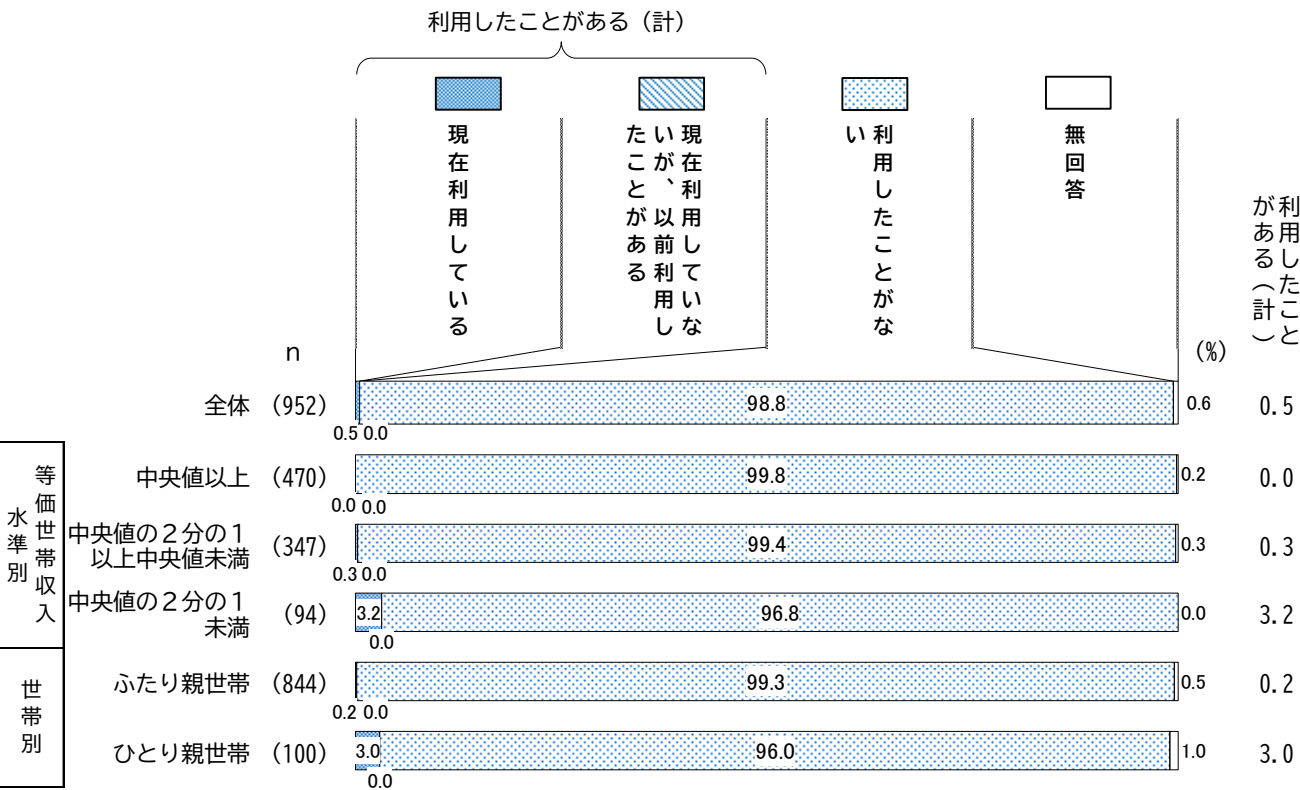
イ）生活保護制度

■利用状況

「利用したことがない」が98.8%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《利用したことがある 計》は、中央値の2分の1未満の世帯で3.2%と他の世帯と比べて割合が高くなっています。

世帯の状況別にみると、《利用したことがある 計》は、ひとり親世帯では3.0%とふたり親世帯と比べて割合が高くなっています。



生活保護制度を利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）」が89.6%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「生活に困っていると思われたくないから」が8.8%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「生活に困っていると思われたくないから」が6.3%とふたり親世帯と比べて高くなっています。

単位：%		調査数（n）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない） （だと思うから）	利用はできるが、特に利用したいと思わ なかつたから	生活に困っていると思われたくないから	利用したいが、手続がわからなかつた り、利用しにくいから	利用したいが、今までこの支援制度を知 らなかつたから	知らない人と関わりたくないから	利用したいが、場所が遠く利用できない から	それ以外の理由	無回答
全体		941	89.6	1.9	1.7	1.1	0.6	0.5	0.0	3.9	3.3
等価世帯収入 水準別	中央値以上	469	94.5	0.9	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0	1.7	3.2
	中央値の2分の1 以上中央値未満	345	88.4	2.9	1.4	1.7	0.9	0.3	0.0	4.9	2.3
	中央値の2分の1 未満	91	78.0	2.2	8.8	4.4	2.2	4.4	0.0	7.7	4.4
世帯別	ふたり親世帯	838	90.2	2.0	1.2	0.8	0.7	0.5	0.0	3.6	3.2
	ひとり親世帯	96	83.3	1.0	6.3	3.1	0.0	1.0	0.0	7.3	4.2

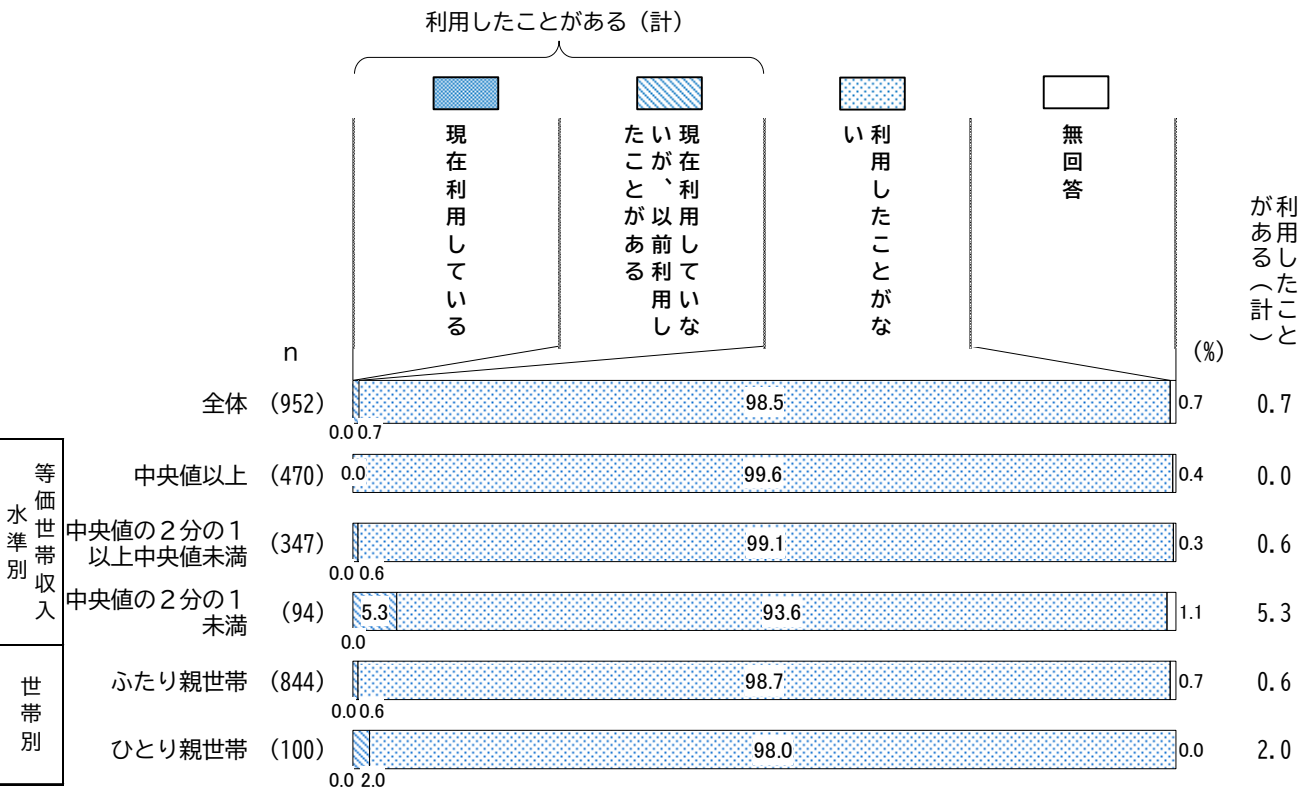
ウ）生活困窮者の自立支援相談窓口制度

■利用状況

「利用したことがない」が98.5%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《利用したことがある 計》は、中央値の2分の1未満の世帯で5.3%と他の世帯と比べて割合が高くなっています。

世帯の状況別にみると、《利用したことがある 計》は、ひとり親世帯では2.0%とふたり親世帯と比べて割合が高くなっています。



生活困窮者の自立支援相談窓口制度を利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）」が85.9%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「それ以外の理由」が17.0%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「それ以外の理由」が11.2%とふたり親世帯と比べて高くなっています。

単位：％		調査数（n）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない） （だと思うから）	利用はできるが、特に利用したいと思わ なかつたから	利用したいが、今までこの支援制度を知 らなかつたから	生活に困っていると思われるから	利用したいが、手続きがわからなかつた り、利用しにくいから	知らない人と関わりたくないから	利用したいが、場所が遠く利用できない から	それ以外の理由	無回答
全体		938	85.9	2.8	1.9	1.1	1.0	0.7	0.1	5.9	3.5
等価世帯収入 水準別	中央値以上	468	93.2	1.9	0.9	0.2	0.4	0.0	0.0	2.1	3.4
	中央値の2分の1 以上中央値未満	344	84.9	2.3	2.0	0.6	1.5	0.3	0.0	6.7	3.2
	中央値の2分の1 未満	88	60.2	6.8	8.0	8.0	2.3	6.8	1.1	17.0	3.4
世帯別	ふたり親世帯	833	87.4	2.5	1.8	0.7	1.0	0.5	0.1	5.3	3.4
	ひとり親世帯	98	72.4	5.1	3.1	4.1	1.0	3.1	0.0	11.2	5.1

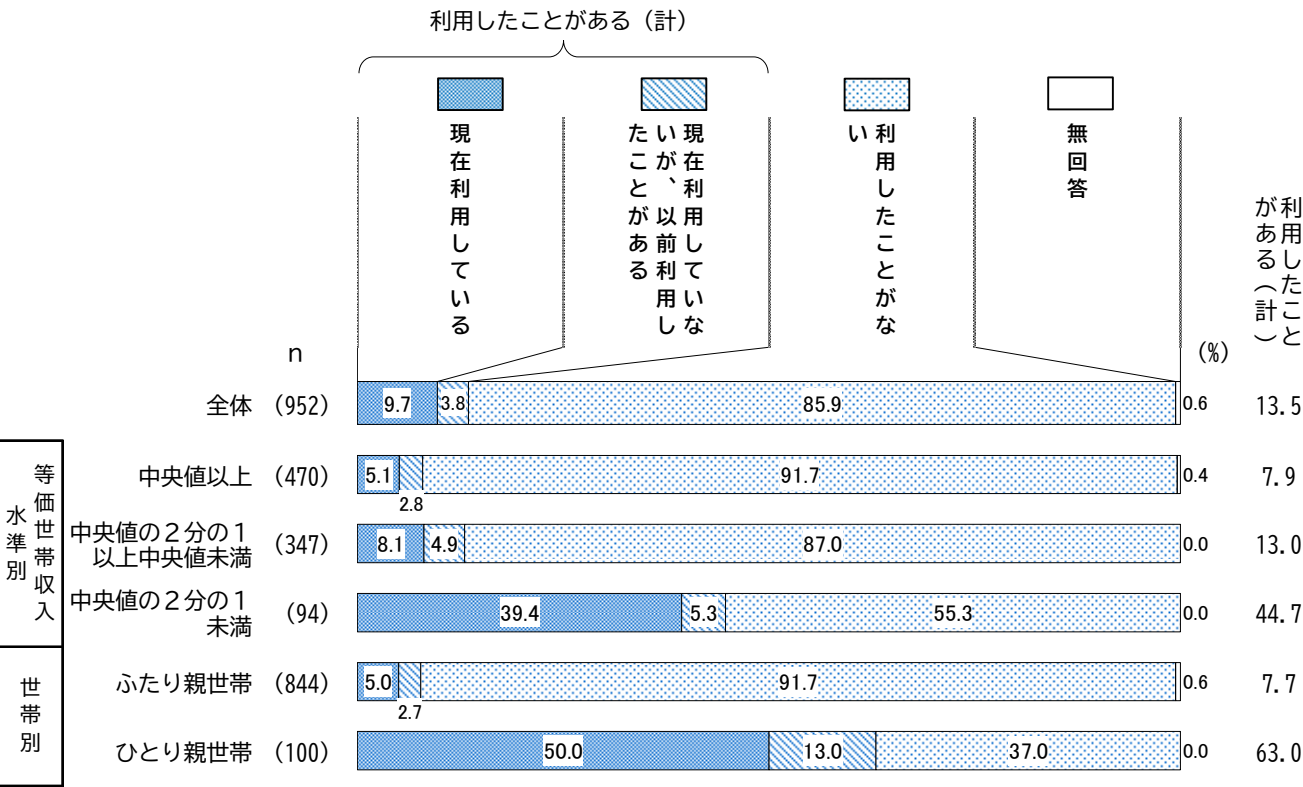
エ）児童扶養手当制度

■利用状況

「現在利用している」が9.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.8%、「利用したことがない」が85.9%となっています。《利用したことがある 計》は13.5%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《利用したことがある 計》は、中央値以上の世帯では7.9%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では13.0%、中央値の2分の1未満の世帯では44.7%となっています。

世帯の状況別にみると、《利用したことがある 計》は、ふたり親世帯では7.7%、ひとり親世帯では63.0%となっています。



■児童扶養手当制度を利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）」が91.3%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「それ以外の理由」が13.5%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「それ以外の理由」が5.4%とふたり親世帯と比べてやや高くなっています。

単位：%		調査数（n）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない） （だと思うから）	利用はできるが、特に利用したいと思わ なかつたから	利用したいが、今までこの支援制度を知 らなかつたから	生活に困っていると思われるから	利用したいが、手続きがわからなかつた り、利用しにくいから	知らない人と関わりたくないから	利用したいが、場所が遠く利用できない から	それ以外の理由	無回答
全体		818	91.3	0.9	0.6	0.4	0.2	0.2	0.0	3.5	3.4
等価世帯収入 水準別	中央値以上	431	95.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.2
	中央値の2分の1 以上中央値未満	302	90.1	1.3	1.0	0.7	0.7	0.0	0.0	3.6	3.3
	中央値の2分の1 未満	52	78.8	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	0.0	13.5	1.9
世帯別	ふたり親世帯	774	91.2	0.9	0.6	0.4	0.3	0.3	0.0	3.5	3.5
	ひとり親世帯	37	91.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	2.7

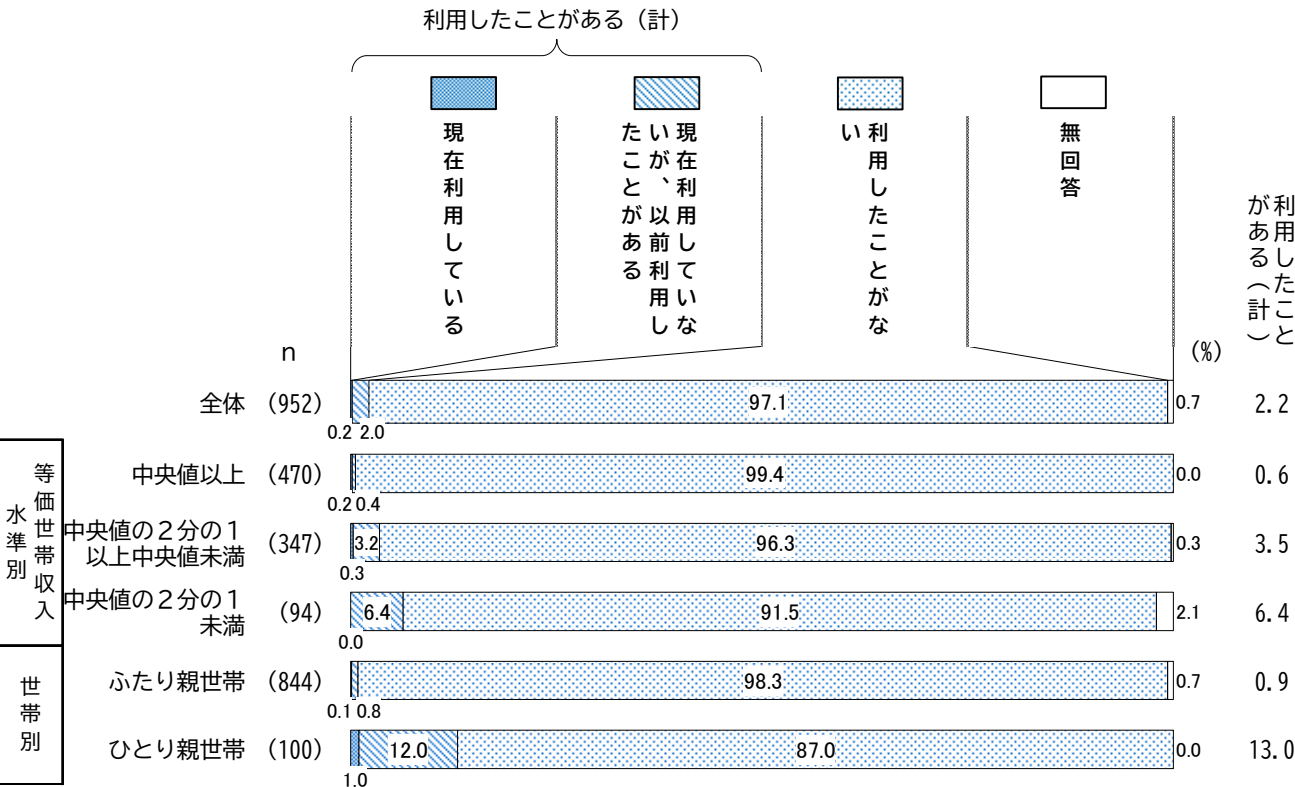
オ）母子家庭等就業・自立支援センター制度

■利用状況

「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.0%、「利用したことがない」が97.1%となっています。「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた《利用したことがある 計》は2.2%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《利用したことがある 計》は、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯で3.5%、中央値の2分の1未満の世帯で6.4%と中央値以上の世帯と比べて割合が高くなっています。

世帯の状況別にみると、《利用したことがある 計》は、ひとり親世帯では13.0%とふたり親世帯と比べて割合が高くなっています。



母子家庭等就業・自立支援センター制度を利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）」が87.6%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が11.6%、「それ以外の理由」が14.0%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が14.9%、「それ以外の理由」が16.1%とふたり親世帯と比べてやや高くなっています。

単位：％		調査数（n）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかった	知らない人と関わりたくないから	生活に困っていると思われたくないから	利用したいが、場所が遠く利用できないから	それ以外の理由	無回答
全体		924	87.6	2.7	0.9	0.6	0.4	0.2	0.1	5.5	3.1
等価世帯収入水準別	中央値以上	467	92.7	1.7	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	2.6	3.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	334	87.7	1.5	1.5	1.2	0.0	0.0	0.3	6.3	3.0
	中央値の2分の1未満	86	66.3	11.6	1.2	0.0	4.7	2.3	0.0	14.0	2.3
世帯別	ふたり親世帯	830	90.4	1.4	0.6	0.2	0.0	0.0	0.1	4.5	3.1
	ひとり親世帯	87	59.8	14.9	3.4	4.6	4.6	2.3	0.0	16.1	3.4

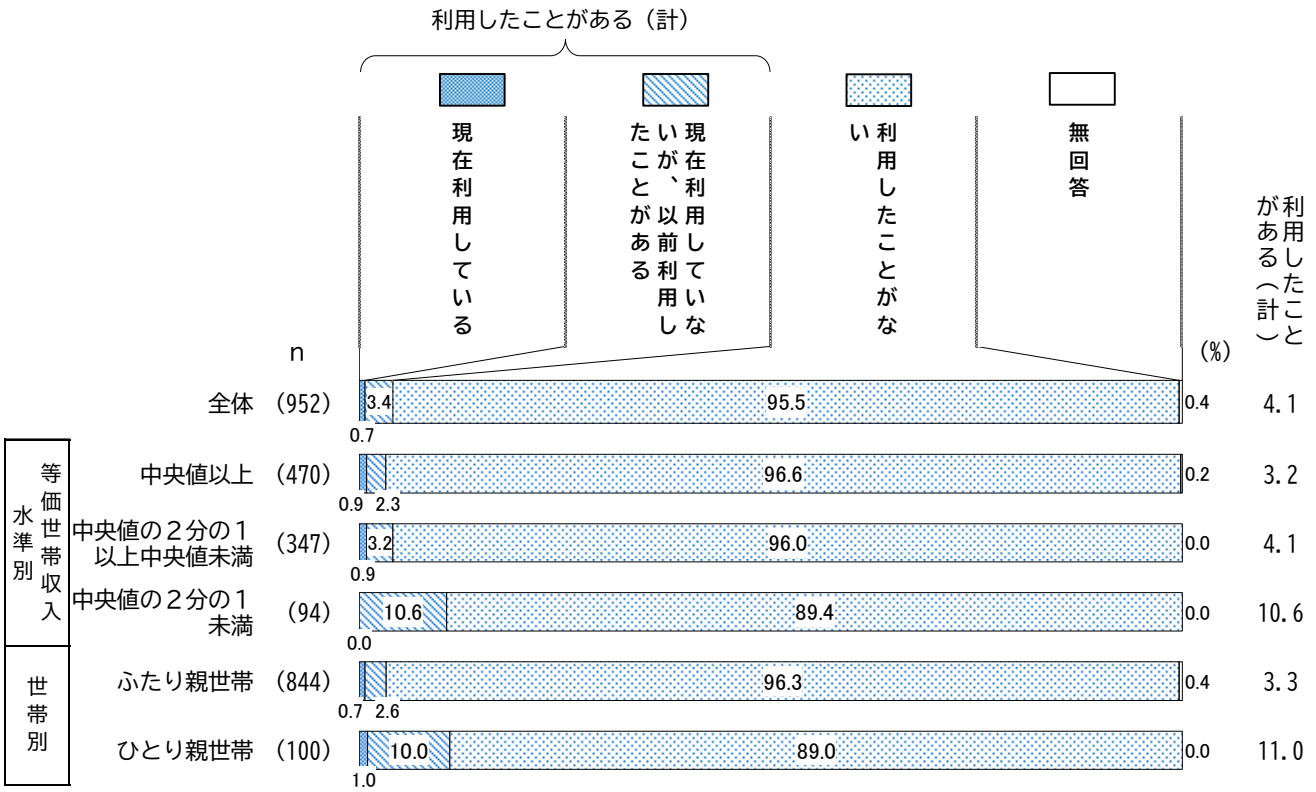
カ) 子ども食堂制度

■利用状況

「現在利用している」が0.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.4%、「利用したことがない」が95.5%となっています。《利用したことがある 計》は4.1%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《利用したことがある 計》は、中央値以上の世帯では3.2%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では4.1%、中央値の2分の1未満の世帯では10.6%となっています。

世帯の状況別にみると、《利用したことがある 計》は、ふたり親世帯では3.3%、ひとり親世帯では11.0%となっています。



■子ども食堂制度を利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）」が60.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が17.2%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が10.7%、「それ以外の理由」が20.2%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が11.2%、「それ以外の理由」が16.9%とふたり親世帯と比べてやや高くなっています。

単位：%		調査数（n）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、場所が遠く利用できないから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	生活に困っていると思われるから	知らない人に関わりたくないから	それ以外の理由	無回答
全体		909	60.2	17.2	4.5	4.2	2.3	1.7	1.3	12.2	3.3
等価世帯収入水準別	中央値以上	454	66.7	17.8	2.6	2.4	0.7	0.7	1.1	9.3	3.5
	中央値の2分の1以上中央値未満	333	59.8	16.5	5.7	6.3	2.7	1.8	0.9	12.9	2.7
	中央値の2分の1未満	84	36.9	15.5	8.3	7.1	10.7	7.1	3.6	20.2	1.2
世帯別	ふたり親世帯	813	62.4	17.5	3.9	3.4	1.6	1.5	1.0	11.6	3.3
	ひとり親世帯	89	40.4	15.7	9.0	11.2	9.0	3.4	4.5	16.9	3.4

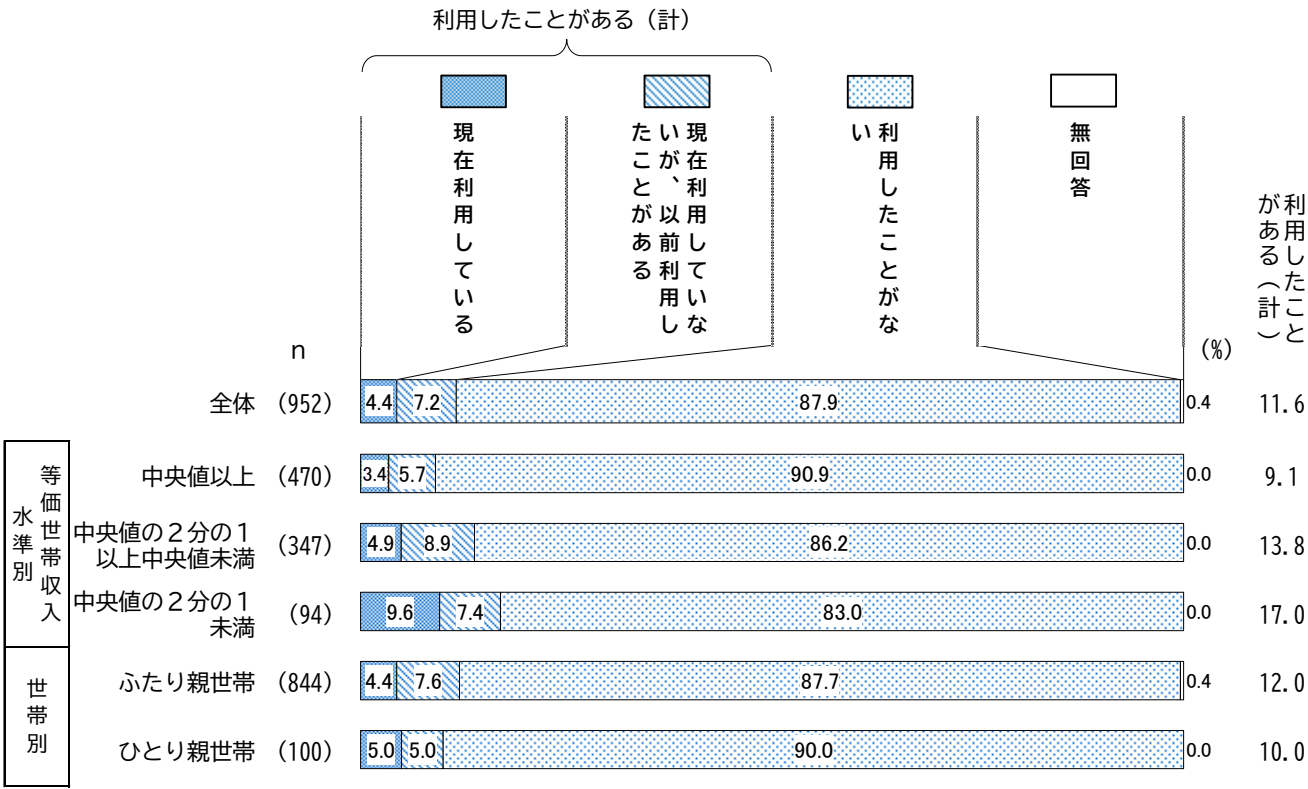
キ）子どもに勉強を無料で教えてくれる場所制度

■利用状況

「現在利用している」が4.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.2%、「利用したことがない」が87.9%となっています。《利用したことがある 計》は11.6%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《利用したことがある 計》は、中央値以上の世帯では9.1%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では13.8%、中央値の2分の1未満の世帯では17.0%となっています。

世帯の状況別にみると、《利用したことがある 計》は、ふたり親世帯では12.0%、ひとり親世帯では10.0%となっています。



■子どもに勉強を無料で教えてくれる場所制度を利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）」が41.0%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が19.5%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が26.9%、「それ以外の理由」が21.8%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が20.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が16.7%とふたり親世帯と比べてやや高くなっています。

単位：%		調査数（n）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	利用したいが、場所が遠く利用できないから	知らない人と関わりたくないから	生活に困っていると思われるくないから	それ以外の理由	無回答
全体		837	41.0	19.5	13.4	7.8	4.5	1.2	0.2	16.8	2.7
等価世帯収入水準別	中央値以上	427	48.0	20.6	9.4	6.3	3.0	0.2	0.0	15.2	2.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	299	36.5	20.1	15.4	9.0	6.7	1.3	0.0	16.7	2.7
	中央値の2分の1未満	78	25.6	12.8	26.9	11.5	2.6	6.4	2.6	21.8	0.0
世帯別	ふたり親世帯	740	42.8	20.4	12.4	6.8	4.5	0.9	0.1	16.2	3.0
	ひとり親世帯	90	25.6	13.3	20.0	16.7	5.6	3.3	1.1	21.1	1.1

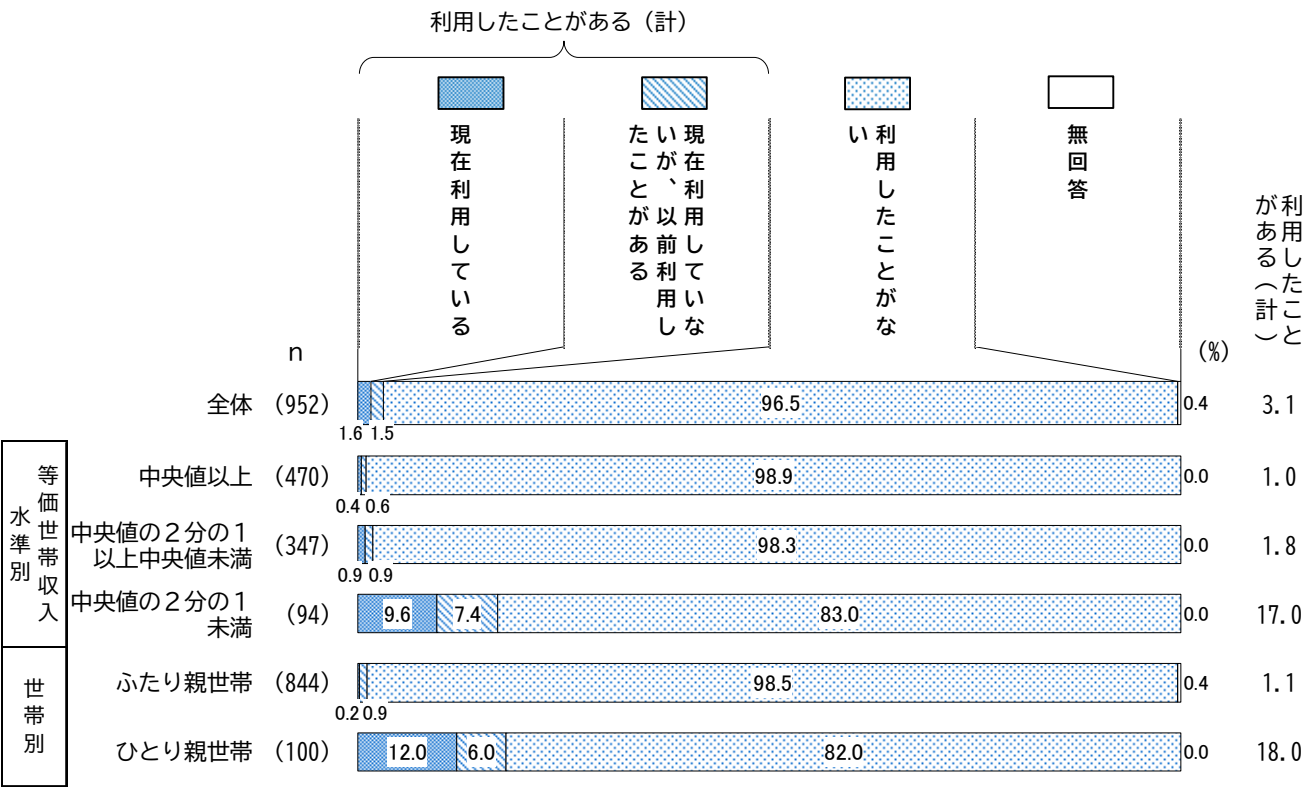
ク) フードバンク、フードパントリー制度

■利用状況

「現在利用している」が1.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.5%、「利用したことがない」が96.5%となっています。《利用したことがある 計》は3.1%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、《利用したことがある 計》は、中央値以上の世帯では1.0%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では1.8%、中央値の2分の1未満の世帯では17.0%となっています。

世帯の状況別にみると、《利用したことがある 計》は、ふたり親世帯では1.1%、ひとり親世帯では18.0%となっています。



■フードバンク、フードパントリー制度を利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）」が61.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が10.8%となっています。

等価世帯収入水準別にみると、中央値の2分の1未満の世帯では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が11.5%、「それ以外の理由」が21.8%と他の世帯と比べて高くなっています。

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が8.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が11.0%とふたり親世帯と比べてやや高くなっています。

単位：%		調査数（n）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だから（だと思うから）	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	生活に困っていると思われるから	利用したいが、場所が遠く利用できないから	知らない人と関わりたくないから	それ以外の理由	無回答
全体		919	61.6	10.8	5.3	4.5	1.5	1.0	0.7	16.0	3.4
等価世帯収入水準別	中央値以上	465	67.1	11.4	3.9	2.4	0.9	0.6	0.2	13.3	3.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	341	60.7	9.1	5.9	6.7	0.9	1.2	0.3	17.3	2.6
	中央値の2分の1未満	78	41.0	12.8	11.5	6.4	9.0	1.3	5.1	21.8	2.6
世帯別	ふたり親世帯	831	63.5	10.6	4.9	3.9	1.6	1.0	0.6	15.6	3.2
	ひとり親世帯	82	43.9	13.4	8.5	11.0	1.2	1.2	1.2	18.3	3.7

（4）聞いてほしいこと、助けてほしいこと（自由記載）

【中学2年生調査】

Q：あなたは、誰かに話を聞いてほしいことや助けてほしいことはありますか。（自由記載）

聞いてほしいこと、助けてほしいことについて、自由に記述していただきました。寄せられた回答の中からご意見を抜粋し掲載しています。

▼人間関係について

- ・人間関係のアドバイスや解決方法が知りたい。
- ・友達と学校で楽しく話してる時たまに前振れもなくイライラしたり友達に当たってしまうことがあるので困ってる。
- ・少し友達とうまくいっていないきがするとき、どうしたらいいかわからない。
- ・友達やクラスメイトから嫌われている気がして怖い。
- ・スマホを持っておらず、話の輪に入れないことがたくさんある。最近流行っているものや人について、自分は疎いと思う。親からは高校受験が終わるまでは要らない、と言われていて、同感する部分もあるが、やっぱり話についていけないのは辛い。またスマホが無いせいで、遊びに誘われず、中々仲を深めづらい。

▼将来について

- ・将来の正解がわからない。勉強以外も頑張りたい。芸能の世界に興味があるけど親に言えない。
- ・今の勉強で高校に入れるかが不安。
- ・生きている目標が見つからず、人と関わるのを恐れてしまいます。好きな事も見つからずストレスの発散方法も未だ見つかりません。将来の事を考えなければと思っていますが、生きているか確証のない未来について考えるのが億劫で、恐怖が拭いきれません。性別や人種に寛容な世の中になってきていますがそれでも生まれながらの自分の性別、人種を変える事が出来ない為周りが自分を受け入れてくれていても、自分自身が自分を受け入れる事が出来ず、常に自分を恨んでしまいます。
- ・今バスケットボールをやっているけど最後までやれるか不安。高校行けるか不安。
- ・高校受験が心配です。プレッシャーがきつい。

▼学校・学業について

- ・好きなものとかやりたいと思っていることはたくさんあるのに、何もかも中途半端で自分が見つからない。
- ・最近部活で差別がひどく部活をやりたいなくなるし帰りたくなる。授業でわからない時がある。
- ・期末テストがあったりするのに自分に合った勉強法が未だに見つけられていない。自信を無くしやすい上に解決策などが見つけられていない。
- ・部活動の大会で良い記録を出すための方法を先生以外で聞いてみたい。
- ・クラスが地獄。早くクラス替えをしてほしい。

▼相談について

- ・部活や人間関係の話を聞いてほしい。助けてほしいとは思わないが、相談をしたいとはほんの少し思う時がある。
- ・情緒がたまに不安定になることがある。悩みがあっても相談したくない、相手に知られたくないと思って言えない。数日経つと元気になるから、相談する程の事じゃないと思って相談できない。
- ・自分の考えが理解されない時がある。相談しようとしても嫌われそうで怖い。
- ・他人を頼ることが苦手なので悩み事はあまり人に相談したくない。
- ・親や先生に相談したいことがあってもウザがられたり、バカにされたり、ちゃんと話を聞いてもらえない気がして、相談出来ない。

▼家庭について

- ・お父さんが不機嫌になると怖い。
- ・私立高校も入学前から無償化や補助金や給付金が出たら、親に迷惑をかけることはないから、前橋市がサポートしてくれたら、高校選びの幅が広がって自分も親も安心して高校受験を前向きにがんばれる。
- ・父と離婚してから母に疲れが溜まっていて、いつからだを壊してしまうかがとても心配。
- ・親に行きたい高校を否定され勉強を強要される。

▼その他

- ・好きなことをする時間がまとまって取れず、趣味が減っていつている。そのため、話についていけないこともしばしばあり、もう少し時間が欲しい。
- ・体型のことで陰口を少し言われたりするのが少し嫌。
- ・体と心の性別が合わなくて、相談しても否定されそうで誰にも相談できていない。
- ・自分の不器用さに困っている。周りの大人からは「気にするな」と言われてきた。しかし、大きなミスをしてしまった時や、そのことで周りの人から怒られることに嫌気が差し、自分を卑下したりするときもある。私はどうしたらいいのでしょうか？

【中学2年生保護者調査】

Q：あなたは、以下の制度※以外に、どのような支援があるとよいと思いますか。（自由記載）

※制度

- ・就学援助制度
- ・生活保護制度
- ・生活困窮者の自立支援相談窓口制度
- ・児童扶養手当制度
- ・母子家庭等就業・自立支援センター制度
- ・子ども食堂（自分や友人の家以外で夕ごはんを無料か安く食べることができる場所）制度
- ・子どもに勉強を無料で教えてくれる場所制度
- ・フードバンク、フードパントリー制度

求める支援を自由に記述していただきました。寄せられた回答の中からご意見を抜粋し掲載しています。

▼経済支援

- ・私立高校を完全に無償化して欲しい。単身赴任で生活費がかかるのに明細上の収入が多いように見られて、所得制限に当てはまってしまうから。
- ・中高生の制服・体操着のリユースがあるように自転車のリユースもあるといいなと思う。中学生の重いシルバーの自転車は高校生になると乗らなくなり、高額の軽い自転車を買うようになるので3年間しか乗らない綺麗な中学生自転車をリユースできればお互い助かる。
- ・実際に困っていたとしても、所得によったり、色々な理由でなかなか制度を受けられる人が少ないと感じていた頃もあった。色々な面で臨機応変に利用出来る制度があればいいと思う。総所得を知らない家庭があったり、決まった額しか配偶者からももらえなくても、児童手当は所得額が多い方に入ったり、理由を伝えても、生活しやすい環境にはなかなかならない。
- ・特定の人だけでなく、同じように全ての人が使えるようにしてほしい。特によく言われる中間層の世帯は特に困っている。
- ・ひとり親家庭にて貯蓄が難しい世帯における子供が成人したあとの老後の生活を支えてくれる制度。

▼子育て支援

- ・子供をたくさん育てている人（3人以上）に向けた支援がもっと有っても良いと思う。あとは、フードだけでなく衣服や一時期しか使わない物品をやりとりできる制度があっても良いと思う。（例えば、着れなくなった入学式や卒業式の洋服や靴をいらなくなったら提供し、そういった物を用意するのが大変な方に提供する。）
- ・自分の経験ですが、子供が生後3ヶ月～5歳の時に、夫が茨城県に転勤になり、単身赴任になりました。頼れる親や兄弟も居なかった為、子育てを1人でやっていたことが、非常に苦痛でした。その間、子供が肺炎にかかり、入院した時も、頼れる人が全く居なかった為、大変でした。単身赴任で配偶者がいない人のために、助けてもらえる制度が有るとよいと思う。
- ・子供がひとりぼっちで孤独を感じない様にする制度。
- ・「こども相談窓口」タブレットのアプリに。「朝ごはん食べた？」など質問に答える形式で、家のこと・学校のことなど気軽に相談できるように。
- ・子供の塾などに送り迎えしてくれる、キッズタクシーの補助など。

▼教育支援

- ・IT 専門の教育の支援。
- ・習い事支援。例えばタブレットの動画配信でも良いと思う。
- ・様々な理由で学校に行くのが難しい子が、出席扱いになるような、学校以外の居場所。
- ・プチホームステイ制度。
- ・子供に無料でスポーツを教えてくれる制度。習いごとではなくみんなで楽しくできるようなスポーツ。

▼相談支援

- ・子供の将来について相談できる窓口みたいなどころ。どういう職業があるか、それを目指すにはお金がどのくらいかかるか、そこに就いたら今後どのように生活できるかなど現実的にアドバイスをくれるところ。学校の先生だと時間がなくて相談できなかったり、あまり現実的な話しができないため。そこから、奨学金や色々な相談にも繋げて欲しい。
- ・中学生、高校生の為の就職支援窓口。就職支援や、なりたい職業になる為にどの学校にいったらいいか、方法など。
- ・悩みや困り事の話聴いてほしいのですが、いざ聴いてほしい時に相談窓口が時間外だったり、電話もメールも折り返し申請も何ひとつつながらなかったのも、そういった相談支援がほしいと思う。
- ・法律相談など、無料で弁護士さんに相談出来るところ。離婚相談など。

▼医療支援

- ・保護者が病気や怪我などで入院する際に子どもを預かってもらえるような場所があると良いと思う。
- ・自身が就労しているが、病気がみつき通院が必要である。働いてお金がないと、治療もできないし、休みたくても、休めない。入院でもない、特定疾患でもない。でも体調が悪い。通院して薬も必要。具合が悪くても働かないと病院に行けない。休みたくても休めない。悪循環。せめて医療費を減額してほしい。医療費減額制度に多種類の病名を設定してほしい。
- ・子供の歯の矯正費用の補助。学校の歯科健診で要受診になって、矯正しない選択は親心としてできない。歯科医からデメリットまで説明されるし。でも補助が出ないのは家計が厳しい。
- ・子供の医療費は無料なので気兼ねなく行けるが、生活費がカツカツの時は母親の体の不調に緊急性がない場合は我慢したり先延ばしにしたりして歯医者など高額になってしまうのではと不安でなかなか行けなかった。

▼情報提供

- ・どのような支援があるのかを普及させる制度。
- ・自分がどんな支援を受けることができるのか、チェックできるアプリが欲しい。知らない制度があった。

▼その他

- ・発達障害児、グレーゾーン児童へ特化した支援、特に学習支援さらには就労支援。
- ・学校の役員や、旗振りや下校の見守りを代わってくれたり、町内会の班長などの役員を代わってくれる制度。
- ・ヤングケアラーを援助する制度。
- ・デジタルデバイド支援。
- ・地域で、大人や子供達が集まり交流できるイベントを沢山増やして欲しい。

